

令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事 建築工事 特記仕様書																					
<p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 東京都新宿区内藤町1-1</p> <p>2. 敷地面積 583,061.13m²</p> <p>3. 用途地域その他の地域 第1種中高層住居専用地域</p> <p>4. 工事種目</p> <table border="1"> <tr> <th>建築物名称</th> <th>工事種別</th> <th>構造概要</th> <th>建築面積 (m²)</th> <th>延べ面積 (m²)</th> </tr> <tr> <td>翔天亭裏トイレ</td> <td>新築</td> <td>木造平屋建</td> <td>69.56m²</td> <td>69.56m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	翔天亭裏トイレ	新築	木造平屋建	69.56m ²	69.56m ²										
建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)																	
翔天亭裏トイレ	新築	木造平屋建	69.56m ²	69.56m ²																	
<p>II. 建築工事仕様</p> <p>1. 設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標仕」という）に準拠し、優先順位は次による。</p> <p>(1) 質問回答書（2）から（5）に対するもの</p> <p>(2) 現場説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面及び設計書</p> <p>(5) 標仕</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目名（又は章名）を取り消し線（項目名）で削除した項目（又は章）は適用しない。</p> <p>(2) 特記事項で●印、◎印、○印のある場合の適用は下記による。</p> <p>●印の付いた仕様は全て適用する。</p> <p>◎印の付かない場合は、○印の付いた仕様を適用する。</p> <p>○印のみの仕様は適用しない。</p> <p>(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の（公住仕 ）内表示番号は、公住仕の当該項目、当該図又は表を示す。</p> <p>(5) 特記事項に記載の（参 ）は（5.3.7）による参考図「各部配筋」の当該項目を示す。</p> <p>(6) 製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。</p> <p>また、（ ）内は製品名を示す。</p> <p>(7) [G]印は、「グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。</p>																					
章	項目	特記事項																			
一般事項	1 適用基準等	<p>◎ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）</p> <p>◎ 敷地調査共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）</p> <p>◎ 工事写真の撮り方（建築編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成24年版）</p> <p>◎ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 建設大臣官房技術参事官通達（S62.3改正）</p> <p>◎ 手すり先行工法に関するガイドライン 厚生労働省（平成21年4月）</p>																			
	2 工事実績情報の登録	<p>受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた上、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める国民の祝日は含まない。</p> <p>(1) 工事受注時 契約締結後10日以内</p> <p>(2) 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内</p> <p>(3) 工事完成時 工事完成後10日以内</p> <p>なお、変更登録は、工期、技術者及び工事請負代金等に変更が生じた場合に行う。</p> <p>また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略出来るものとする。</p>																			
	3 発生材の処理等	<p>[発生土]</p> <p>◎ 構内指示の場所に敷均し ・ 構外指示の場所にたい積</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積</p> <p>・ 構外搬出適切処理</p> <p>[発生土以外の発生材]</p> <p>・ 引渡しを要するもの ・ 有 名称 () ・ 無</p> <p>・ 特別管理型産業廃棄物 ・ 有 名称 () ・ 無</p> <p>・ 再利用及び再資源化を図るもの ・ 有 名称 () ・ 無</p> <p>◎ 上記に指定されていないものは、標仕 1.3.11(3)及び「建設廃棄物処理指針」（平成22年版）によるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。</p> <p>(1) 建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し提出すること。なお、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。</p> <p>(2) 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を提出すること。</p> <p>(3) 建設副産物の処分にあたって、提出事業者（元請業者）は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。</p> <p>(4) 建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等）を提示し確認を受けること。</p>																			

4 建設リサイクル法	<p>(5) 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。</p> <p>なお、回収したマニフェストについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。</p> <p>「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に定める対象建設工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき特定建設資材の分別解体及び再資源化の実施について、適正な措置を講ずるとともに、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督職員に報告すること。</p>
5 品質計画	<p>◎ 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による (1.2.2)</p> <p>◎ 風速 (V₀=)</p> <p>◎ 地表面粗度区分 (・ I ・ II ・ III ・ IV)</p> <p>・ 積雪区分 告示第1455号 別表 ()</p>
6 電気保安技術者	◎ 要 ・ 不要 (1.3.3)
7 条件明示項目	(1.3.5)
8 材料の検査に伴う試験	<p>構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験の機関は監督職員との協議による</p> <p>(1.4.5)</p>
9 建築材料	<p>本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしJIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の項目を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</p> <p>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。</p> <p>(3) 安定的な供給が可能であること。</p> <p>(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は、免許等を取得していること。</p> <p>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、同等品等使用願を監督職員に提出し承諾を受ける。</p> <p>なお、同等品の中で、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」（以下、「評価名簿」という。）に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。</p> <p>(1.4.2)</p>
10 合法木材の確認	<p>製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書を監督職員に提出する。</p>
11 再生骨材の品質確保について	<p>本工事に再生骨材を利用する場合は、現場搬入時に目視確認を行い、「再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書」を作成の上、速やかに監督職員に提出するものとする。</p>
12 ゴム製品等の品質確認等について	<p>本工事に東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料(以下、「ゴム製品等」という。)を使用する場合には、受注者が指定した第三者(東洋ゴム化工品(株)、ニッタ化工品(株)と資本面、人事面で関係がない者)によって作成されたゴム製品等の品質を証明する書類を事前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。</p> <p>なお、第三者による品質証明書類を監督員に提出し、確認を受けた場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に、受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。</p> <p>(1.5.9)</p>
13 化学物質を発生する建築材料等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生させないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用し作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <p>規制対象外</p> <p>ア J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品</p> <p>イ 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>ウ 下記表示のある J A S 適合品</p> <p>(7) 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>(4) 接着剤等不使用</p> <p>(9) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>(1) 非ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>(9) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>(6) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>第三種</p> <p>ア J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品</p> <p>イ 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>ウ 旧 J I S の E o 品</p> <p>エ 旧 J A S の F c o 品</p>

14 特別な材料の工法	<p>標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(1.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定の種別</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠工作業 ・コンクリート圧送工作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・構造物鉄工作業 ・とび作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック工事</td> <td>・コンクリートブロック工作業</td> </tr> <tr> <td>押出成形材板工事</td> <td>・ALCパネル工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・FRP防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・大工工作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとどろ工事</td> <td>・内外装板金作業 ・スレート工作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業 ・自動ドア施工作业</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ工作業 ・壁装作業 ・ボード仕上げ工作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・溶融べントノドマーカ工作業 ・加熱べントノドマーカ工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園工作業</td> </tr> </table> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、監督職員に報告する。</p> <p>採取方法 ◎パッシブ型 ・アクティブ型 (1.5.9)</p> <p>着工前の測定 ◎行わない ・行う</p> <p>測定対象室 ・図示（内部仕上表）</p> <p>測定箇所 ・図示（内部仕上表）</p> <p>(住宅工事の場合は1住戸当たり2室以上)</p> <p>報告の様式等については監督職員の指示による</p>	適用工事種別	技能検定の種別	仮設工事	・とび作業	鉄筋工事	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	・型枠工作業 ・コンクリート圧送工作業	鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業	コンクリートブロック工事	・コンクリートブロック工作業	押出成形材板工事	・ALCパネル工作業	防水工事	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・FRP防水工作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工作業	屋根及びとどろ工事	・内外装板金作業 ・スレート工作業	金属工事	・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業 ・自動ドア施工作业	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ工作業 ・壁装作業 ・ボード仕上げ工作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融べントノドマーカ工作業 ・加熱べントノドマーカ工作業	植栽工事	・造園工作業
適用工事種別	技能検定の種別																																										
仮設工事	・とび作業																																										
鉄筋工事	・鉄筋組立作業																																										
コンクリート工事	・型枠工作業 ・コンクリート圧送工作業																																										
鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業																																										
コンクリートブロック工事	・コンクリートブロック工作業																																										
押出成形材板工事	・ALCパネル工作業																																										
防水工事	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・FRP防水工作業																																										
石工事	・石張り作業																																										
タイル工事	・タイル張り作業																																										
木工事	・大工工作業																																										
屋根及びとどろ工事	・内外装板金作業 ・スレート工作業																																										
金属工事	・鋼製下地工作業 ・内外装板金作業																																										
左官工事	・左官作業																																										
建具工事	・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業 ・自動ドア施工作业																																										
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ施工作业 ・ガラス工作業																																										
塗装工事	・建築塗装作業																																										
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ工作業 ・壁装作業 ・ボード仕上げ工作業																																										
排水工事	・建築配管作業																																										
舗装工事	・溶融べントノドマーカ工作業 ・加熱べントノドマーカ工作業																																										
植栽工事	・造園工作業																																										
17 完成図等	<p>◎作成する ・作成しない (1.7.2)</p> <p>◎完成図 ◎製本 提出部数 ◎3部 ・部 複写2つ折り製本 製本サイズは監督員の指示による。</p> <p>◎C D - R 提出部数 (1) 部</p> <p>◎施工図 提出部数 ◎2部 ・部</p> <p>◎保安に関する資料 提出部数 ◎3部 ・部 (1.7.3)</p> <p>◎監理用図面 提出部数 ◎5部 A3二つ折り製本（着工時作成）</p>																																										
18 施工図等の取扱い	<p>施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</p>																																										
19 完成写真	<p>下記のものに監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>提出部数</th> <th>画素数、画質等</th> </tr> <tr> <td>◎カラー</td> <td>◎1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎キャビネ版 ・べた焼き（他に外観正面1かた5枚 （お-キビ）版）提出</td> <td></td> <td>◎ 428万画素以上</td> </tr> <tr> <td>・カラーパネル 324×400mm</td> <td></td> <td>◎ 428万画素以上</td> </tr> <tr> <td>◎電子データ</td> <td>◎1</td> <td>◎ 350dpi以上</td> </tr> </table> <p>電子データはJPEG形式としCD-Rにて提出する。</p> <p>撮影箇所及び箇所数は監督職員との協議による。</p>	分類・規格	提出部数	画素数、画質等	◎カラー	◎1		◎キャビネ版 ・べた焼き（他に外観正面1かた5枚 （お-キビ）版）提出		◎ 428万画素以上	・カラーパネル 324×400mm		◎ 428万画素以上	◎電子データ	◎1	◎ 350dpi以上																											
分類・規格	提出部数	画素数、画質等																																									
◎カラー	◎1																																										
◎キャビネ版 ・べた焼き（他に外観正面1かた5枚 （お-キビ）版）提出		◎ 428万画素以上																																									
・カラーパネル 324×400mm		◎ 428万画素以上																																									
◎電子データ	◎1	◎ 350dpi以上																																									
20 他工事との取合い	<p>別表 - 1 によるが、設備機器の位置、取り合い等の検討のできる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p>																																										
21 設計GL	<p>監督職員の指示による</p>																																										
22 調査・試験に対する協力	<p>(1) 受注者は、発注者が自ら又は発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。</p> <p>(2) 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。</p> <p>ア 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。</p>																																										

23 火災保険等	<p>火災保険、建設工事保険、組立保険又は土木工事保険等のうち1以上に加入する。</p> <p>契約期間の始期は、材料（仮設、型枠材を除く）搬入時以前とし、終期は、工事目的物（分離発注に於いては、引き渡しが最後となる工事目的物）の引き渡しの翌日までとする。</p> <p>保険契約の締結後、その証券の写しを監督職員にすみやかに提出する。</p>
24 下請負人の選定及び工事材料の選定	<p>◎ 受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を県内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>◎ 受注者は、県内で産出、生産又は製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様と適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。</p>
25 電子納品	<p>◎ 適用基準は「電子納品運用に関するガイドライン(第10版)」とする</p> <p>設計CADデータの貸与 ・無し ○有り (著作権者 AIS総合設計(株))</p> <p>◎ 貸与するCADデータを該当工事における施工図又は完成図の作成のために以外には使用してはならない。</p> <p>書面における署名及び捺印の取り扱い ◎監督職員との協議による</p>
26 交通安全管理	<p>受注者は、工事材料、土砂等の搬送計画及び通行経路の選定その他車両の進行に関する事項について、関係機関と調整のうえ、交通安全の確保に努めること。</p>
27 環境対策	<p>(1) 騒音・振動対策</p> <p>受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成13年4月9日 国交省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。</p> <p>(2) 排出ガス対策</p> <p>受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第3に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経発第246号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械又は同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。</p> <p>(3) グリーン購入法</p> <p>受注者は、資材、工法、建設機械又は目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。）」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。</p>
28 事故報告	<p>受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式（工事事故報告書）で指示する期日までに提出しなければならない。</p>
29 不正軽油使用の防止対策	<p>(1) 本工事は、地方税法(昭和25年法律第226号)及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日法律第51号)を遵守すること。</p> <p>(2) 本工事で使用し又は使用させる軽油使用の車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機械等の燃料には規格(JIS)に合った軽油を使用すること。</p>
30 過積載対策	<p>ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。</p> <p>(1) 積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。</p> <p>(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。</p> <p>(3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。</p> <p>(4) さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に入入りにくいようにすること。</p> <p>(5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。</p>

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	工事概要・特記仕様書(1)	
工事場所	東京都新宿区内藤町1-1	縮尺	NO SCALE	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-001/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者
				名称
				資格者氏名
				登録番号
				所在地
				名称
				A I S 総合設計株式会社 本社
				資格者氏名
				小林 孝宏
				登録番号
				321076
				所在地
				栃木県宇都宮市明保町2番10号

章	項	目	特	記	事	項
31	暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置		(6)	取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。	(7)	「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
						(8)
32	工事の一時中止		(1)	環境省が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。	(2)	(1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
						(3)
33	住宅瑕疵担保履行法への対応		1	契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。	2	工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
						受注者は、『特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律』（平成19年法律第66号）に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。
仮設工事	1	監理事務所	・ 設ける ◎ 設けない (2.3.1)	監理事務所の規模 備品 () ・ 10m ² 程度 ・ 20m ² 程度 ・ 35m ² 程度 ・ 65m ² 程度 ・ 100m ² 程度	2	工用水
	3	工用電力	構内既存の施設 ・ 利用できない◎利用できる (◎有償 ・ 無償)	3	工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できない◎利用できる (◎有償 ・ 無償)
	4	足場その他	手すり先行足場 (2.2.4)	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業時及び使用時には、常時「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。		
	3	埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 ◎ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	2	建設発生土の処理	1章一般共通事項 3 発生材の処理等による (3.2.5)
地業工事	1	載荷試験	◎ 平板載荷試験 () 箇所 最大荷重 (50) KN (4.2.4) 試験を行う深さ 設計GL- (1.91)m 及び土質 () ・ 杭載荷試験 () 箇所 最大荷重 () t 試験種別 () (4.2.3) 方法及び報告書の記載事項は敷地調査共通仕様書4章7節及び15節による。試験位置は図示による。	◎ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)(M.2.2) (4.3.2)	種類	◎ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)(M.2.2) (4.3.2)
	試験杭	杭径(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考	本杭	杭頭の処理 ◎ 切断しない (4.3.7) 先端部形状 ◎ 開放型 ・ 閉そく型 ・ 半開放型 (4.3.2) 杭の継手 ◎ アーク溶接継手 (4.3.6) ・ 無溶接継手 (建築基準法に基づく指定機関で性能評定を受けたもの)	施工方法	・ セメントミルク工法 (4.3.4) ・ アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.0m程度 ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ ・ 1.0m以上 ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの) (4.3.3) ・ 打込み工法 ハンマー種別 ◎ 油圧ハンマー プレボーリング オーガー径 杭径-50mm程度 プレボーリング長さ ◎ 本くい長-2.0m 支持力の算定方法 ◎ 建築工事監理指針(平成28年度版) 4.3.3.(b) (5) (i) 打込杭の推定支持力による
	杭の精度	・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による (4.5.3)				
	5	鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1)	規格 種類の記号 使用箇所 呼び名 (mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋) ・ SD295A 図示 ◎D16以下 ・ SD345 図示 ◎D19以上	2	溶接金網
3	鉄筋の継手	柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋 (5.3.4) (表5.3.3) ◎ ガス圧接継手・重ね継手(L=) ・ 機械式継手 ・ 溶接継手				

セメントの種類 ◎ 普通ポルトランドセメント高炉セメントB種 [G] (表4.5.1)	コンクリートの種類 ・ A種 B種 (表4.5.1)	コンクリートの設計基準強度 () N/mm ² () 構造体強度補正 ・ 行わない ・ 行う(◎3N/mm ²)
試験杭 本杭	杭径(mm) 杭長(m) セット数 長期設計支持力(kN/本)	
掘削工法	・ アースドリル工法 (◎ 安定液使用 ・ 無水掘削) (4.5.4) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水張 (◎ 行う ・ 行わない) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 掘削杭工法 (◎ 安定液使用) (4.5.5) ・ 各部配筋参考図2.2(4)丸型(口)による ・ 図示	
帯筋 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm	孔壁測定 ・ 行う (・ 超音波測定器) ・ 行わない	
杭の精度	・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による (4.4.2) (表4.4.1)	
試験杭 本杭	杭径(mm) 杭長(m) セット数 長期設計支持力(kN/本)	
試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 図示	杭先端部形状 ・ 開放形	
掘削工法	・ 中掘り拡大掘削工法 ・ 杭の精度 ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜	(4.3.5)
杭の現場継手	・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による (4.4.5)	
・ アーク溶接継手	・ 無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの)	
工法	◎ 審査 (評定又は大臣認定) を受けた工法	
検査	◎ 審査 (評定又は大臣認定) により定められた項目	
施工	◎ 審査 (評定又は大臣認定) された施工管理基準による	
杭頭処理 (切断方法)	◎ 切断しない ・ 切断する (4.4.6)	
5 砂利地業	◎ 再生クラッシャーラン [G] (4.6.3)	
ポリエチレンフィルム	厚さ 0.15mm以上 重ね幅 縦横共250mm以上 (4.6.5)	
施工箇所	◎ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピットを除く) ◎ セメント及びセメント系固着材を使用した地盤改良の施工にあつては、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(平成14年発行)により、施工前及び施工後に指定された試験を実施し結果を監督職員に報告すること。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 〔試験用土壌の採取方法等〕◎ 採取場所は現場指示によるが、改良土柱部分にかからないよう注意して採取すること。 ・ 採取土壌の種類 () 種類 ・ 採取最深深さ () m ・ 採取箇所数 () 箇所	
六価クロム溶出試験	◎ 採取方法 ◎ バックホウ ・ ポーリング ◎ 現場で採取した試料を用い、施工前及び施工後に環境庁告示第46号に基づき、試験を実施すること。	
試験方法	試験内容 実施時期 試験箇所数 試験の必要性	
試験方法1	配合設計段階で行う検査 材齢7日 土質ごとに実施 必ず実施すること。	
試験方法2	施工後の改良体を検査 材齢28日 20 箇所 試験方法1で六価クロム溶出量が基準値を上回った場合のみ実施。但し、火山灰質粘性土を改良する場合は試験方法1の結果にかかわらず、試験方法2及び3を実施。	
試験方法3	タンクリーチング試験 材齢28日 試験方法2で溶出量が最大の試験体を使用溶出量が最大	
セメント系固着材を用いた深層混合処理工法は、国土交通大臣が指定する審査機関(第三者機関)により、技術評価を受けた工法とする。工法採用にあつては、監督職員の承諾の上、決定すること。尚、下記工法を参照のこと。		
工 法	審査証明番号(審査機関)	
ECM工法	BCJ-審査証明-66(財団法人 日本建築センター)	
NCコラム	BCJ-審査証明-60(財団法人 日本建築センター)	
スーパーアイマーク工法	BCJ-審査証明-77(財団法人 日本建築センター)	
Dコラム工法	BCJ-審査証明-96(財団法人 日本建築センター)	
テノコラム工法	技審証第2001号(財団法人 先端建設技術センター)	
5 鉄筋の種類	(5.2.1) (表5.2.1)	
規格 種類の記号 使用箇所 呼び名 (mm)		
鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・ SD295A 図示 ◎D16以下 ・ SD345 図示 ◎D19以上	
形状等 (5.2.2)	種類 種類の記号 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 使用部位	
・ 溶接金網	◎100×100 ・ ◎6.0	
・ 鉄筋格子		
柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋 (5.3.4) (表5.3.3)	◎ ガス圧接継手・重ね継手(L=) ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	

4 鉄筋かぶり厚さ	鉄筋の最小かぶり厚さは目地底から算定する (5.3.5) ・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による	
施工箇所	欄仕様表5.3.6の値に加える寸法(mm)	
・ 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	◎ 10mm	
柱及び梁の主筋にD29以上の鉄筋の使用の有無	◎ 無し ・ 有り (適用箇所:) 主筋のかぶり厚さ ・ 最小かぶり厚さ () mm	
5 各部配筋	◎ 各部配筋参考図による ◎ 図示 (5.3.7)	
6 既製コンクリート杭の杭頭補強方法	・ A型 ◎ B型 ・ 図示 (5.3.7)	
7 最上柱頭補強	・ 行う ・ 行わない (参2.1)	
8 帯筋	◎ 各部配筋参考図2.2によるH形(口は除く) ・ 図示 (参2.2)	
9 壁開口部の補強	一般壁 ◎ 各部配筋参考図4.4によるB形 ・ A型 (参4.4) (参表4.3~4) 耐震壁 ◎ 図示	
10 梁貫通孔の補強	補強形式 ◎ 各部配筋参考図7.1によるH形 ・ MH型 ・ M型 ・ () (参7.1~3)	
11 圧接完了後の試験	◎ 外観試験(全数) (5.4.9) ◎ 抜取試験 ◎ 超音波探傷試験 ・ 引張試験	
1 コンクリートの類別	◎ I類 ・ II類 (6.2.1) (表6.2.1)	
2 セメントの種類	◎ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1.2) (6.13.2) (6.15.2) ・ 早強ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種[G] 普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く	
水和熱	7日 352J/g以下 28日 402J/g以下	
3 骨材の種類	使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) ◎ A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m ³ 以下) (6.5.4)	
4 混和材料	混和材料 (6.3.1) ◎ 混和剤 (JISA6204に規定するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI類とする。 ・ 混和剤 (JISA6201に適合するフライアッシュのI類又はII類、JISA6206に適合する高炉スラグ微粉またはJISA6202に適合する膨張剤)	
5 レディーミクストコンクリート工場の選定	レディーミクストコンクリート工場の選定においては、「標準仕様書」6.4.1(コンクリート製造工場の選定)によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場)から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。	
6 普通コンクリート	◎ 普通コンクリート (6.2.1~3) 設計基準強度F _c (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用箇所 施工時期 ◎24 2.3程度 ◎18 図示 ・ ◎15	
塩化物量試験	◎ 行う (ただし、製造工場が行っている管理試験結果の提出により省略する事ができる) (6.5.1) (6.5.4) ・ 行わない (6.9.1) 単位水量の測定 ◎ 行う (「建築工事における『レディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)』の運用について」による) ・ 行わない (6.5.1)	
単位水量の測定	(1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下ろし時に品質の異常が認められたときに実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標丈6.3.2(ⅲ)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。 ア 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。) ±15kg/m ³ の範囲にある場合は、そのまま施工する。	

7 軽量コンクリート	(6.10.1) (表6.10.1) 設計基準強度F _c (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) 種別 スランプ 適用箇所、及び土又は水に直接接する部分 施工時期 ・ 種 ・ 15 ・ 18 ・ 種		
8 無筋コンクリート	(6.14.1~3) 種類 設計基準強度F _c (N/mm ²) スランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 適用箇所 ◎ 普通コンクリート ◎18 ◎15 ・ 18 ◎25mm ・		
9 打ち継ぎ目地の寸法、位置及び形状	目地寸法 ◎ 標丈9.7.3による (6.6.3) (6.8.2) 位置 ◎ 図示 (6.8.2) ひびわれ誘発目地、打ち継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増厚さ部で処理する。		
10 コンクリート打放し仕上げ	種別 コーンの穴埋め 施工箇所 ・ A種 ・ 面うちに仕上げる ◎ 面にあわせて仕上げる ・ B種 ◎ 面うちに仕上げる ◎ 面にあわせて仕上げる ・ C種 ・ 化粧型枠		
11 外部の打放し面の打増し	◎ 20mm ・ mm (6.8.2) 打増し範囲 ◎ 意匠図による		
12 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm以上かつ、2.5分/m ² 以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの打増し厚さ ◎ 20mm ◎ 施工範囲は図示による。		
13 寒中コンクリート	・ 適用する (6.11.1) ・ 適用しない		
14 高強度コンクリート	(公社仕6.16.1~3) 設計基準強度F _c (N/mm ²) 水セメント比 単位セメント量 スランプ又はスランプフロー スランプ スランプフロー 混和材料 45未満 ・ ◎21cm以下 ◎50cm以下 ◎高性能AE減水剤 45以上60以下 ・ ◎23cm以下 ◎60cm以下 ◎高性能AE減水剤		
7 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3) ・ 監督職員の承諾する製作工場 ・ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(「(株)全国鉄鋼工業協会」の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「()グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場)		
2 施工管理技術者	◎ 適用する (7.1.4)		
3 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1) (7.2.10) (表7.2.1) 種類の記号 使用箇所 規格等 ◎ JIS規格による ◎ JIS規格による ◎ JIS規格による ◎ JIS規格による		
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	特記仕様書(2)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	NO SCALE
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-002/025
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 A I S 総合設計株式会社 本社 資格者氏名 小林 孝宏 登録番号 321076 所在地 栃木県宇都宮市明保野町2番10号

Table with 2 columns: Item No. and Item Description. Contains specifications for bolts, tiles, and concrete blocks.

Table with 2 columns: Item No. and Item Description. Contains specifications for waterproofing, roof protection, and interior finishing.

Table with 2 columns: Item No. and Item Description. Contains specifications for roof waterproofing, roof exposure, and roof interior.

Table with 2 columns: Item No. and Item Description. Contains specifications for tiles, wood, and surface finishing.

Table with 2 columns: Project Name and Project Location. Contains project details and contractor information.

章	項目	特記事項
6	ホルムアルデヒド放散量	◎規制対象外・第三種 (12.2.1) ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
	施工箇所	厚さ(mm) 防虫処理 表面の化粧加工 間伐材等の適用
	・適用する	・有り(加工)
	・適用しない	・無し(等級)
	・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	
	施工箇所	厚さ(mm) 防虫処理 表面の化粧加工 含水率 間伐材等の適用
	・適用する	・有り(加工) ◎14%以下
	・適用しない	・無し(等級)
	ホルムアルデヒド放散量	◎規制対象外・第三種 (12.2.1)
	普通合板 [G]	
施工箇所	厚さ(mm) 表板の接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用	
◎5.5	◎1類 広葉樹 ◎2等以上・1等以上 ・適用する ◎2類 針葉樹 ◎C-D以上 ・適用しない	
・構造用合板 [G]		
施工箇所	厚さ(mm) 等級 表板の接着の程度 板面の有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用	
◎12	◎2級以上・1級 ◎1類 ◎C-D以上 ・適用する ◎1類 ◎特種 ・適用しない	
・パーティクルボード [G]		
施工箇所	厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分	
◎15	◎13タイプ ◎P又はM	
・構造用パネル		
施工箇所	厚さ(mm) 等級	
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級
6	接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は難揮発性のものとする。(12.2.2.3) ◎規制対象外・第三種
7	防腐・防蟻処理	・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 (12.3.1.2) 適用部位 () ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ◎薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 () 処理の方法 土台、柱(床から1m) ・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()
13	屋根及びとい工事	1 長尺金属板葺き (13.2.2.3)(表13.2.1) 屋根葺き形式 長尺金属板の種類 板厚(mm) ◎平葺き ◎JIS G 3322(塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150)) 屋根葺き法 ◎図示 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ◎適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 下葺材料・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般・複層材・粘着層付)
13	屋根及びとい工事	(13.2.2)(表13.2.3) 形式 ◎重ね形 ・はせ締め形 ・かん合形 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 ◎0.6・0.8 材料 ◎標仕13.2.11による() 耐力 軒先面戸板 ・有 ・無 断熱材 ・有(種別) : 厚さ(mm) ・無 耐火性能 ・有(30分耐火) ・無 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ◎適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 種類 ・釉薬瓦 (13.4.2.3) 形状 ◎J型 寸法 ◎53A 役物瓦 ・有() ・無 瓦棧木 材質 ◎すぎ又はひのき 寸法 ◎幅21×高さ15(mm) 棟補強用心材 材質 ◎すぎ又はひのき 寸法 ◎幅40×高さ30(mm) 棟木の留付工法◎図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ◎適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない ・軒どい 材種 ・着色亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板 (13.5.2)(表13.5.5) ・硬質塩化ビニル(・前高角型・折板用角型) ・縦どい 材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・着色亜鉛めっき鋼板・ステンレス鋼板

鋼管製といの防露◎標仕13.5.4による防露材のホルムアルデヒドの放散量 ◎規制対象外・第三種 掃除口 ◎有(図示) ・無 ・有 ◎無 製造所名 評価名簿による (13.5.2)(表13.5.2)	14 金 2 ステンレスの表面仕上げ (14.1.3)(14.2.1) 種別 施工箇所 ◎HL程度 ◎下記以外の見え掛かりは全て(ステンレスラップは除く) ・No.2B程度 ・鏡面仕上げ(No.8) ・バイブレーション ◎屋外スロープ手すり、1階EV柱 (14.2.2)(表14.2.1) 種別 皮膜又は複合皮膜の種類 施工箇所 ・A-1種 ◎AA15 ・A-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎AA15 ・B-1種 ◎B ・B-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎B ・C-1種 ◎AA6 ・C-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎AA6 ・D種 陽極酸化皮膜の着色方法 ◎二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所 ・A種 溶融亜鉛めっき ・B種 ・C種 電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種 野縁等の種類 (14.4.2~4)(表14.4.1) 屋外(◎25形・19形)屋内(◎19形・25形) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ◎適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 野縁、野縁受、吊ボルト、インサート及び周辺部の端からの間隔・図示 補強方法 吊りボルトの間隔(900mm超) ◎図示 ・ 図示 天井のふところ(1.5m以上3.0m以下) ◎標仕14.4.4(h)(1)~(2)による 天井のふところ(3.0m超) ◎図示 特定天井 特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成25年国土交通省告示第771号)に基づく工法 ◎適用する ・適用しない スタッドの高さによる区分に応じた種類 (14.5.3) 高さ2.7m以下 高さ4.0m以下 高さ4.0m超、4.5m以下 高さ4.5m超、5.0m以下 5.0m超 ◎50形 ・ ◎65形 ・ ◎90形 ・ ◎100形 ・ 図示 (14.6.2.3)(表14.2.1) 形状 製法 材質 寸法(mm)板幅(mm) 表面処理 ・スパンドレル型・押出し ◎アルミニウム ・パネル型 ◎プレス 伸縮調整継手 ◎設けない・設ける(施工箇所は図示) (14.7.2)(表14.7.1) 施工箇所 笠木本体(幅)mm 役物 避雷導体用ジョイントコネクター及びアース接続アングル 付属部品 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 表面処理 ()種 (14.7.2)(表14.2.1) ・手すり ・アルミニウム製(表面処理) (14.8.2) ・ステンレス SUS304(表面処理) ・鋼製(表面処理) ・タラップ ◎ステンレス SUS304 (14.8.3)
14 金 3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1) 種別 皮膜又は複合皮膜の種類 施工箇所 ・A-1種 ◎AA15 ・A-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎AA15 ・B-1種 ◎B ・B-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎B ・C-1種 ◎AA6 ・C-2種(・アパー・ブロンズ・ブランク系・ステンパー) ◎AA6 ・D種 陽極酸化皮膜の着色方法 ◎二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.3)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所 ・A種 溶融亜鉛めっき ・B種 ・C種 電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種 野縁等の種類 (14.4.2~4)(表14.4.1) 屋外(◎25形・19形)屋内(◎19形・25形) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ◎適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 野縁、野縁受、吊ボルト、インサート及び周辺部の端からの間隔・図示 補強方法 吊りボルトの間隔(900mm超) ◎図示 ・ 図示 天井のふところ(1.5m以上3.0m以下) ◎標仕14.4.4(h)(1)~(2)による 天井のふところ(3.0m超) ◎図示 特定天井 特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件(平成25年国土交通省告示第771号)に基づく工法 ◎適用する ・適用しない スタッドの高さによる区分に応じた種類 (14.5.3) 高さ2.7m以下 高さ4.0m以下 高さ4.0m超、4.5m以下 高さ4.5m超、5.0m以下 5.0m超 ◎50形 ・ ◎65形 ・ ◎90形 ・ ◎100形 ・ 図示 (14.6.2.3)(表14.2.1) 形状 製法 材質 寸法(mm)板幅(mm) 表面処理 ・スパンドレル型・押出し ◎アルミニウム ・パネル型 ◎プレス 伸縮調整継手 ◎設けない・設ける(施工箇所は図示) (14.7.2)(表14.7.1) 施工箇所 笠木本体(幅)mm 役物 避雷導体用ジョイントコネクター及びアース接続アングル 付属部品 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 ・有・無 ・有・無 固定金具及び30分金具 表面処理 ()種 (14.7.2)(表14.2.1) ・手すり ・アルミニウム製(表面処理) (14.8.2) ・ステンレス SUS304(表面処理) ・鋼製(表面処理) ・タラップ ◎ステンレス SUS304 (14.8.3)	
1 モルタル塗り (15.2.2)(15.2.5) 防水モルタルの防水剤製造所 ◎評価名簿による 既製目地材 ・設ける 施工箇所() 形状() ・設けない 床目地 ・設ける ・設けない ・せつこう系 ・セメント系 (15.4.2)(表15.4.1) (15.5.2)(表15.5.1) 種類 呼び名 仕上げの形状等 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・可とう形外装薄塗材Si ・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗り) ・外装薄塗材E ・さざ波状 ・内装薄塗材E ・平たん状	

15 左官工事	・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材W ・凹凸状(吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状(吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性・適用する・適用しない ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E ・吹放し ・凸凹状 ・ひき起こし・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない ・適用する・適用しない ・複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS ・ゆず肌状 ・凸凹処理 ◎凹凸模様 上塗材 耐水性 ◎耐候形3種 溶媒 ◎水系 ・ 溶剤系 樹脂 ◎アクリル系 外観 ◎つやあり つやなし ・メタリック 防水型の増塗材◎行う ・軽量骨材仕上塗材 ・吹付け用軽量塗材 ・砂壁状 ・こて塗用軽量塗材 ・平たん状 建築内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.5.2) ◎規制対象外・第三種 防火材料の指定 (15.5.2) ◎屋内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき認定を受けた防火材料とする。 種別 ・A種 ・B種(仕上げ材塗:EP-G ◎B種 ・A種) (15.6.2) 材料及び接着剤のホルムアルデヒド放散量◎規制対象外・第三種 (15.8.2) 種別 色彩 厚さ(mm) 施工箇所 ・一般用・着色・原色・10・15・20・25
16 建具工事	1 見本の製作等 (16.1.4)(16.1.4) 建具見本の製作 ・行う ◎行わない 仮組 ・行う ◎行わない ・適用する(図示) (16.1.6) 3 アルミニウム製建具 (表16.2.1) 外部に面する建具 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込(mm) 施工箇所 ◎A種 S-4 ◎A-3 ◎W-4 ◎70 ◎図示 ・B種 S-5 ・ ・ ・ ◎図示 ・C種 S-6 A-4 W-5 100 ◎図示 表面処理 ◎B-1種 ・B-2種(・ブランク系・ブランク・ステンパー)(表14.2.1) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級() 屋内建具 表面処理 ◎C-1種 ・C-2種(・ブランク系・ブランク・ステンパー)(表14.2.1) 結露水の処理方法 ◎図示 水切り板、ぜん板 ◎図示 公共住宅のアルミサッシの品質及び性能 ・品質・性能基準による 網の種類 ◎合成樹脂製(線径0.25mm以上 網目16~18メッシュ) (16.2.3) ・ステンレス製・ガラス繊維入り合成樹脂製 外部に面する建具 (表16.3.1) 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ◎A-4 ◎W-4 ・ ◎図示 ・B種 S-5 ・ ◎W-5 ・ ◎図示 ・C種 S-6 ・ ◎図示 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級() 表面色 ◎標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ◎図示 ガラス ◎複層ガラス 簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能◎適用する (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2) 外部に面する建具の風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級()
6 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2)	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能◎適用する (16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2) 外部に面する建具の風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級()

鋼板	材料 めつき付着量 厚さ ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ◎Z12又はF12 ・標仕表16.4.2Iによる ・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板) ◎Y08
公共住宅の玄関ドアの品質及び性能 ・品質・性能基準による 公共住宅のパイプシャフトドアの品質及び性能 ・品質・性能基準による	
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能◎適用する (16.2.2)(16.5.2~4) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級() 鋼板 ◎亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ◎標仕表16.5.1Iによる 召合せ、縦小口包み板の材質 ◎鋼板 品質規格 ◎製造所標準仕様による 製造所 評価名簿による 公共住宅のクロゼットドアの品質及び性能 ・品質・性能基準による (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4)	
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能◎適用する (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4) 防音ドアセット・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() 断熱ドアセット・断熱サッシ[G] ・適用する 断熱性の等級() 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性等級() ステンレス建具の鋼材の種類 施工箇所 鋼材の種類 屋外 ◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1 屋内 ◎SUS430, SUS304, SUS430J1L, SUS443J1 表面の仕上げ ◎HL仕上げ ・鏡面仕上げ (16.6.4) 鋼板の曲げ加工 ◎普通仕上げ ・角出し仕上げ (16.6.5)	
フラッシュ戸 (16.7.2)	合板の種類 規格等 備考 ・合板 表面の材種 生地、透明塗料塗り ◎70%程度 不透塗料塗り ◎70%程度 板面の品質 広葉樹 ◎1等 () ・針葉樹 ◎C-D以上 () ・天然木 化粧合板 樹種名() ・特殊加工 加工方法 ・オパール ・ブリット ・塗装 化粧合板 表面性能()タイプ 防虫処理 ・行う ・行わない 表面板の厚さ ◎標仕表16.7.6 建具材の含水率 ・A種 ・B種 ・C種 (表16.7.1) かまち戸の樹種名() 鏡板() (16.7.2) ふすま 上張り ◎新鳥の子程度又はビニル壁紙の子 (表16.7.3) 工法 ・I型 ・II型 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外・第三種 公共住宅の内装ドアの品質及び性能 ・品質・性能基準による 公共住宅の畳敷き床の品質及び性能 ・品質・性能基準による
マスターキー ◎制作する ・制作しない (16.8.4) その他の鍵 ◎各室3本1組 (16.8.2.3)(表16.8.1) 建具金物の種類 品質・規格 本締め付きモノロック 評価名簿による シリンドラ 箱錠 シリンドラ 本締め錠 ドアクローザ ヒンジクローザ フロアヒンジ ハンドル ◎レバーハンドル 公共住宅の各戸建具用金物 各戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能 (公仕16.8.2~4) ・品質・性能基準による 各戸玄関扉用及び内装扉用ドアクローザの品質及び性能 ・品質・性能基準による コナラクォーターの使用 可 ◎A型 ・B型 ・D型 ・D型 色彩 ◎シルバー 玄関扉用ドアクローザ ◎使用しない ◎E型 色彩 ◎シルバー ・ブロンズ 内装扉用ドアクローザ ◎使用しない 内装扉用戸当 材質 ◎ステンレス 金属製建具用丁番 材質 ◎ステンレス 木製建具用丁番 形状、寸法 () 材質 ◎ステンレス 形状、寸法 ◎102×2.0	
種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 (表16.9.1.2) ・SWD-1 ・SWD-2 閉閉方法 ◎スライディングドア (16.9.2) センサー ◎光線スイッチ (16.9.3) 製造所 ◎評価名簿による 凍結防止装置・図示	
品質規格 ◎標仕表16.10.1Iによる (16.10.3) ・製造所標準仕様による 製造所 ◎評価名簿による	

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	特記仕様書(4)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	NO SCALE	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-004/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者
	資格者氏名	小林 孝宏	登録番号	321076
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号		
	設計者	小林	田中	松岡

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 16 ガラス) and Description/Specifications (e.g., シーリング材の種類, 断熱性能, 耐火性能).

カーテン用ウオーリング工事

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 17 塗装) and Description/Specifications (e.g., シーリング材及びガラス取付材料, 断熱材, 耐火性能).

2 素地ごしらえ, 4 各種塗料塗り, 19 1 接着剤

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 19 1 接着剤) and Description/Specifications (e.g., 壁紙施工, 接着剤, 下地の種類, 塗料の種類).

10 せっこうボードその他のボード及び合板張り

Table with 2 columns: Item Name (e.g., タフテッドカーペット) and Description/Specifications (e.g., バイル形状, バイル長, 工法, 備考).

Table with 4 columns: 工事名称 (令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事), 工事場所 (東京都新宿区内藤町11), 公園名称 (新宿御苑), 検印 (管理建築士, 設計, 製図), 図面名称 (特記仕様書(5)), 縮尺 (NO SCALE), 図面番号 (A-005/025), 名称 (A I S 総合設計株式会社 本社), 資格者氏名 (小林 孝宏), 登録番号 (321076), 所在地 (栃木県宇都宮市明保野町2番10号).

断熱材 [G] 表19.7.1, 表19.8.2, 表19.8.3, 表19.9.2.3

19 内装工事 表19.9.4, 表19.10.1.2, 表19.10.1, 表19.11.1, 表19.11.1.2, 表19.12.2

20 エントリ 表20.2.2

4 トイレブース 表20.2.4, 表20.2.5, 表20.2.6, 表20.2.8

8 鏡 表20.9, 表20.10

9 表示 表20.11, 表20.12, 表20.13, 表20.14

17 止水板 表20.14, 表20.15, 表20.16, 表20.17

21 排水工事 表21.1, 表21.2, 表21.3

22 舗装 表22.2, 表22.3, 表22.4, 表22.5, 表22.6

23 植栽 表23.2, 表23.3, 表23.4, 表23.5, 表23.6

24 その他施設整備等 表24.1, 表24.2, 表24.3, 表24.4

8 コンクリート舗装 表22.4.4, 表22.4.5, 表22.4.6, 表22.5.3, 表22.5.4, 表22.6.2.3, 表22.7.6, 表22.8.2.3, 表22.8.2.3

23 植栽 表23.2.2.3, 表23.2.3, 表23.3.1, 表23.3.2, 表23.3.2, 表23.4.2, 表23.5.2

24 その他施設整備等 表24.1, 表24.2, 表24.3, 表24.4





工事名称: 令和4年度新宿御苑天亭裏トイレ新築工事
工事場所: 東京都新宿区内藤町11
公園名称: 新宿御苑
検印: 管理建築士, 設計, 製図
設計者: 名称 A I S 総合設計株式会社 本社
資格者氏名: 小林 孝宏
登録番号: 321076
所在地: 栃木県宇都宮市明保町2番10号

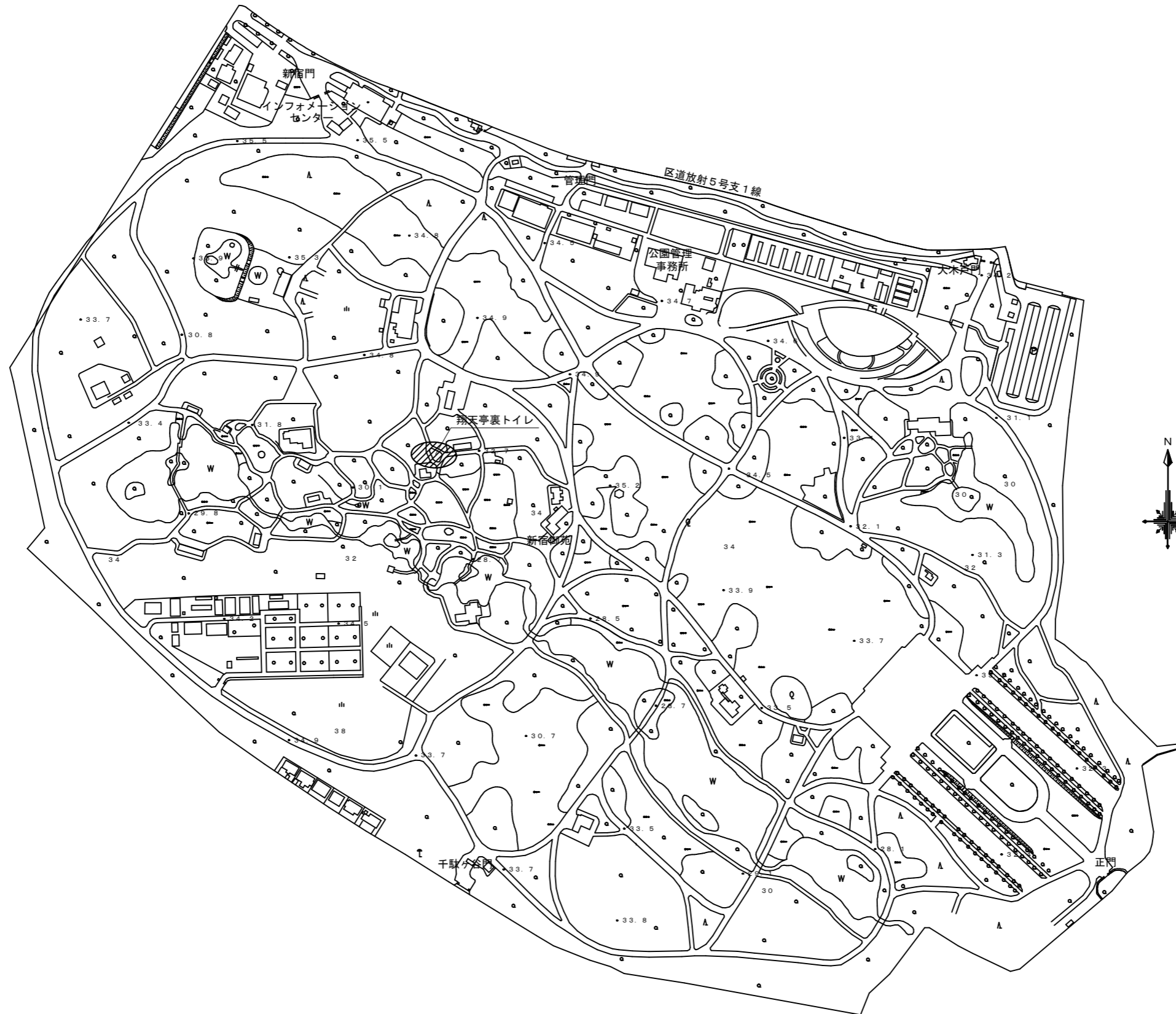
章	項目	特記事項
P C 工 法 に よ る 工 事	24 1 セメントの種類	・普通ポルトランドセメント・早強ポルトランドセメント（公仕24.2.1） ・混合セメントのA種
	2 混和材料	混和剤・AE剤・減水剤・AE減水剤・高性能減水剤（公仕24.2.1） ・高性能AE減水剤・流動化剤 混和材・57ｲﾝﾁ・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末・ｼﾘｶﾌｫｰﾑ・膨張材 （公仕24.2.5）
	3 鉄筋	規格 種類の記号 使用箇所 呼び名 (mm) 鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋) ・SD295A ◎D16以下・ ・SD345 ◎D19以上・ ・ ◎JIS規格による
	4 鋼材	種類の記号 使用箇所 規格等 ◎JIS規格による ◎JIS規格による
	5 接合用金物	仕上がり形状・図示 寸法・図示（公仕24.2.6）
	6 コンクリートの種類	・普通コンクリート・軽量コンクリート1種・軽量コンクリート2種（公仕24.3.2） （公仕24.3.3.4）
		設計基準強度Fc(N/mm ²) 水セメント比 スランプ ◎55%以下・ ◎12cm以下・
		かぶり厚さ（公仕24.3.3.4） 非耐力壁・床・屋根(cm) 耐力壁・柱・梁(cm) ◎20 ・ ◎30 ・
	7 溶接接合	添えプレート ^① の材質・フラグ ^② ・溶接の余盛(mm)・超音波探傷試験 ^③ ・行 ^④ ・行 ^⑤ わない（公仕24.6.6.7）
	8 スリーブ接合	材料・施工方法・検査 ^① ・行 ^② （方法：判定基準：） ・行 ^③ わない（公仕24.7.1）
9 狭小部充填コンクリート	コンクリートの設計基準強度FC（N/mm ² ）(PC部材の設計基準強度以上とする)（公仕24.9.1）	
10 敷きモルタルの圧縮強度	敷きモルタルの圧縮強度FC（N/mm ² ）(PC部材の設計基準強度以上とする)（公仕24.10.1）	
確認する必要がある施工图等	国土交通省告示第98号 工事施工段階で設計者が行うことに合理性がある実施設計に関する標準業務において、「設計図書等の定めにより、設計意図が正確に反映されていることを確認する必要がある部材、部位等に係る施工図等」は下記による。	
	<p>【建築図】</p> <p>■総合図 （平面・天伏・展開他） □仮設図 □土工図 □地業図 □躯体図 □組構図 □防水図 □石工図 ■タイル図 ■木工図 ■屋根図</p>	<p>■金属図 ■金属製建具図 □木製建具図 □内装図 □ユニットその他図 ■家具図 ■サイン図 □エレベーター図 ■外構図 □その他</p>

○その他

- 本工事は、受注者が工事着手前に希望する場合、受発注者双方が工程調整を行うことにより、「週休2日」を確保した施工を実施する「週休2日制工事（受注者希望型）」の試行対象工事である。
- 週休2日の考え方
 - 現場施工期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められること。（年末年始6日間と夏季休暇3日間は除く。）
 - 現場施工期間内には、工事着手日から工事完成日までの期間のうち工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
 - 4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。
 - 現場閉所日数とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。
 - 現場閉所による週休2日の対象外とする期間 無
 - 受注者の責によらない現場閉所
工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定する。なお、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。
 - やむを得ない現場閉所
やむを得ず現場閉所による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉所による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。
- 総合工事工程表の作成
受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。
 - 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
 - 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所^①の設置等の「施工準備期間」
 - 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
 - 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数
- 工事工程の共有
 - 試行工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
 - 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するの）について、受発注者で共有するものとする。
 - 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
 - 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。
- 現場閉所の達成状況及び精査
現場閉所の達成状況に応じて、受注者が希望する場合は、請負代金額の補正分を増額し請負代金額の変更を行うものとする。（補正係数については入札説明書等による。）

- 施工条件（1）
新宿御苑菊花壇展の期間中（11月1日～11月20日）は、利用者の安全を確保するため、部分的に工事が制限される場合があるので、工程管理に注意すること。
- 施工条件（2）
当該建築物は、令和3年度にコンクリート基礎及び立上がり配筋まで施工済みの状態である。（図面A-015、A-016を参照）
本工事契約前に、立上がり配筋の状況診断調査を実施する予定である。（別途業務）
鉄筋の再利用が可能であると判断された場合は、本工事において鉄筋に付着した錆を除去し使用上支障がない状態に復旧した上で工事を行う。
立上がり配筋が再利用できないと判断された場合は、基礎部分の施工方法を変更する。
施工方法については監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
- 建設発生土の搬出先
建設発生土の搬出先は「城南島（東京都大田区城南島3-14）」とする。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	特記仕様書(7)		
	工事場所				縮尺	NO SCALE	
公園名称				図面番号	A-007/025		
検印	管理建築士	設計	製図		設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
			 	資格者氏名		小林 孝宏	
				登録番号		321076	
				所在地		栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	全体配置図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:2500 (A1) 1:5000 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-008/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	小林	田	松岡 永井		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

施設概要		構造規模		外部		開口部		屋根等						その他	
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	木造 地上1階建て	外壁	構造用合板 12の上透防水シート 横鋼線 15×45 #303 セメントボード12.5 化粧仕上材塗り	-	屋根	カラーガルバリウム鋼板0.4平葺き ゴムアスファルトルーフィング 1.0 野地板(頂部):構造用合板 24下地 不燃認定番号:NM-8697						犬走り	コンクリート金ゴテ仕上(目地切仕上)	
工事場所	地名地番 東京都新宿区内藤町11														
	用途地域 第一種中高層住居専用地域/国民公園														
	防火地域 準防火														
	その他 20m第二種高度地区・第1種文教地区 日影規制:3時間-2時間(+4.0m)														
用途	公園施設(便所)														
工事種別	新築														
敷地面積	583.061.13m ²														
	容積率 200%														
	建ぺい率 60%														
その他	関連法規等 埋蔵文化財包蔵地 都市計画公園都市公園区域														
耐火仕様	-														
延床面積															
建築面積															
		軒天	杉羽目板張り												
		外巾木	コンクリート打放し面補修の上 化粧仕上材塗り												
		木部	全て珪藻												

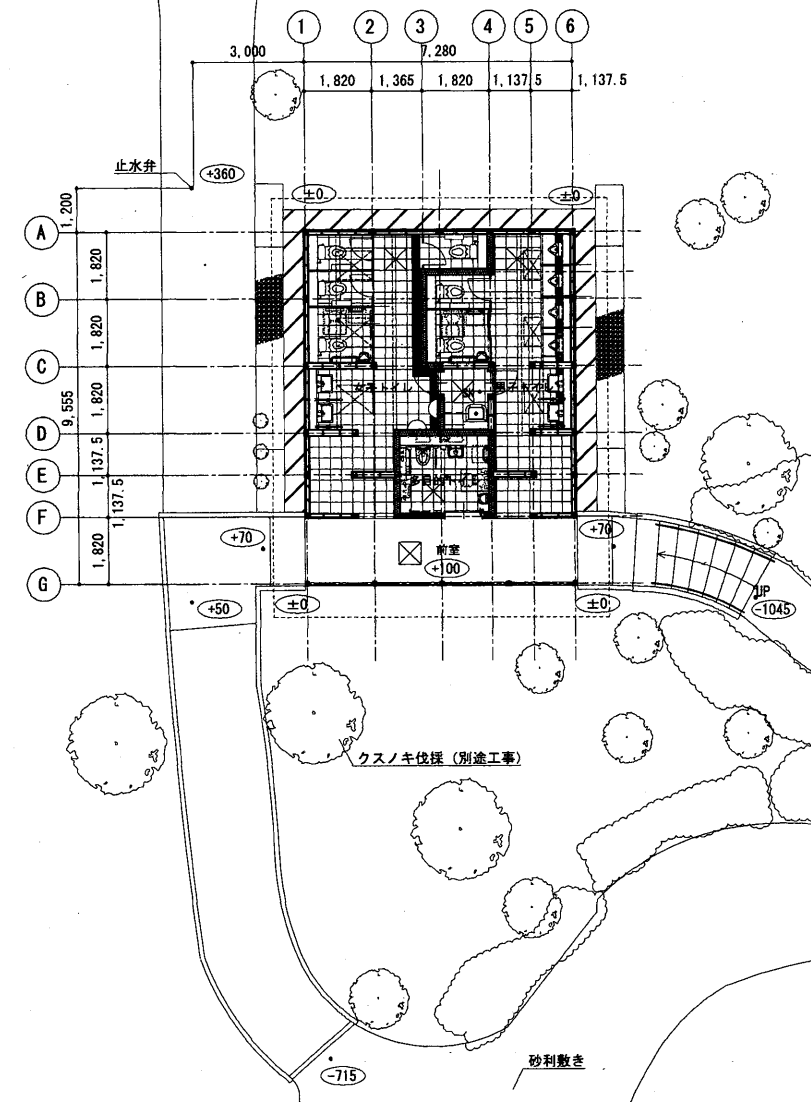
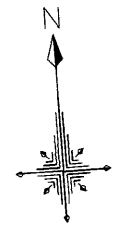
内部仕上表

室名	床		巾木			壁		天井					
	仕上		仕上	塗装	高さ	仕上		塗装	仕上		塗装	廻縁	天井高さ
男子トイレ	磁器質タイル 300角張り		磁器質タイル		300	(FL+1200まで) 木下地の上シーリング石こうボード12.5+硬質石こうボード9.5の上 300角タイル貼り 木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木製 WP	2500 一部図示		
女子トイレ	磁器質タイル 300角張り		磁器質タイル		300	(FL+1200まで) シーリング石こうボード12.5+硬質石こうボード9.5の上 300角タイル貼り 木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木製 WP	2500 一部図示		
多目的トイレ	磁器質タイル 300角張り		磁器質タイル		300	(FL+1200まで) シーリング石こうボード12.5+硬質石こうボード9.5の上 300角タイル貼り 木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木造下地の上 杉羽目板張り12	WP	木製 WP	2500		

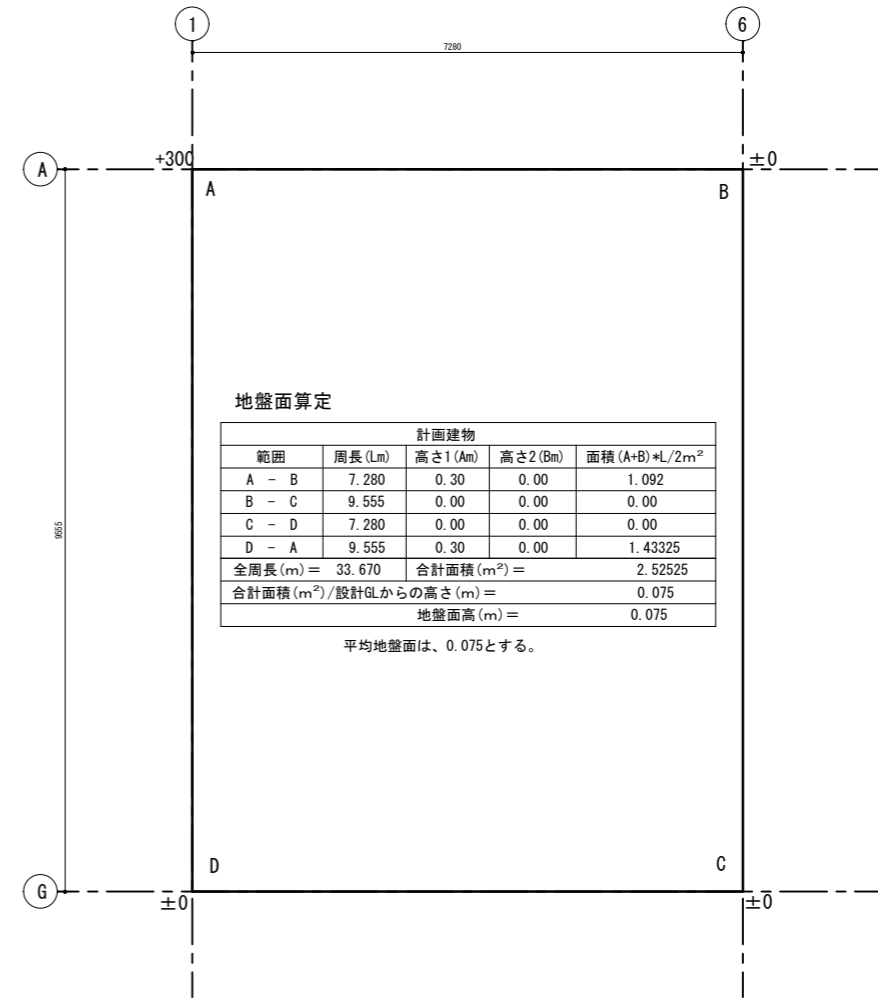
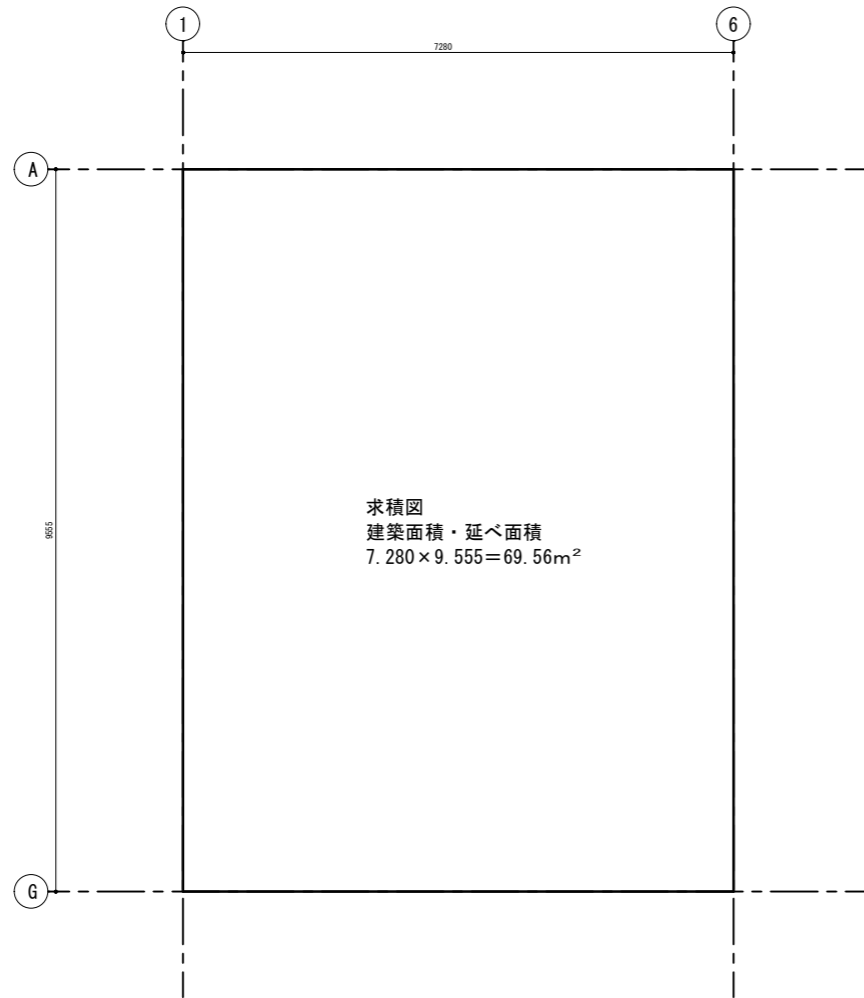
共通特記事項

<p>塗装記号 塗装材料はすべてF☆☆☆☆とする。 室内については、TVOC、VOC、SVOCの少ない材料を使用する。 トルエン、キシレン、ステレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、クロルピリホスを含まない材料を使用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装</th> <th>同等品商品名</th> <th>対応 標準仕様書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>名称</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント(水性)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>つや有り合成樹脂エマルジョンペイント(水性)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>SUC</td> <td>水性ウレタン樹脂ワニス塗着色仕上</td> <td>ステイン①+水性ファインウレタン② U100木部用クリア③(日本ペイント同等品)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>WP</td> <td>木材保護塗料</td> <td>木部用クリア③(下塗1回 上塗2回) (羽目板部 裏面1回共) (日本オスモ同等品)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>RDC</td> <td>低汚染型水性無機質塗料</td> <td>ラディアスWS(BI法)緑水材 下塗1回 上塗2回 (大日技術工業同等品)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>耐候性塗料塗り</td> <td>デュフロン100ファイン (フッ素系) (日本ペイント同等品)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	塗装		同等品商品名	対応 標準仕様書	記号	名称			SOP	合成樹脂調合ペイント		-	EP	合成樹脂エマルジョンペイント(水性)		-	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント(水性)		-	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		-	SUC	水性ウレタン樹脂ワニス塗着色仕上	ステイン①+水性ファインウレタン② U100木部用クリア③(日本ペイント同等品)	-	WP	木材保護塗料	木部用クリア③(下塗1回 上塗2回) (羽目板部 裏面1回共) (日本オスモ同等品)	-	RDC	低汚染型水性無機質塗料	ラディアスWS(BI法)緑水材 下塗1回 上塗2回 (大日技術工業同等品)	-	DP	耐候性塗料塗り	デュフロン100ファイン (フッ素系) (日本ペイント同等品)	-	<p>共通特記事項</p> <p>内外装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材の塗装は、全て艶消しとする。 ・運搬車・重機などの敷地内への入退場に伴う、地盤の沈下などについては現況復旧を原則とする。 ・運搬車・重機などの敷地内への入退場に伴う、車両は4t車までとする。 ・GL+1000まで防塵・防蟻処理を行う。 ・床点検口は、ステンレス製(防臭型・600角)とし、表面仕上材は床と同じとする。(鍵付) ・コンクリートのコーナー部分は面取り仕上げとする。 ・水廻り家具、洗面カウンター等と壁との入り隅部の取り合いは、ポリサルファイド系シーリング5mm×5mmを施工する。 ・外部シーリング(外壁取り合い、外部建具廻り、その他)は、変成シリコン系シーリングとする。 ・内部取合シーリングは、ポリサルファイド系シーリングとする。 ・スチール・ステンレスのF目等は、角に糸面取り処理を施す。 ・内装材及び家具、建具等内部に取り付ける物はすべてホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、ステレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、クロルピリホスを含む材料は使用しない。 ・構造用合板は、全て特類とする。 ・水切りは面取り仕上げとする。 ・表しとなる木部は特記なき限り珪藻とする。 ・男子トイレ各小便器横には傘掛けを設ける。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する材料は全てF☆☆☆☆品とする。 ・ステンレスは、特記なき限り全てSUS304HL仕上とする。 ・床仕上材の異なる部分の見切には、SUS304 F B-6×15HLを使用する。 ・建具のステンレス管帯及び下枠は、建具工事とする。 ・家具のツマミ、扉等を開く時に当たる部分には塩ビ透明ゴム10φを設ける。 ・設備のスリーブ位置については、必ず監督員承認の上施工すること。 <p>建具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法は全て特内有効寸法を示す。 ・外部に付く開き扉は、ステンレス丁番・ドアクローザー(室内側バックチェック付)とする。 ・フラッシュ戸は両面フラッシュ戸とする。 ・把手及び引手は両面仕様とする。 ・防火戸には、ストッパーなしのドアクローザー装置を設ける。(親子扉、両開扉は2ヶ所、順位調整器を含む) ・本締錠(シリンダー錠)はサムターン付とする。 ・ドアクローザーはストップ付とし、取付位置は監督員の許可を得る。 ・把手・ヒンジ・付属金物類はステンレス製とする。 ・ハンガードアは全てストップ付、ガイドローラ付とする。 ・シリンダー錠はマスターキー方式とする。 ・ハキ出し窓の管帯、下枠はステンレス製とする。 <p>木材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造作材は上小節とする。 ・下地材は特一等とする。
塗装		同等品商品名	対応 標準仕様書																																						
記号	名称																																								
SOP	合成樹脂調合ペイント		-																																						
EP	合成樹脂エマルジョンペイント(水性)		-																																						
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント(水性)		-																																						
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		-																																						
SUC	水性ウレタン樹脂ワニス塗着色仕上	ステイン①+水性ファインウレタン② U100木部用クリア③(日本ペイント同等品)	-																																						
WP	木材保護塗料	木部用クリア③(下塗1回 上塗2回) (羽目板部 裏面1回共) (日本オスモ同等品)	-																																						
RDC	低汚染型水性無機質塗料	ラディアスWS(BI法)緑水材 下塗1回 上塗2回 (大日技術工業同等品)	-																																						
DP	耐候性塗料塗り	デュフロン100ファイン (フッ素系) (日本ペイント同等品)	-																																						

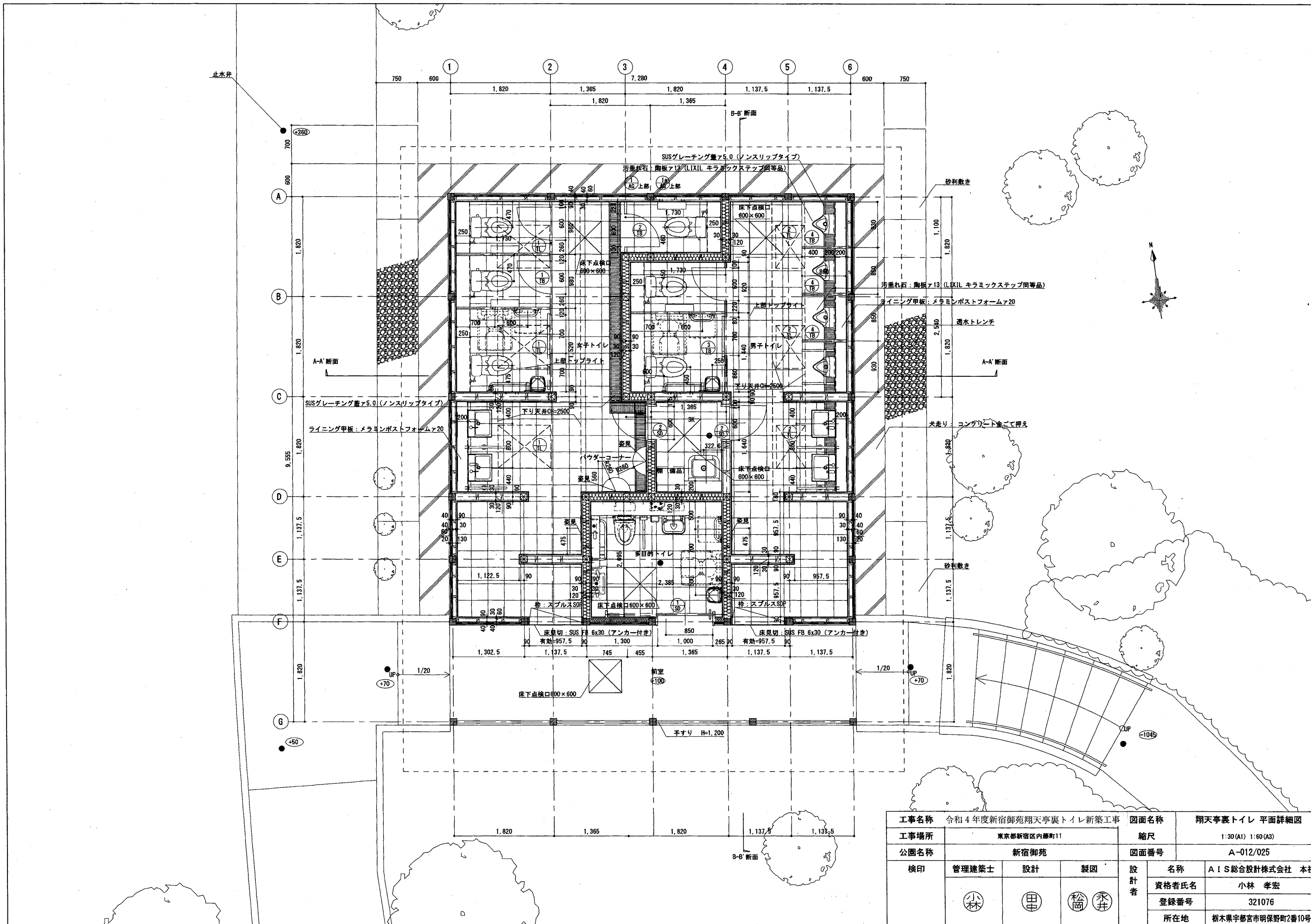
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	構造概要・外部・内部仕上表
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	NO SCALE
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-009/025
検印	管理建築士	設計	製図
			 
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
		資格者氏名	小林 孝宏
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



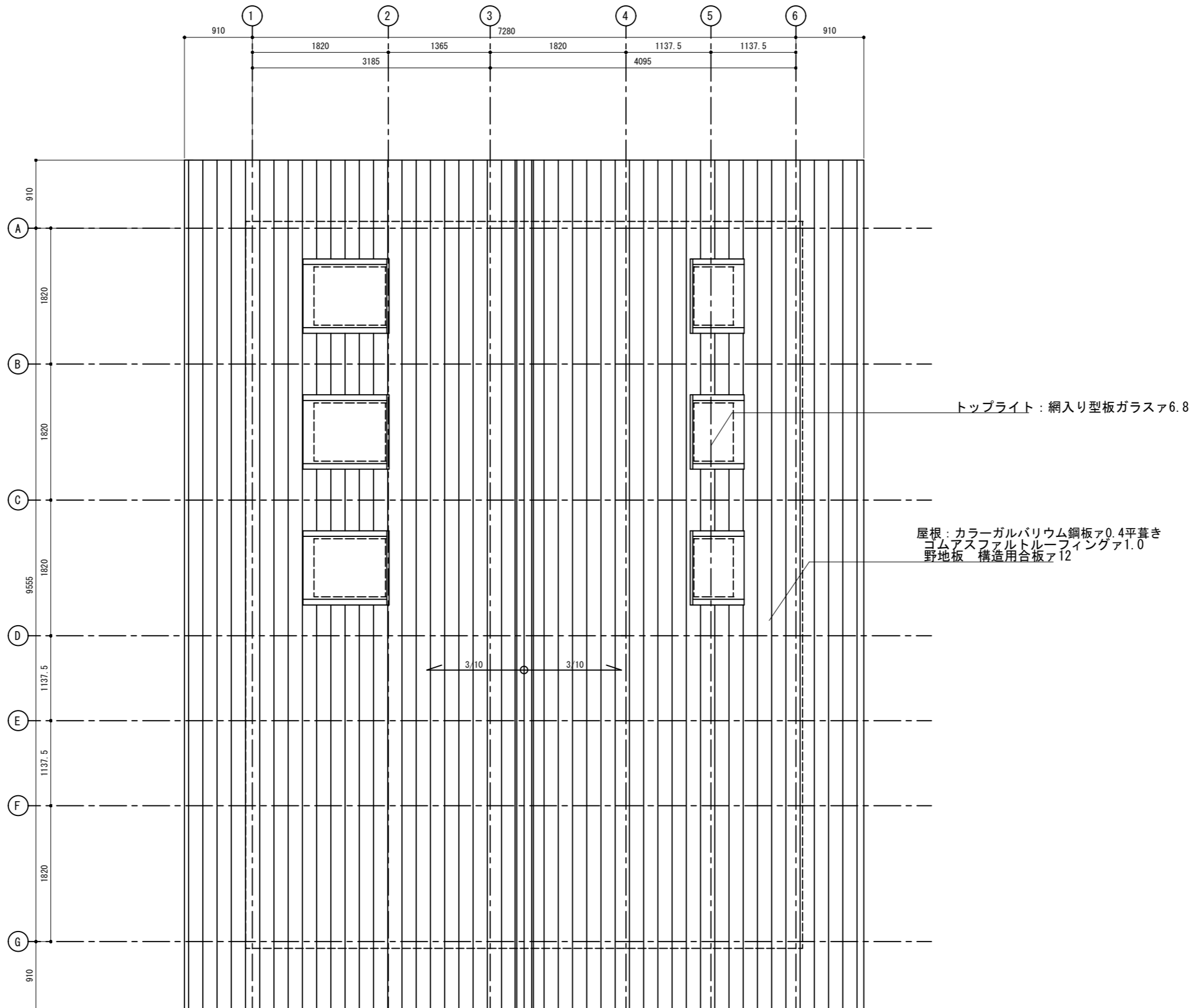
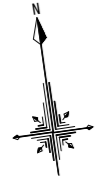
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 配置図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:100(A1) 1:200(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-010/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	AI S総合設計株式会社 本社
	小林	田中	松岡 永井		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



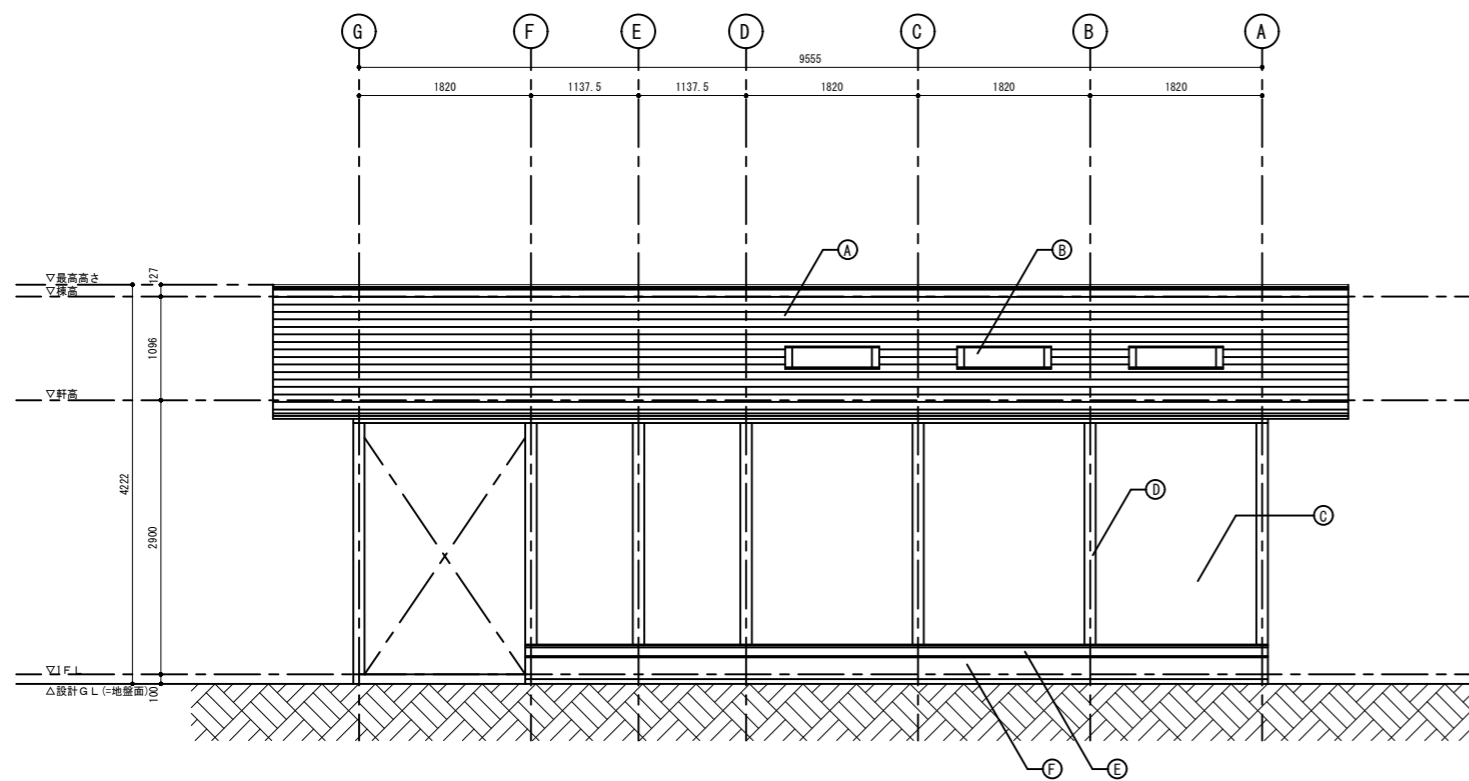
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 求積図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-011/025
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
		資格者氏名	小林 孝宏
		登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



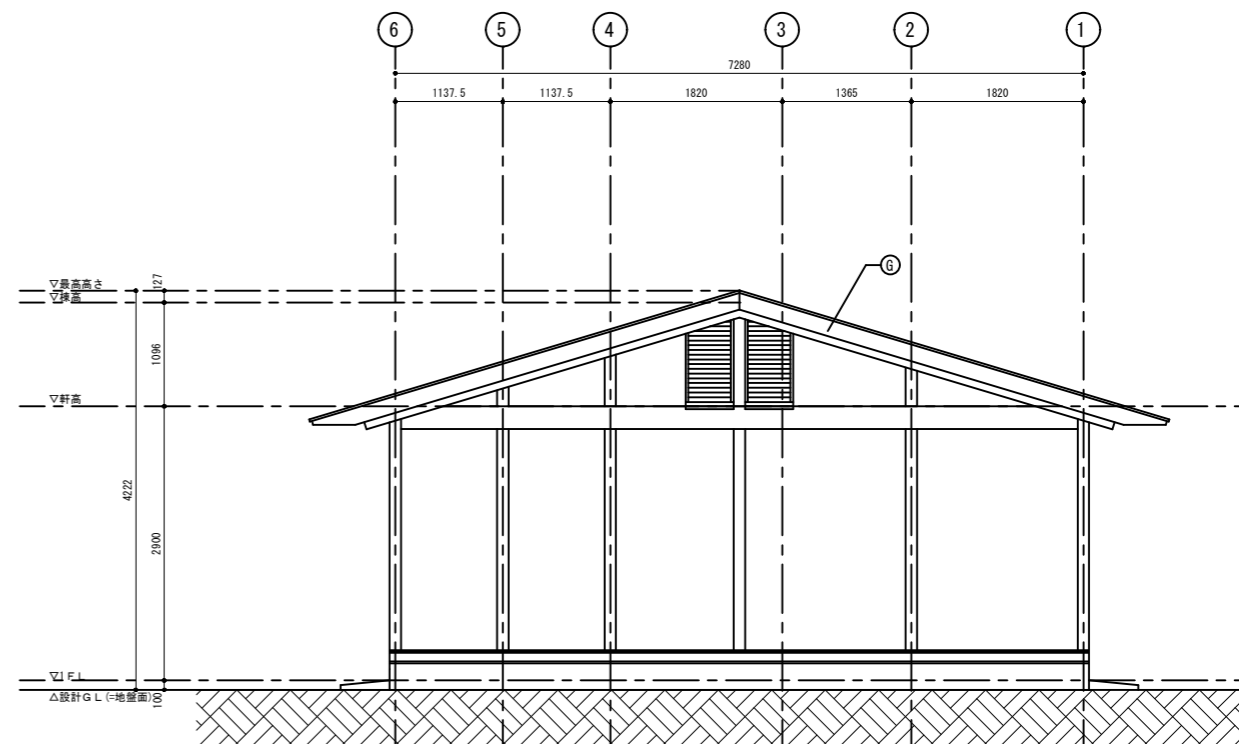
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 平面詳細図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-012/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	小林	田中	松岡 永井		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



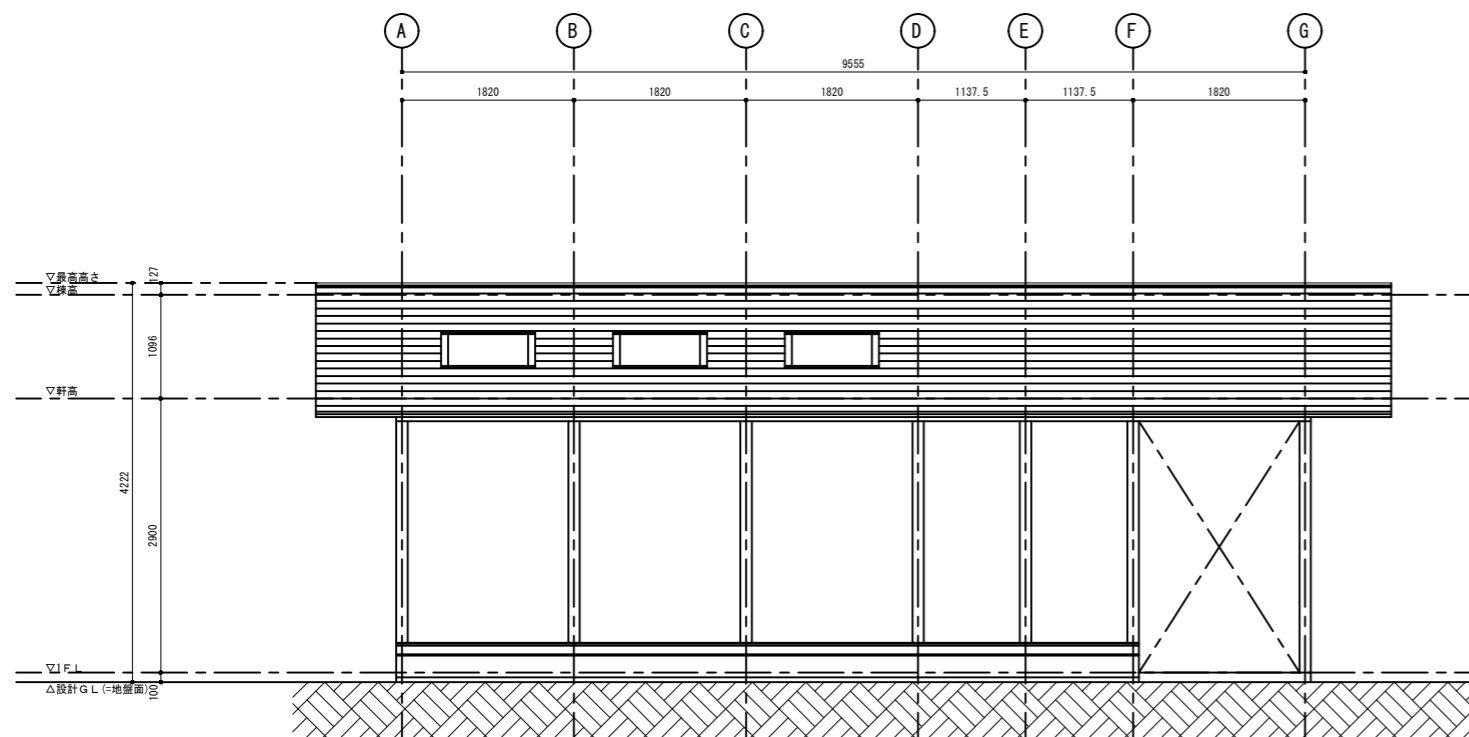
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 屋根伏図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-013/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



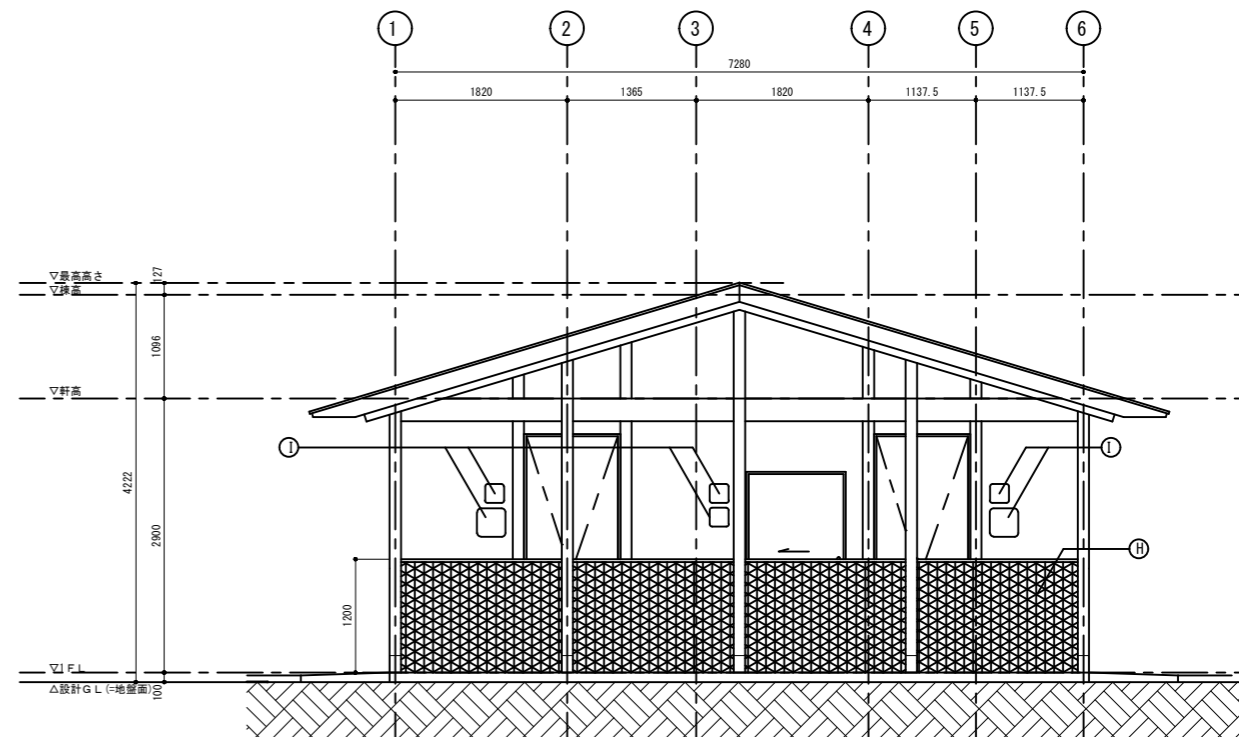
東側立面図



北側立面図



西側立面図

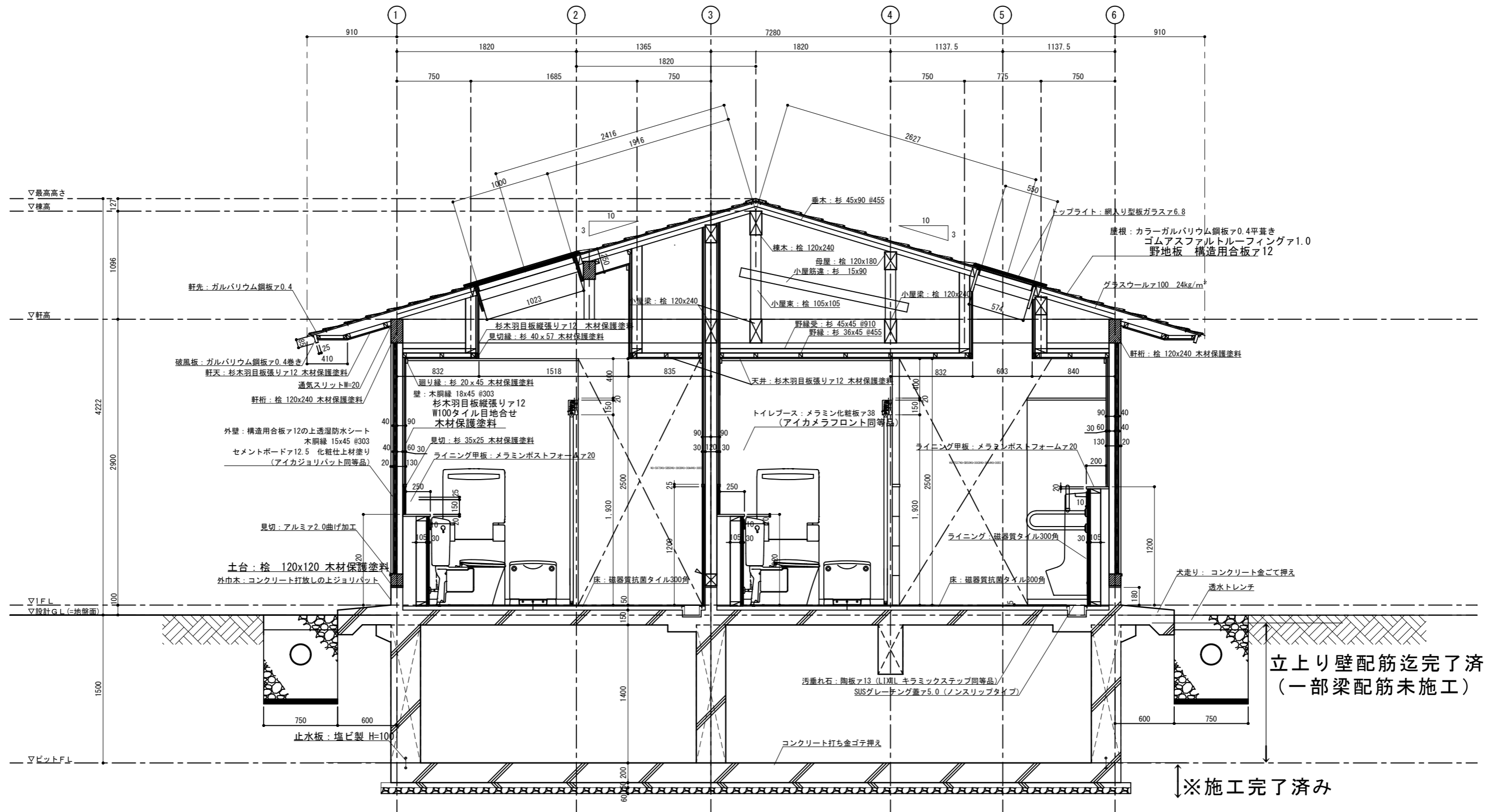


南側立面図

Ⓐ	屋根：カラーガルバリウム鋼板α0.4平葺き ゴムアスファルトルーフィングα1.0 野地板 構造用合板α12
Ⓑ	トプライト：網入り型板ガラスα6.8
Ⓒ	外壁(真壁)：構造用合板α12の上透湿防水シート 木調線 15x45 #303 セメントボードα12.5 専用化粧仕上材塗り
Ⓓ	柱：桧 120x120 木材保護塗料
Ⓔ	土台：桧 120x120 木材保護塗料

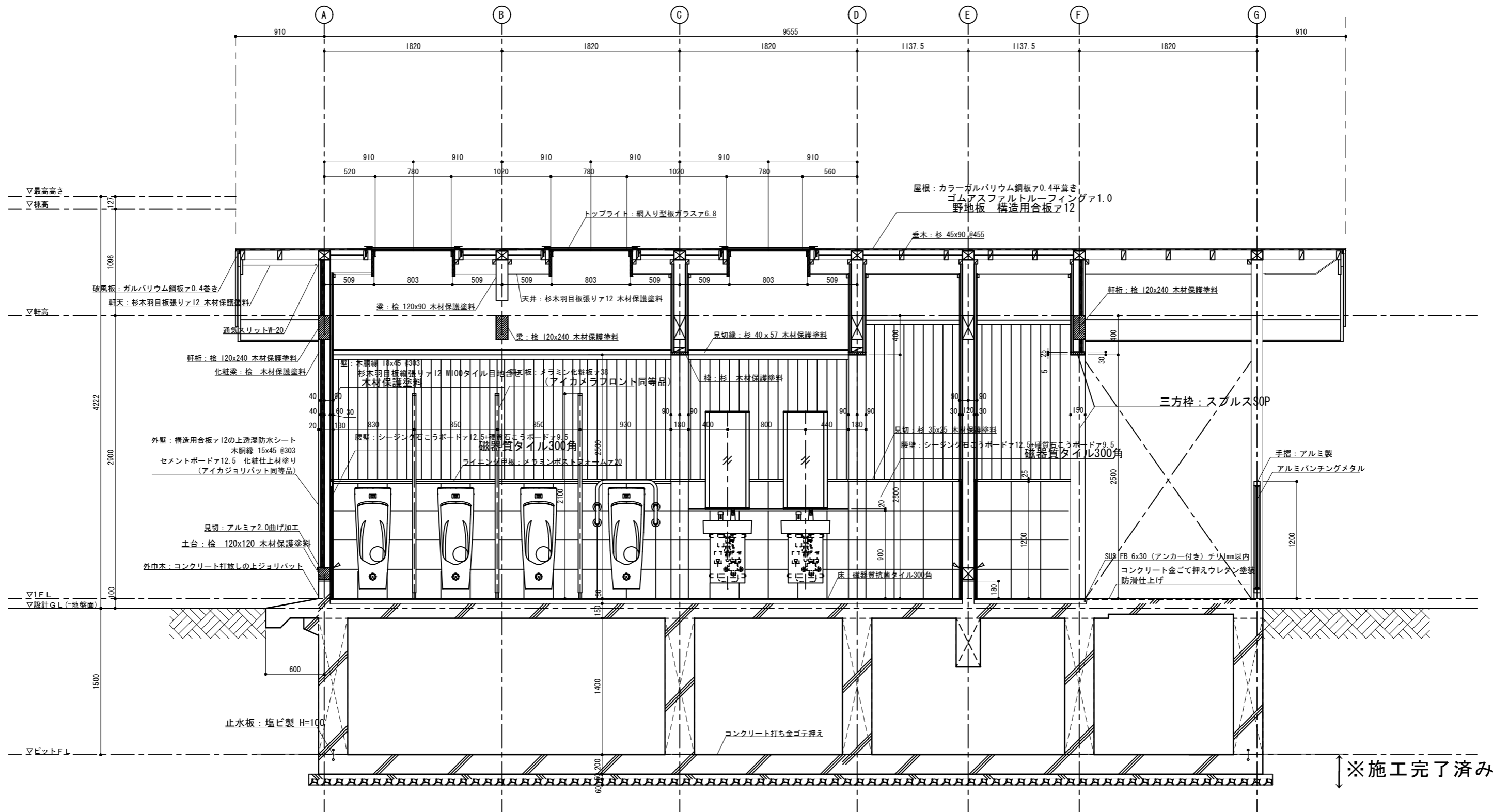
Ⓕ	外巾木：コンクリート打放し下地ジョリパット
Ⓖ	ケラバ板：ガルバリウム鋼板α0.4巻き
Ⓗ	パンチングメタルフェンス
Ⓘ	ピクトサイン

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 立面図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	1:40 (A1) 1:80 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-014/025
検印	管理建築士	設計	製図
	Ⓜ	Ⓞ	Ⓟ Ⓠ
	Ⓜ	Ⓞ	Ⓟ Ⓠ
	Ⓜ	Ⓞ	Ⓟ Ⓠ
設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社	
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



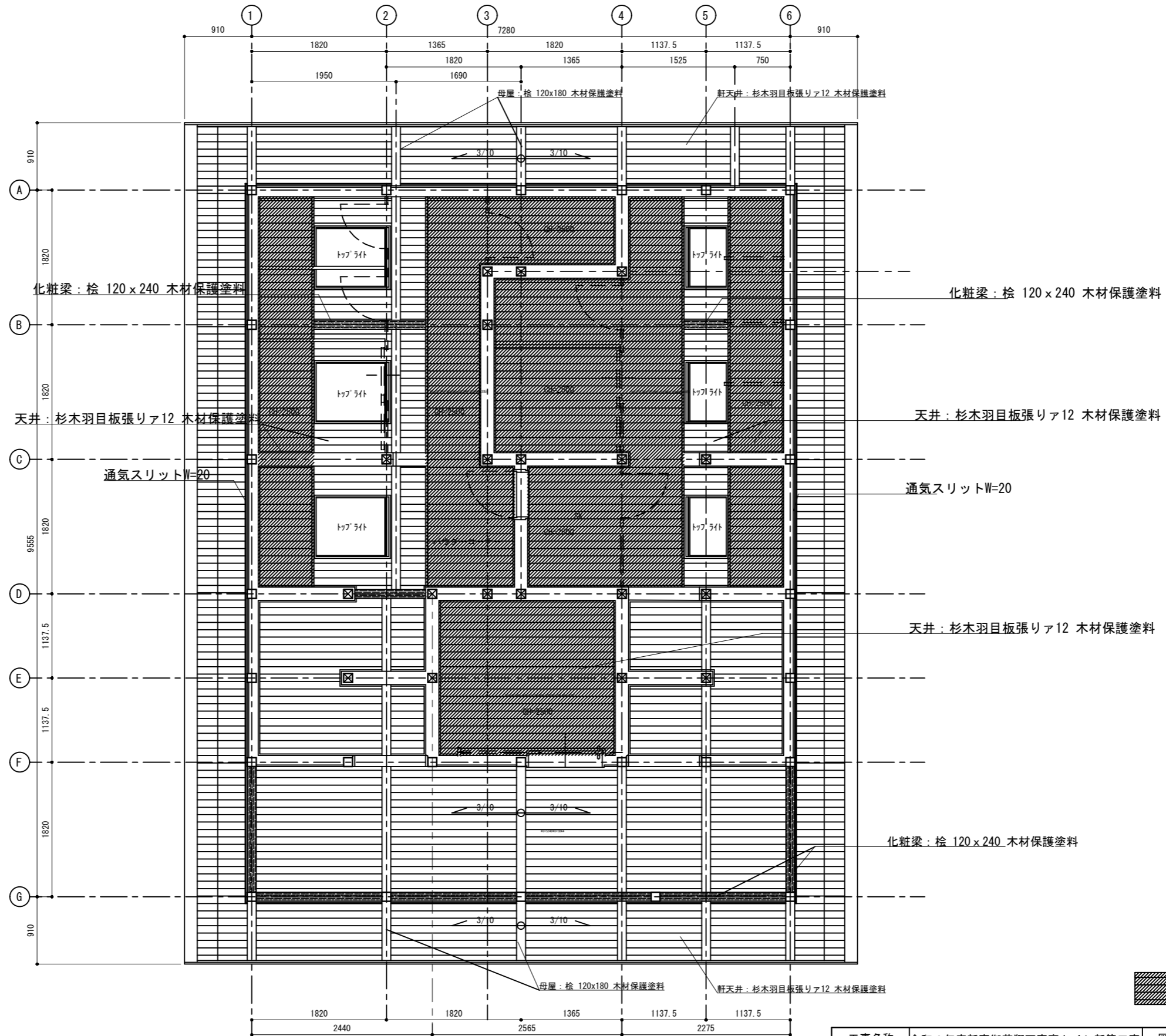
A-A' 断面図

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 断面詳細図(1)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	1:20 (A1) 1:40 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-015/025
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	松岡 永井
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	資格者氏名	小林 孝宏	登録番号
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

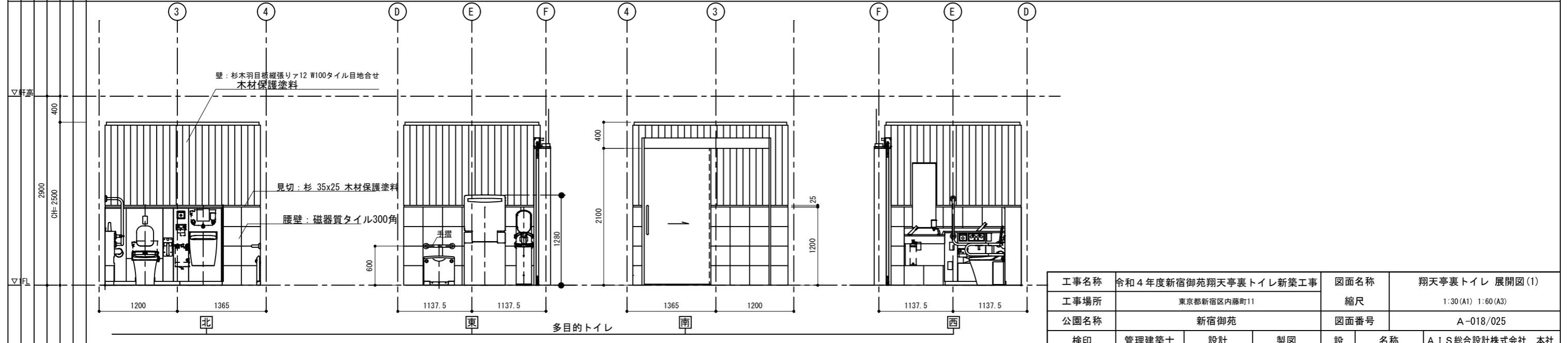
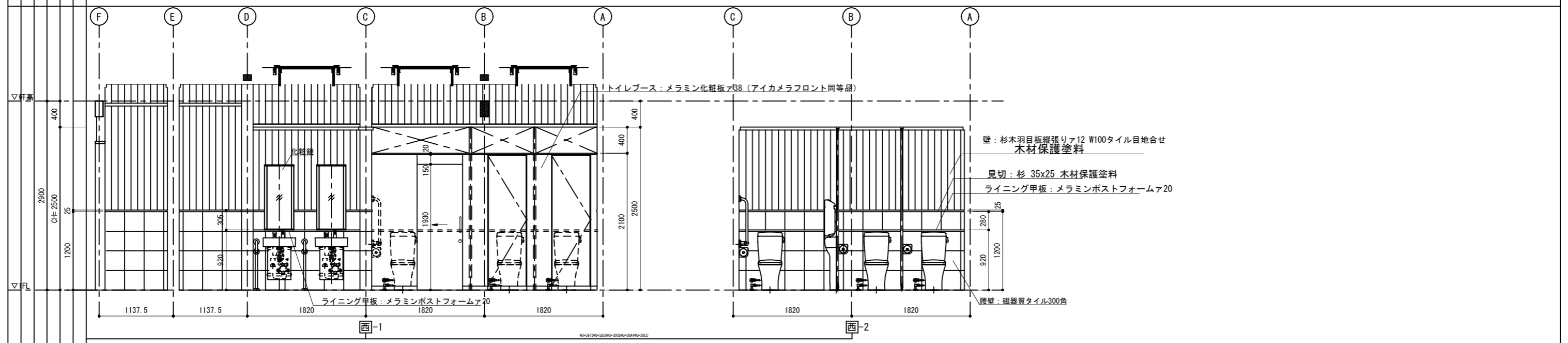
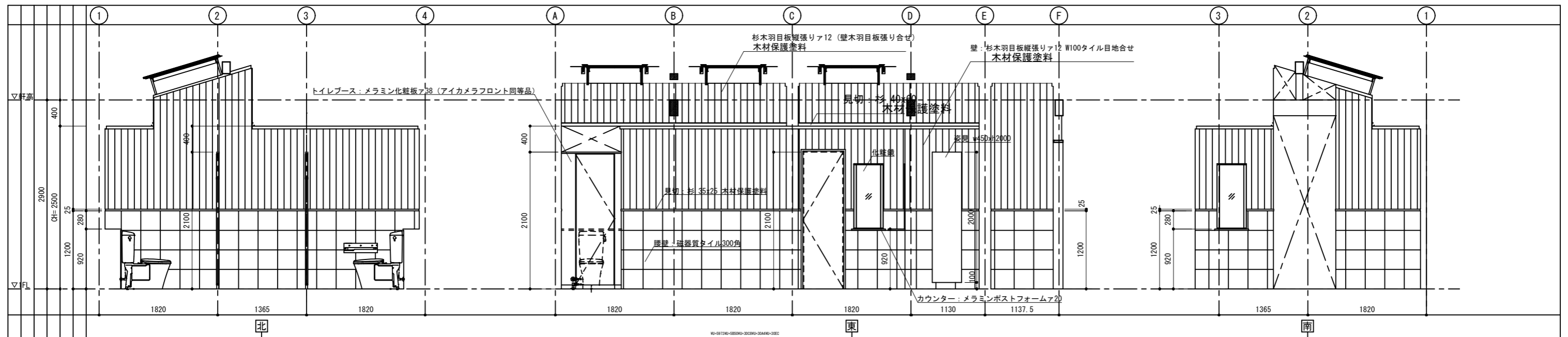


B-B' 断面図

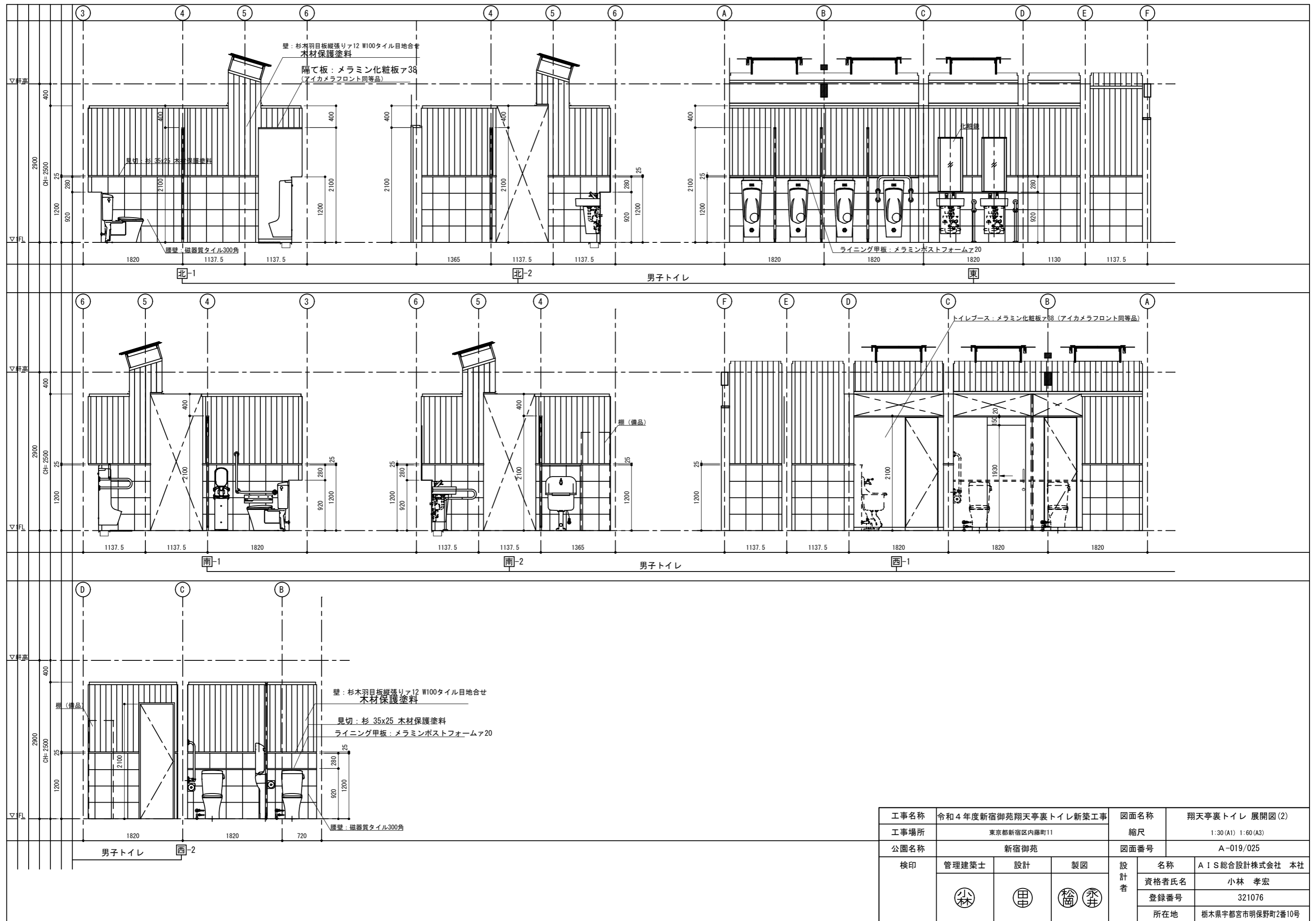
工事名称			令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事		図面名称		翔天亭裏トイレ 断面詳細図(2)	
工事場所			東京都新宿区内藤町11		縮尺		1:20 (A1) 1:40 (A3)	
公園名称			新宿御苑		図面番号		A-016/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社		
	小林	田中	松岡 永井	資格者氏名	小林 孝宏			
				登録番号	321076			
				所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号			



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 天井伏図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-017/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 展開図(1)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-018/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 展開図(2)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-019/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
	小林	田中	松岡 永井		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

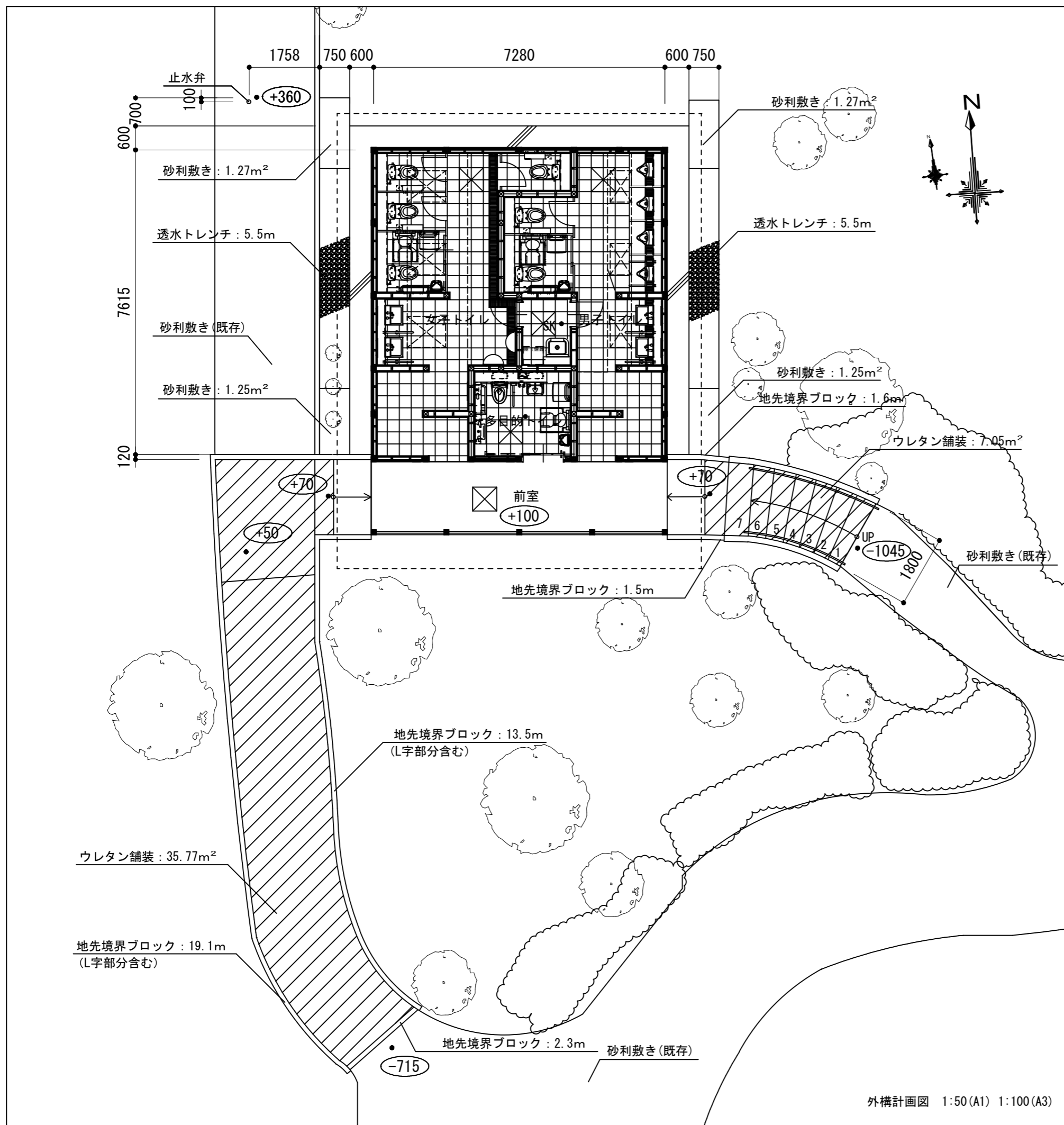
建具記号	AG-1 固定ガラリ 1か所	AG-1a 固定ガラリ 1か所	TL-1 トップライト 3か所	TL-2 トップライト 3か所	SD-1 鋼製片引きドア 1か所	SD-2 鋼製片開きドア 2か所
材質等	アルミ電解着色	アルミ電解着色	アルミ電解着色	アルミ電解着色	スチールDP	スチールDP
金物	防虫網、附属金物一式	防虫網、附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	SUS引手 L=300 表示錠（非常用開閉装置） ガイドローラー、駆動装置、換気ガラリ（開口率40%） 枠：スチールST枠、附属金物一式	SUSレバーハンドル、本締め錠、丁番、ドアクローザー 附属金物一式
使用場所	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	多目的トイレ	SK室
ガラス			網入り型板ガラス6.8	網入り型板ガラス6.8		
備考	木造用外付け型	木造用外付け型				
姿 図						

建具記号	TB-1 トイレブース（脚部巾木仕様） 1か所	TB-2 トイレブース（脚部巾木仕様） 1か所	TB-3 トイレブース（脚部巾木仕様） 1か所	TB-4 隔て板（脚部巾木仕様） 3か所
材質等	メラミン化粧板ア38（レスキューオープン仕様） （メラミンエッジ貼）	メラミン化粧板ア38（レスキューオープン仕様） （メラミンエッジ貼）	メラミン化粧板ア38（レスキューオープン仕様） （メラミンエッジ貼）	メラミン化粧板ア38 （メラミンエッジ貼）
金物	SUS笠木、SUS巾木、表示付きラッチ錠、ラバトリーヒンジ、衣帽掛け、ガイドレール 附属金物一式	SUS笠木、SUS巾木、表示付きラッチ錠、ラバトリーヒンジ 衣帽掛け 附属金物一式	SUS笠木、SUS巾木、表示付きラッチ錠、ラバトリーヒンジ、衣帽掛け、ガイドレール 附属金物一式	SUS笠木、SUS巾木 附属金物一式
使用場所	女子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	男子トイレ
ガラス				
備考	アイカ工業 メラフロントブース同等品	アイカ工業 メラフロントブース同等品	アイカ工業 メラフロントブース同等品	アイカ工業 メラフロントブース同等品
姿 図				

建具記号					
材質等					
金物					
使用場所					
ガラス					
備考					
姿 図					

建具記号					
材質等					
金物					
使用場所					
ガラス					
備考					
姿 図					

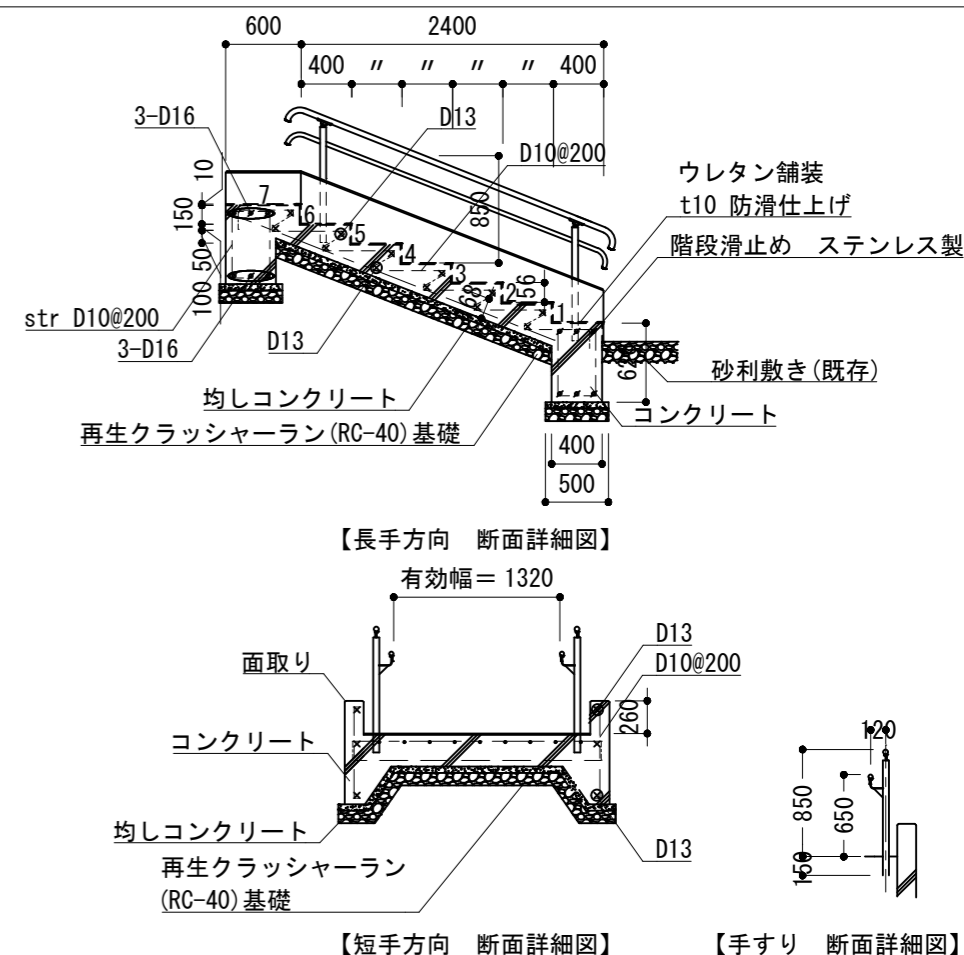
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレ 建具表	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-020/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



外構計画図 1:50(A1) 1:100(A3)

階段詳細図

1:30(A1) 1:60(A3)

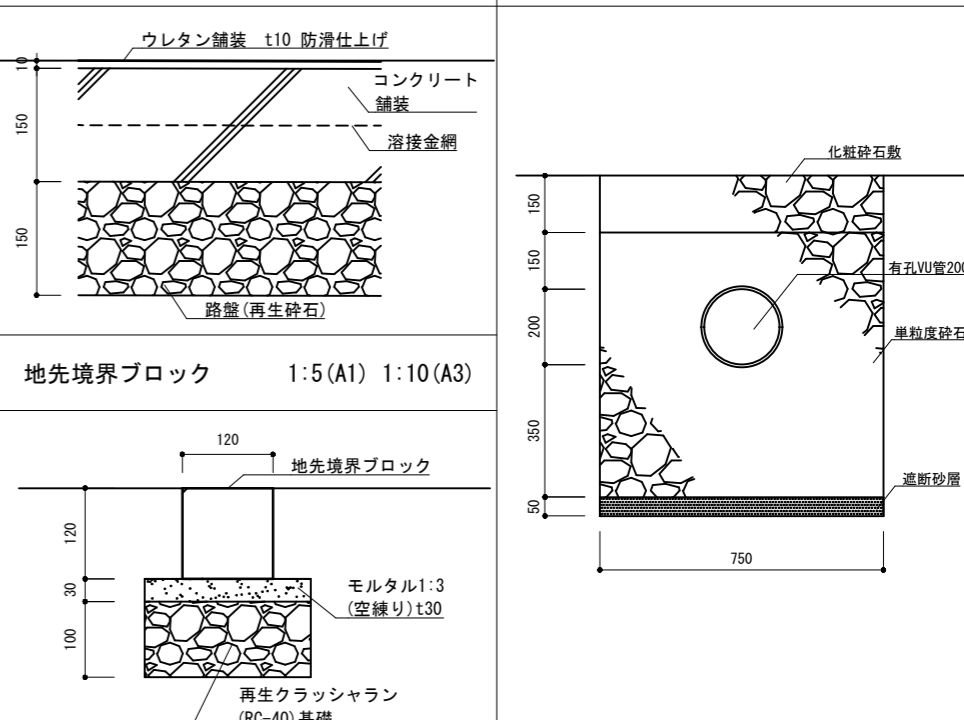


ウレタン舗装

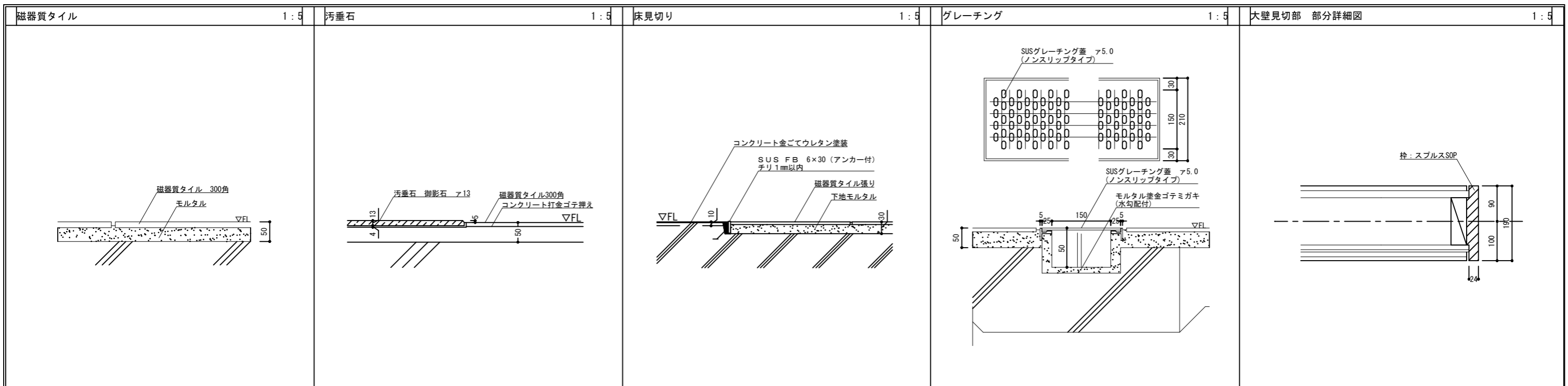
1:5(A1) 1:10(A3)

透水トレンチ

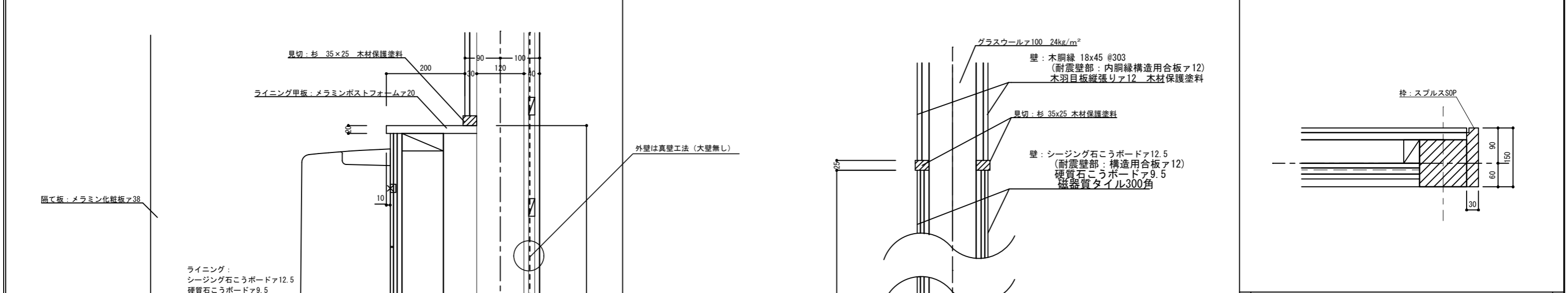
1:10(A1) 1:20(A3)



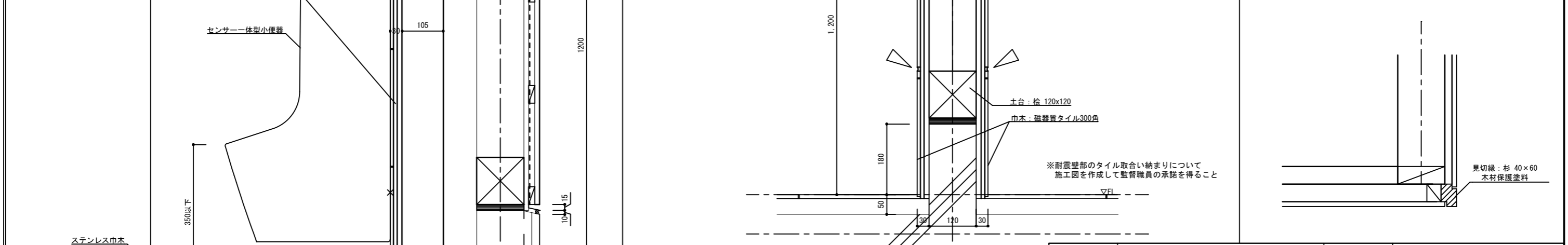
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 外構計画図・外構詳細図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	ANY	
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-021/025	
検印	管理建築士	設計	製図	
	設計者	名称	AIS総合設計株式会社 本社	
		資格者氏名	小林 孝宏	
		登録番号	321076	
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



磁器質タイル 1:5 汚垂石 1:5 床見切り 1:5 グレーチング 1:5 大壁見切部 部分詳細図 1:5

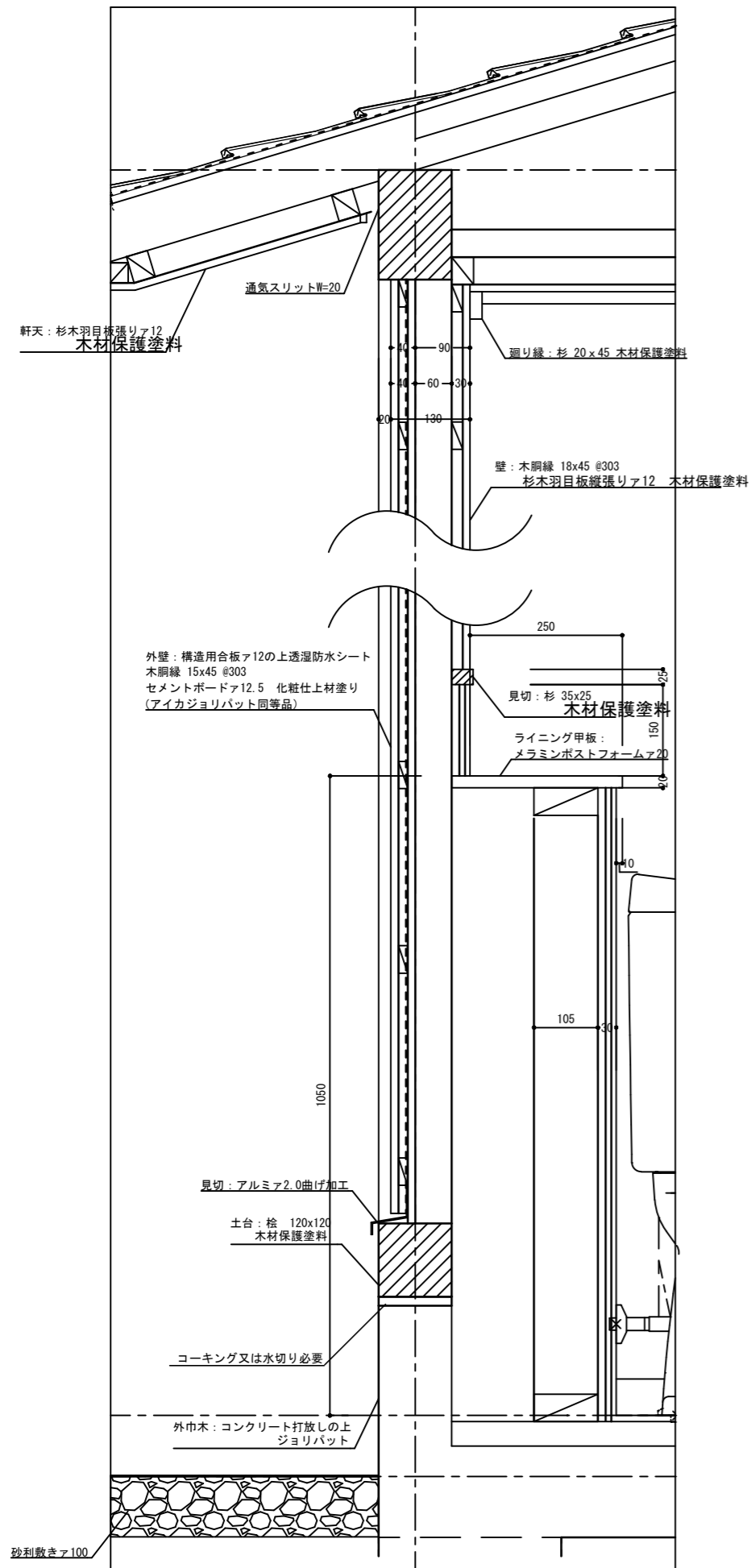


ライニング詳細図(小便器) 1:5 内壁部 部分詳細図 1:5 真壁見切部 部分詳細図 1:5



天井見切部 部分詳細図 1:5

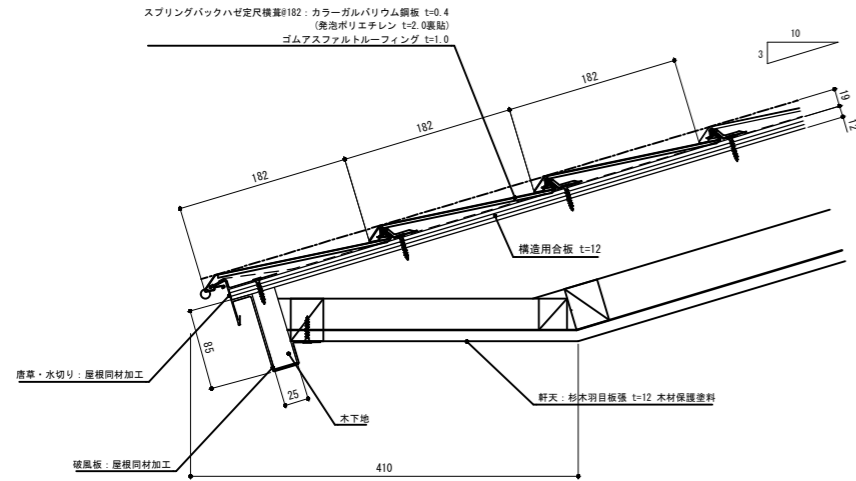
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	部分詳細図(1)
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:5(A1) 1:10(A3)
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-022/025
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称 A I S 総合設計株式会社 本社
	小林	田中	松岡 永井		資格者氏名 小林 孝宏
					登録番号 321076
					所在地 栃木県宇都宮市明保野町2番10号



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	部分詳細図(2)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	1:5(A1) 1:10(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-023/025
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	松岡 永井
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
		資格者氏名	小林 孝宏
		登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

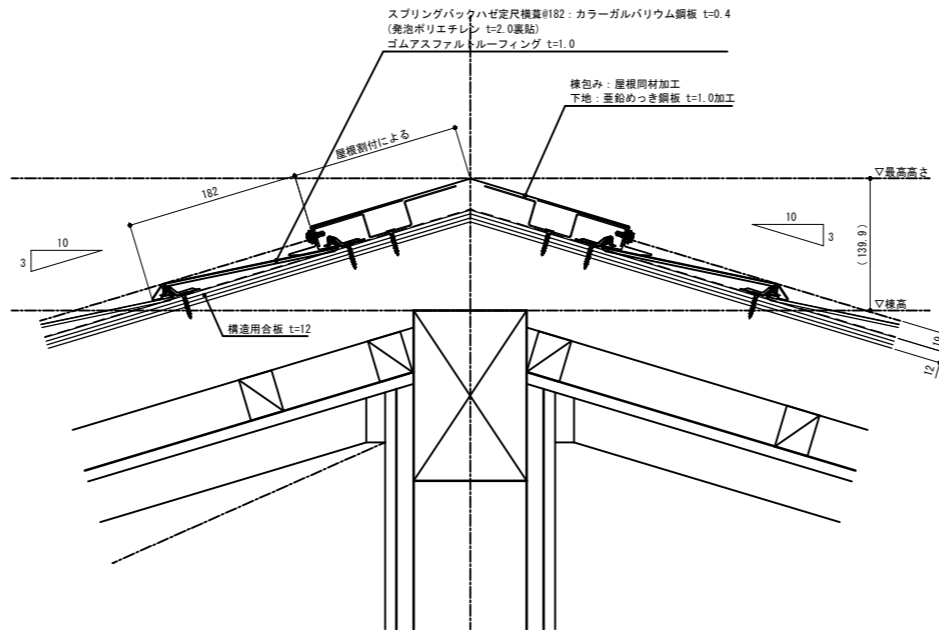
軒先断面詳細図

1:4



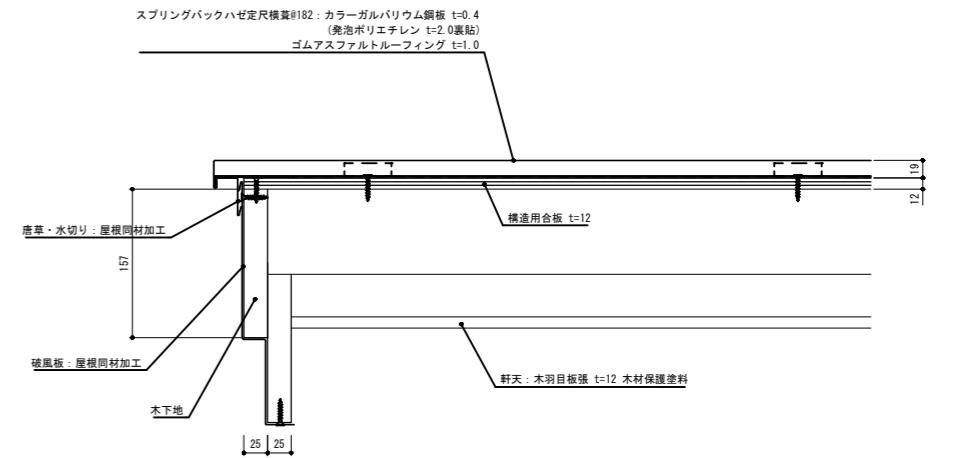
棟断面詳細図

1:4



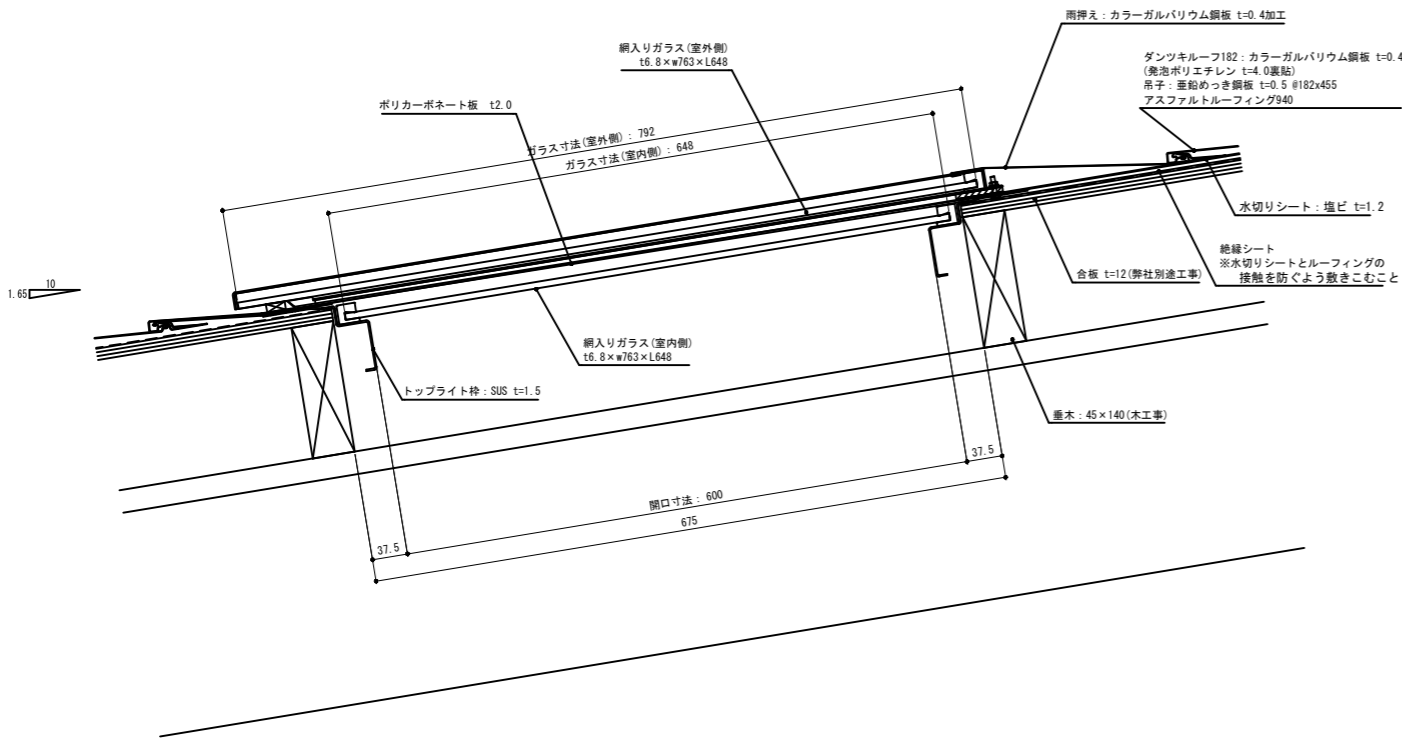
ケラバ断面詳細図

1:4



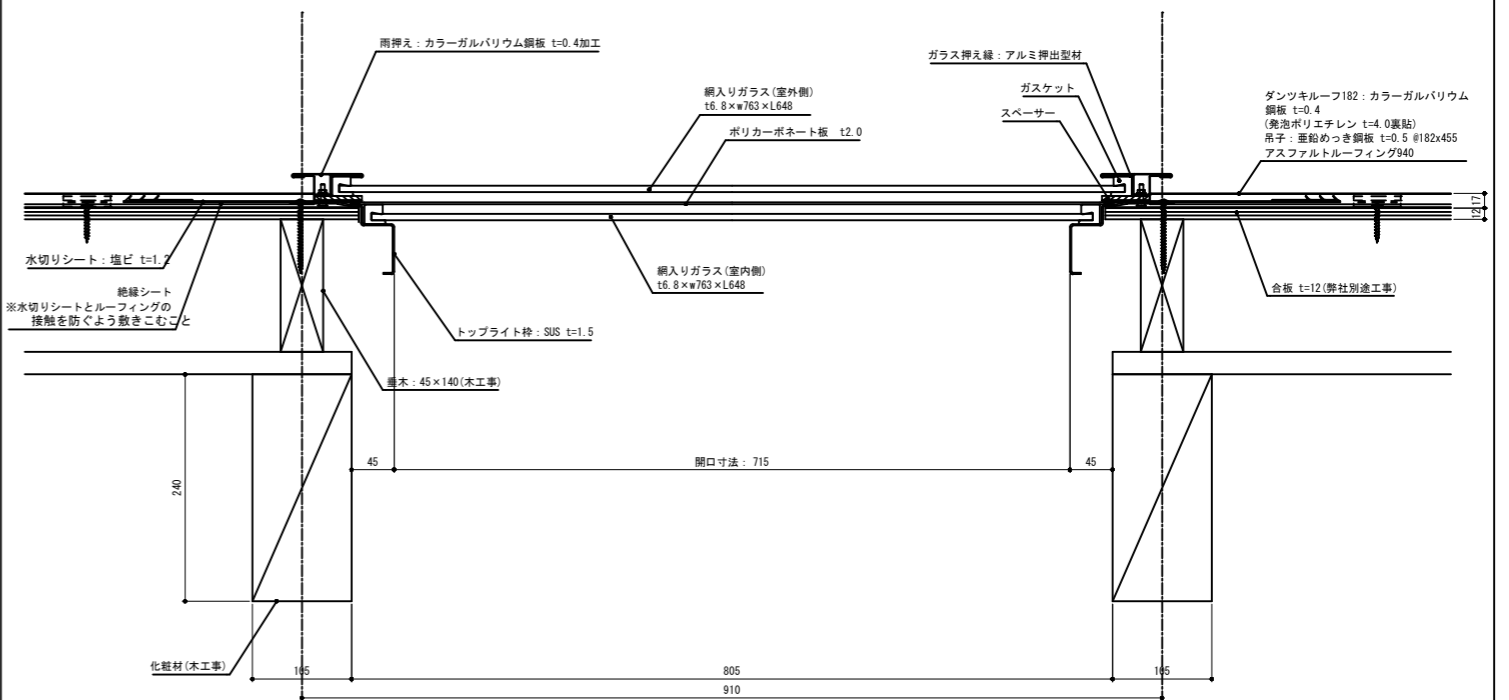
トップライト流れ断面詳細図

1:4

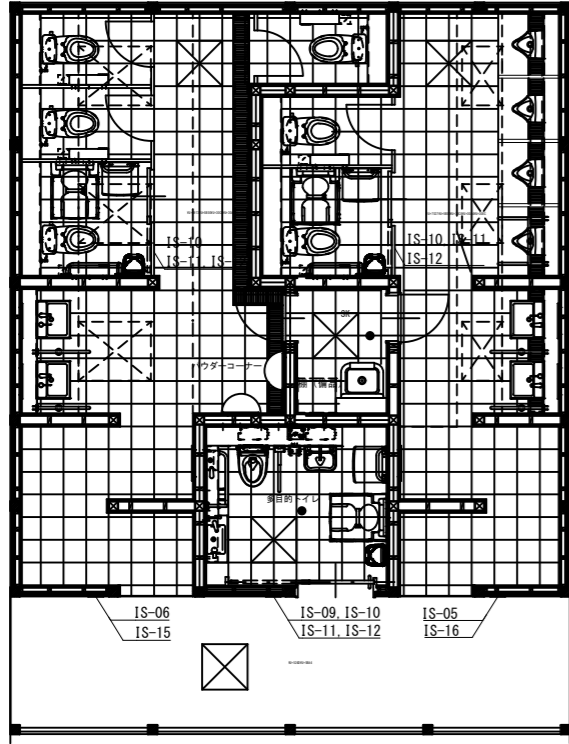


トップライト桁行断面詳細図

1:4

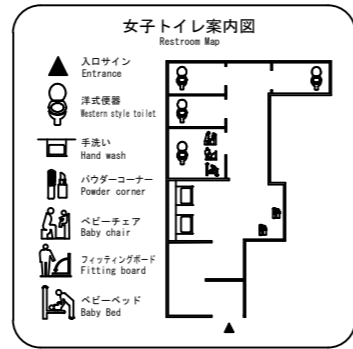


工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	部分詳細図(3)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	1:4(A1) 1:8(A3)	
公園名称	新宿御苑			図面番号	A-024/025	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

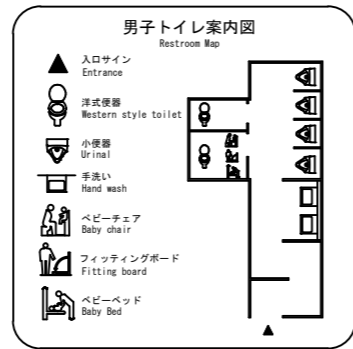


※各サイン文字は4か国語対応とし製作図にて監督員の承諾を得ること

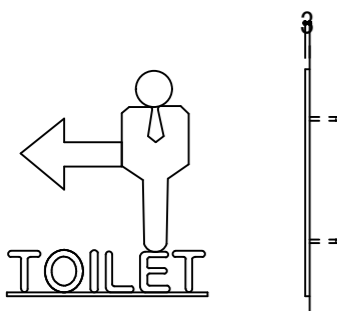
IS-15	符号	女子トイレ案内サイン		数量	1
	寸法	300×300程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



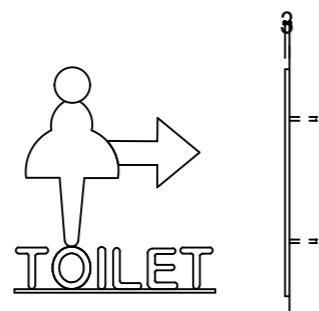
IS-16	符号	男子トイレ案内サイン		数量	1
	寸法	300×300程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



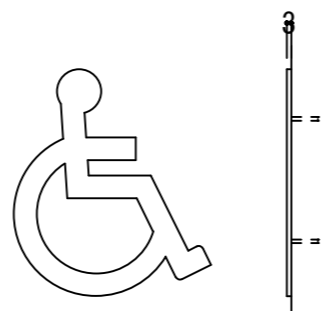
IS-07	符号	男子トイレサイン		数量	1
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



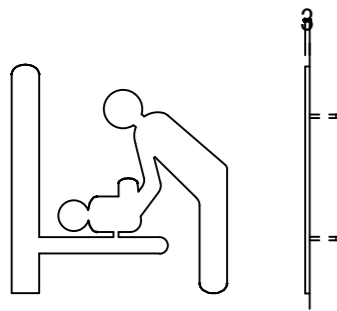
IS-08	符号	女子トイレサイン		数量	1
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



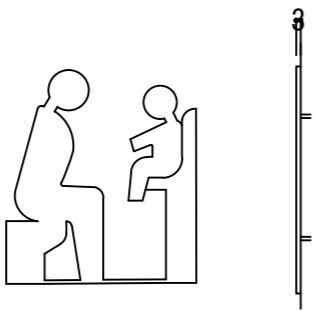
IS-09	符号	多目的トイレサイン		数量	1
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



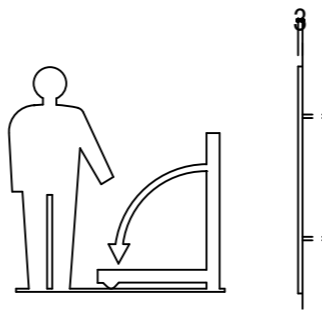
IS-10	符号	ベビーベッド用サイン		数量	3
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



IS-11	符号	ベビーチェア用サイン		数量	3
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-



IS-12	符号	フィッシングボードサイン		数量	3
	寸法	200×200程度		取付	壁付
本体	SUS製切文字ア3 指定焼付塗装仕上			区分	-
				備考	-

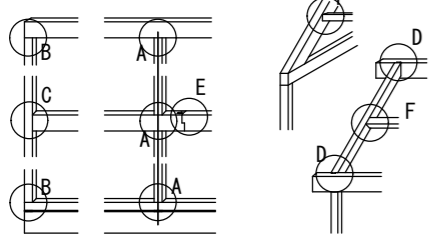


工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	サインキープラン・詳細図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	1:50(A1) 1:100(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	A-025/025
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社	
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

木造軸組接合部標準図(2)

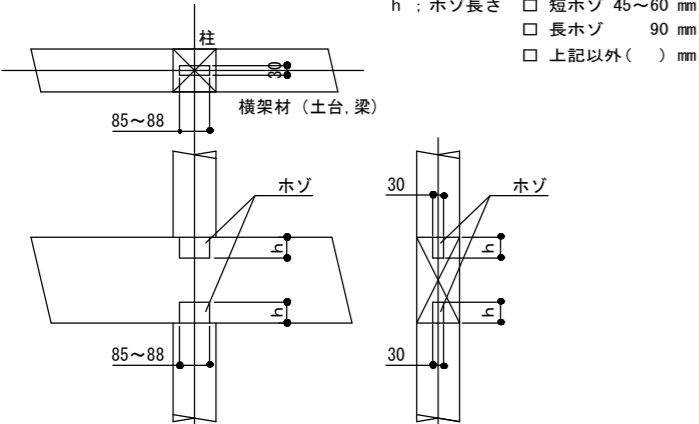
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

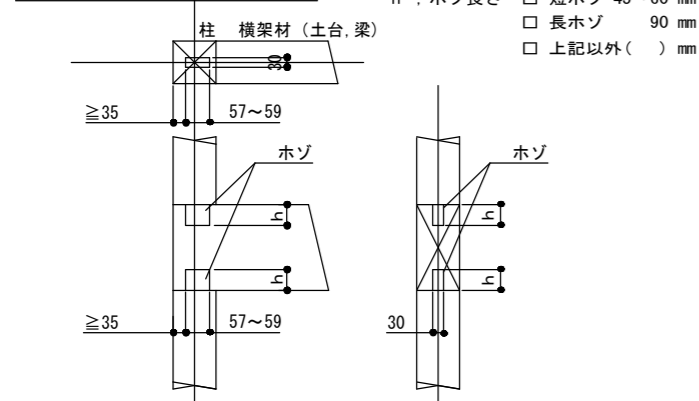


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

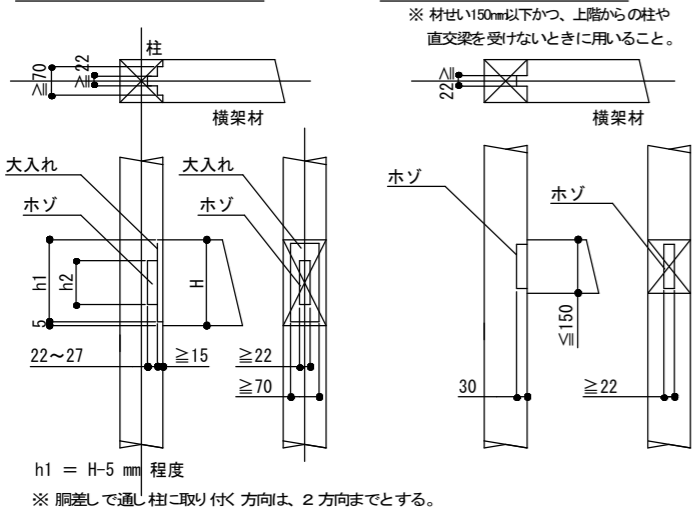
A 柱-横架材仕口：一般部 (土台共通)



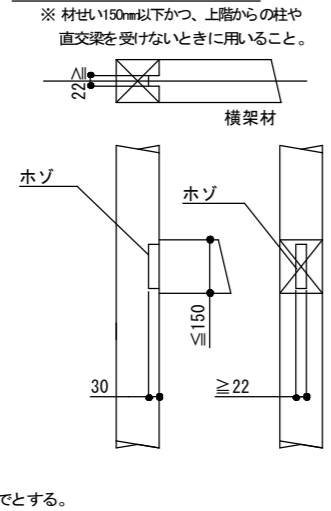
B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台共通)



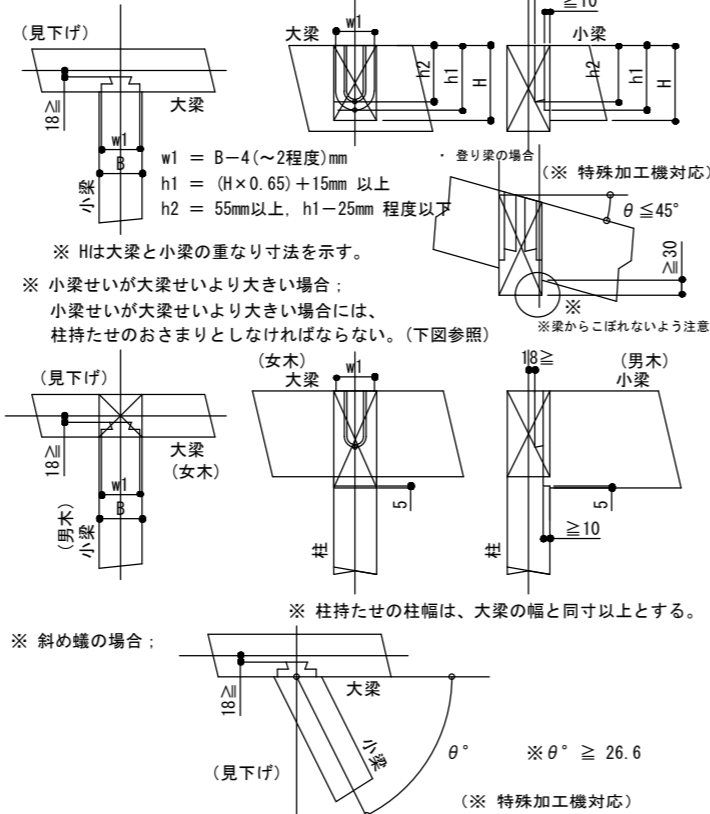
C 通柱-横架材仕口：胴差し



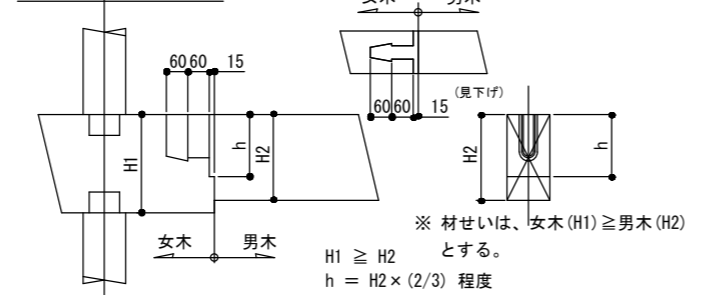
C 通柱-横架材仕口：桁差し



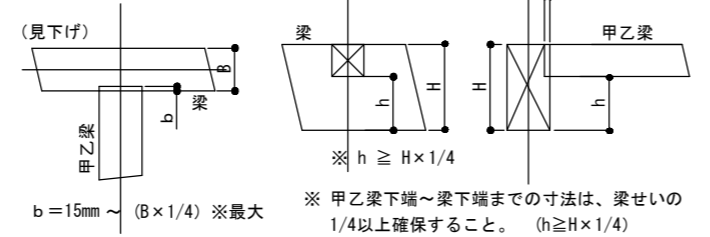
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



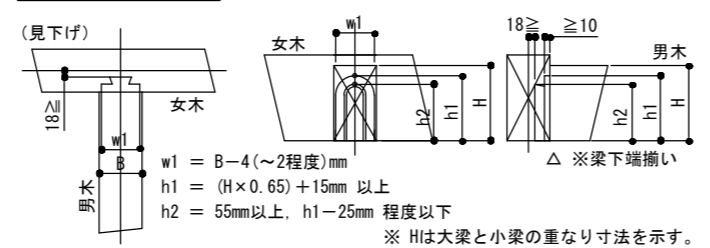
E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



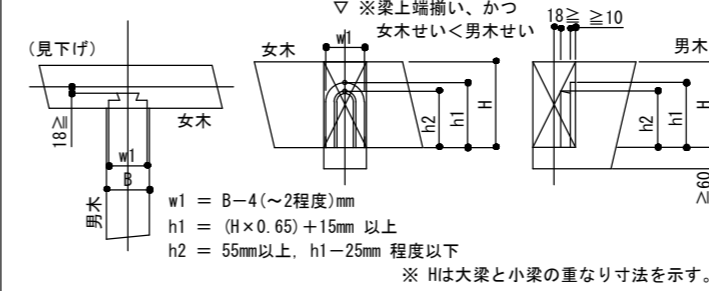
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



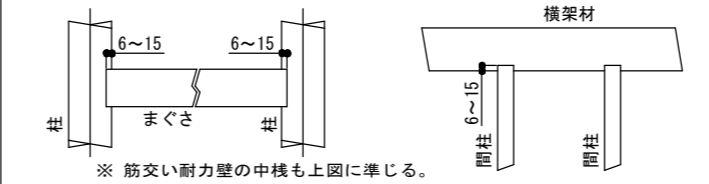
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



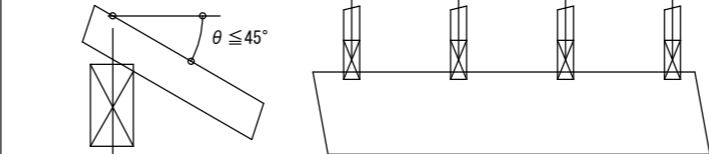
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



I その他：まぐさ欠き



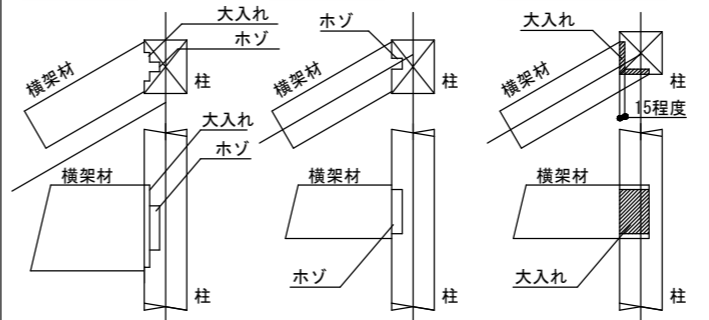
K その他：垂木欠き



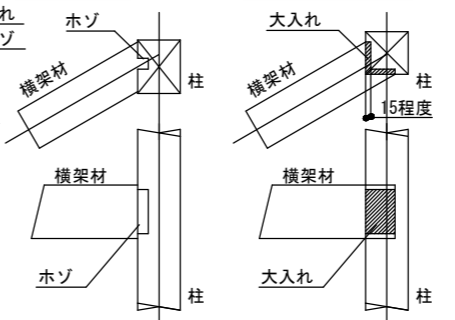
(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。特殊加工機を用いた継手仕口は、加工場が限定されるので注意すること。特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

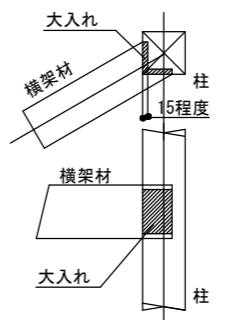
L 斜め胴差し



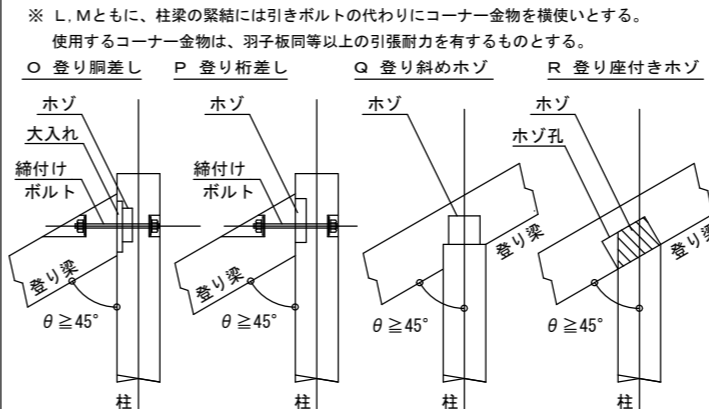
M 斜め桁差し



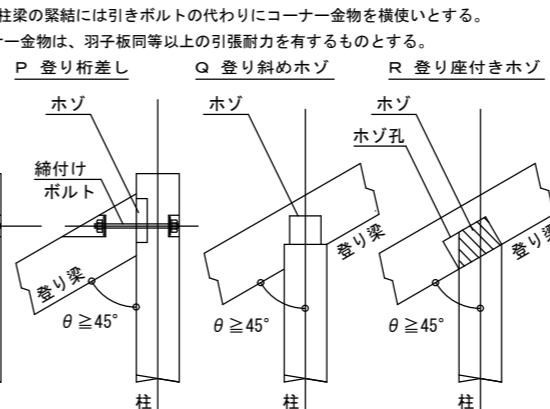
N 斜め柱差し大入れ



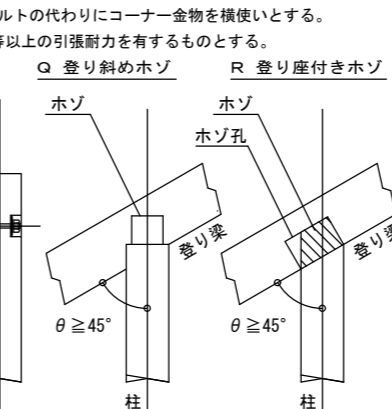
O 登り胴差し



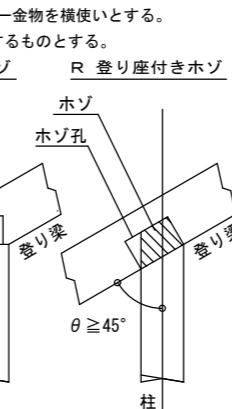
P 登り桁差し



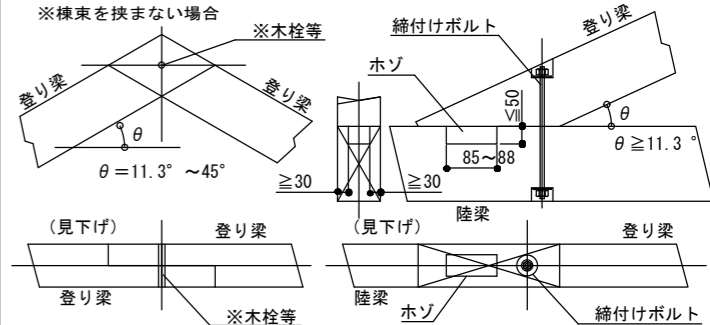
Q 登り斜めホゾ



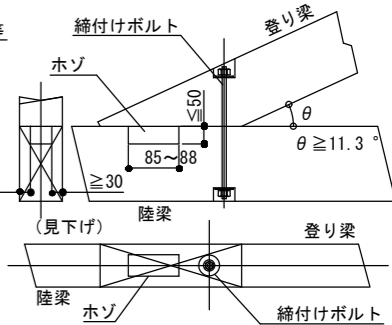
R 登り座付きホゾ



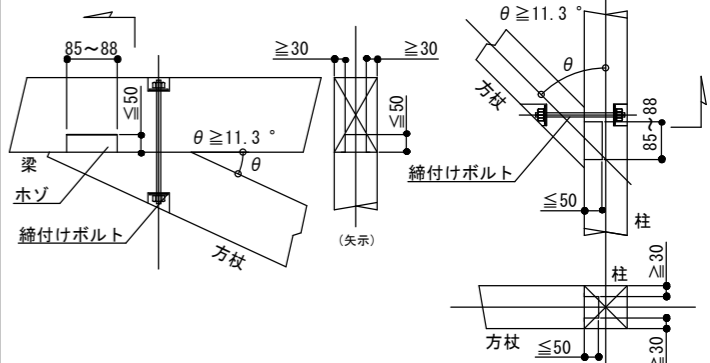
S 登り梁合掌部



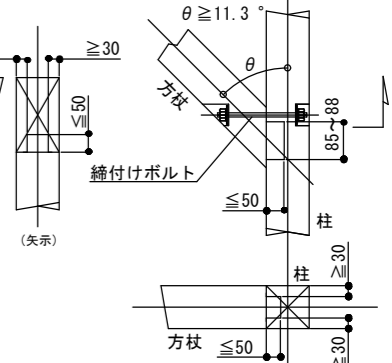
T 登り梁合掌尻



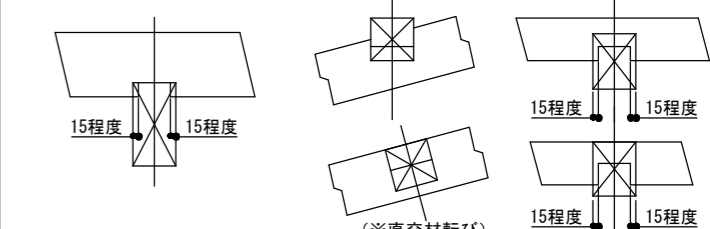
U 方杖-梁仕口



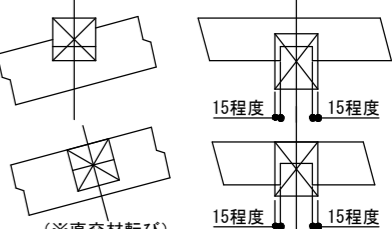
V 方杖-柱仕口



W 渡り頭

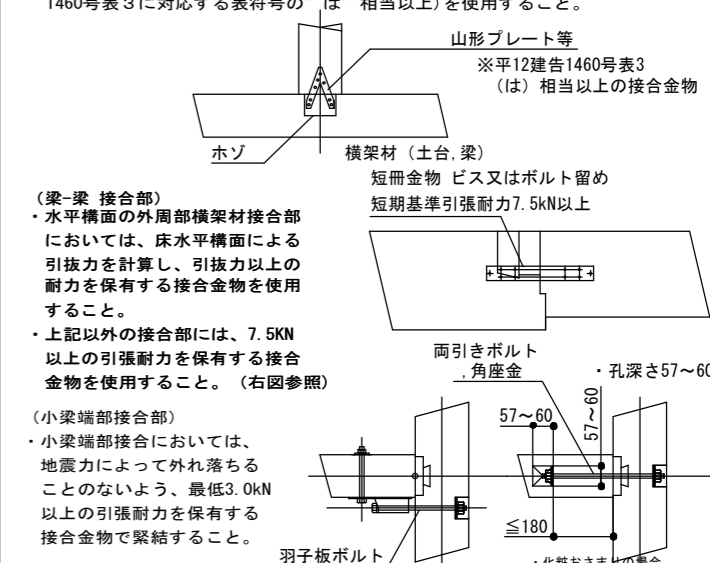


X 登り梁渡り頭



(4) 継手・仕口の補強金物

・耐力壁柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引張力を計算し、引張力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
 ・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	木造軸組接合部標準図(2)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-005
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 A I S 総合設計株式会社 本社
	小林 田中 松岡 永井	資格者氏名	小林 孝宏
		登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

木造軸組接合部標準図(3)

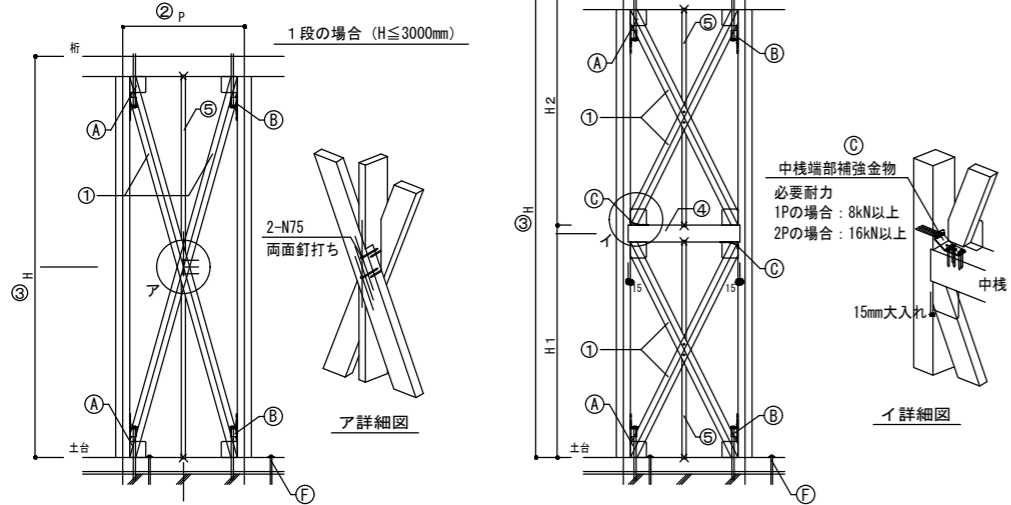
6. 耐力壁

6.1 共通事項

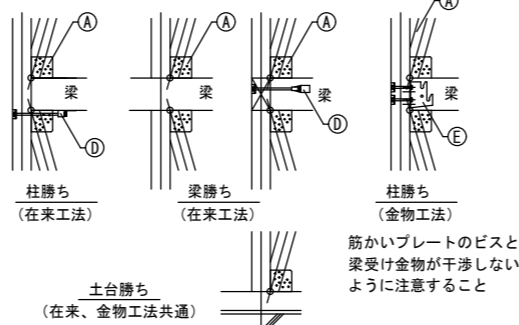
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
 耐力壁の耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
 耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
 柱の有効細長比(断面の最小二次半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 耐力壁の仕様 (1) 施行令46条に準じた耐力壁

a. 筋かい耐力壁：45×90以上 (片筋かい壁倍率：2.0倍)
 (たすき掛け壁倍率：4.0倍)



筋かいの芯は、柱と横架材の内法面の交点にあわせる



1) 各部材料および寸法

- ① 筋かい：45mm×90mm以上(節、目切れ等経微なもの)
- ② 柱間隔：900mm ≤ P ≤ 2000mm
- ③ 高さH ≤ 3000mm：1段、H > 3000mm：2段
 2段の場合：6000mm ≥ H > 3000mm
 H1及びH2は、H/2内外
- ④ 中棧：幅：柱と同寸、成り柱幅
- ⑤ 間柱：幅30mm以上、間隔500mm以下 端部は上下横架材の間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

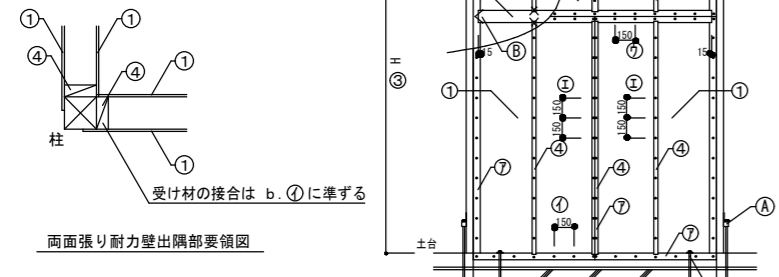
2) 各部仕口形状及び性能

- ④ 筋かい端部：突き付けの上 筋かいプレート(2倍用)を使用 在来工法及び金物工法とも柱梁ビス止めタイプを基本とする
- ⑤ 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
- ⑥ 中棧端部：15mm大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用 必要耐力：1Pの場合→8kN以上、2Pの場合→16kN以上
- ⑦ 梁端部在来仕口部補強金物：耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする
- ⑧ 梁端部金物工法梁受け金物：耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする
- ⑨ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

(2) 昭56建告1100号に準じた耐力壁

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

(片面張り壁倍率：2.5倍)
 (両面張り壁倍率：5.0倍)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
- ② 柱間隔：600mm ≤ P ≤ 2000mm
- ③ 高さ：H ≤ 6000mm
- ④ 間柱：幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上)
- ⑤ 中棧：幅90mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

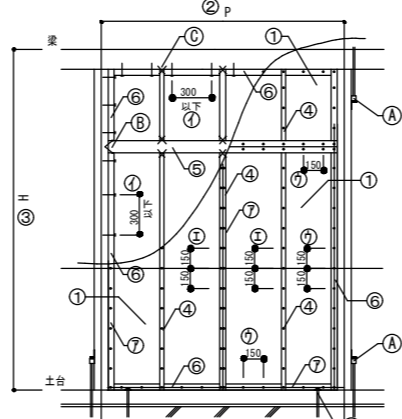
- ④ 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
- ⑤ 中棧端部：まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
- ⑥ 間柱端部：間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
- ⑦ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

3) 構造用合板の釘打ち方法

- 構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする
 柱及びはりに対するかきり寸法：22.5mm以上
 合板に対するへり空き：10mm以上
 柱はりのへり空き：12.5mm以上
 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする
- ④ 横架材・柱：N50@150mm以下
 - ⑤ 中棧：N50@150mm以下
 - ⑥ 間柱：N50@150mm以下

b. 受け材付き真壁仕様耐力壁

(片面張り壁倍率：2.5倍)
 (両面張り壁倍率：5.0倍)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上
- ② 柱間隔：600mm ≤ P ≤ 2000mm
- ③ 高さ：H ≤ 6000mm
- ④ 間柱：幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上)
- ⑤ 中棧：幅90mm以上
- ⑥ 受け材：幅45mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

- ④ 各階の柱頭柱脚部：ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
- ⑤ 中棧端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
- ⑥ 間柱端部：突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
- ⑦ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

3) 構造用合板の釘打ち方法

- 構造用合板(又はOSB)の4周を釘打ちする
 受け材に対するかきり寸法：22.5mm以上
 合板に対するへり空き：10mm以上
 受け材のへり空き：12.5mm以上
 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする
- ④ 受け材と柱はり：N90@300mm以下(両面構造用合板(又はOSB)張りの場合は@150以下)
 - ⑤ 受け材、中棧：N50@150mm以下
 - ⑥ 間柱：N50@150mm以下

(3) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JIS A 3301標準仕様)：短期許容せん断耐力 $\angle Q_a = 29.6kN/m$

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること

a. 条件及び仕様

1) 各部材料

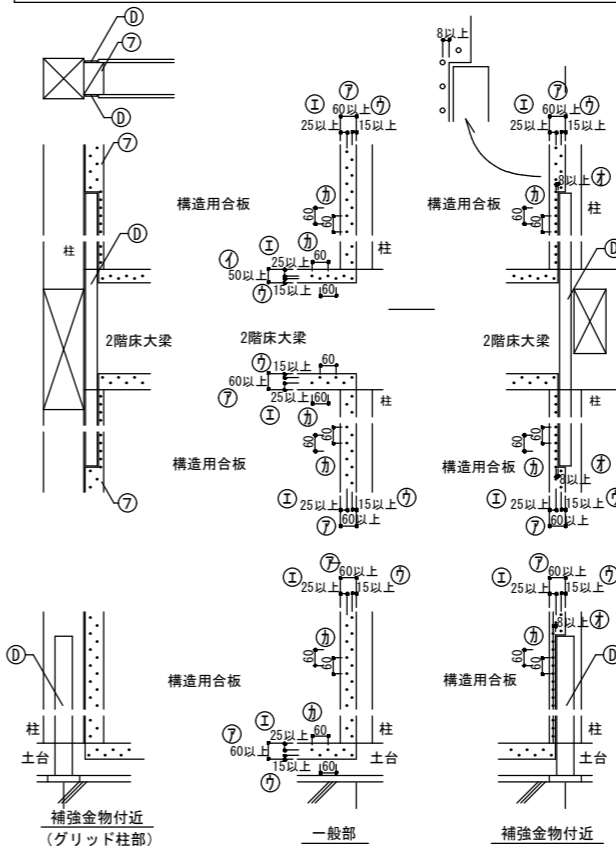
- ① 面材：構造用合板 t=12mm 両面張り
- ② 間隔：900mm ≤ P ≤ 1000mm
- ③ 高さ：1800mm ≤ H ≤ 3650mm
- ④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm×150mm以上
 (グリッド柱：X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)
- ⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm×120mm以上
- ⑥ 構造用合板継ぎ目横つなぎ材：120mm×120mm以上
- ⑦ グリッド柱に取付く受け材：75mm×120mm以上
- ⑧ 間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下
- ⑨ 小屋柱：120mm×120mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

- ④ 柱頭柱脚部：厚さ30mm×深さ90mm以上
- ⑤ 中棧端部：厚さ30mm×深さ90mm
 片側から柱に取り付け場合：厚さ30mm×深さ90mm
 両側から柱に取り付け場合：厚さ30mm×深さ60mm
- ⑥ 間柱両端：横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
- ⑦ 各階の柱頭柱脚部：水平力時に柱頭柱脚部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する

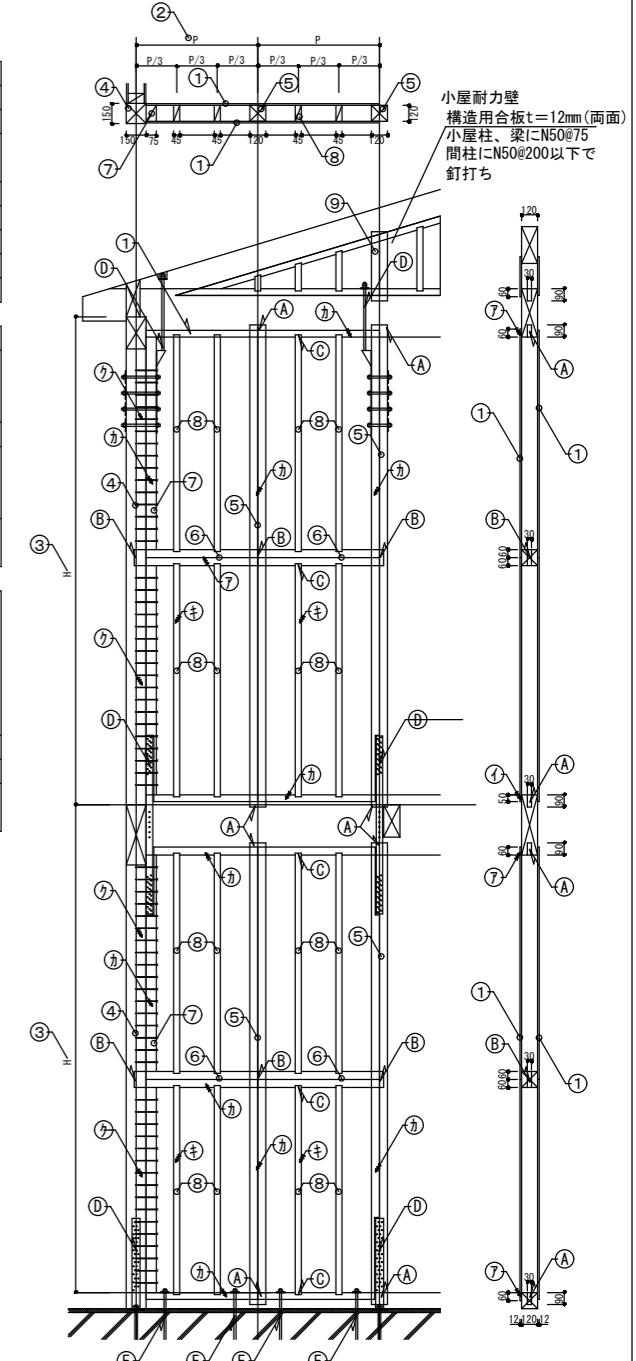
3) 各部への釘打及びビス止め

- 構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
 ①を除き、柱及びはりに対するかきり寸法：60mm以上
 ②階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かきり代：50mm以上
 ③を除き、合板に対するへり空き：15mm以上
 ④柱はりのへり空き：25mm以上
 ⑤金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き：8mm以上
 ⑥横架材・柱・受け材：N50@60mmチドリ打ち
 ⑦間柱：N50@90mm打ち
 ⑧⑨の受け材とグリッド柱：木質構造用ビスφ6、L130~150@100(2列)で留め付ける



6.3 その他の耐力壁

- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)の詳細計算による耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様を準拠することとする。
- ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守る。



釘打ち要領図

主要鉛直構面の交点の柱(グリッド柱)は150mm×150mm以上とする

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	木造軸組接合部標準図(3)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-006
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 A I S総合設計株式会社 本社
	(小林) (田中) (松岡) (永井)		資格者氏名 小林 孝宏
			登録番号 321076
			所在地 栃木県宇都宮市明保野町2番10号

木造軸組接合部標準図(4)

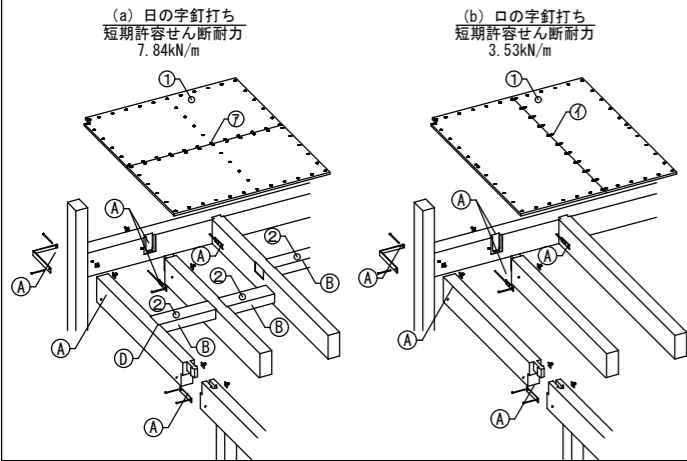
7. 水平構面

7.1 共通事項

- 各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に基づき準拠することとする。

7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面



- 1) 各部材料および寸法
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上 \cdot 梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
 - 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 各仕口部分:
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑥ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ⑦ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑧ 構造用合板はN75@150mm口の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ⑨ 構造用合板はN75@150mm口の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- 注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
口の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、換気等に注意する事

告示耐力壁-床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)

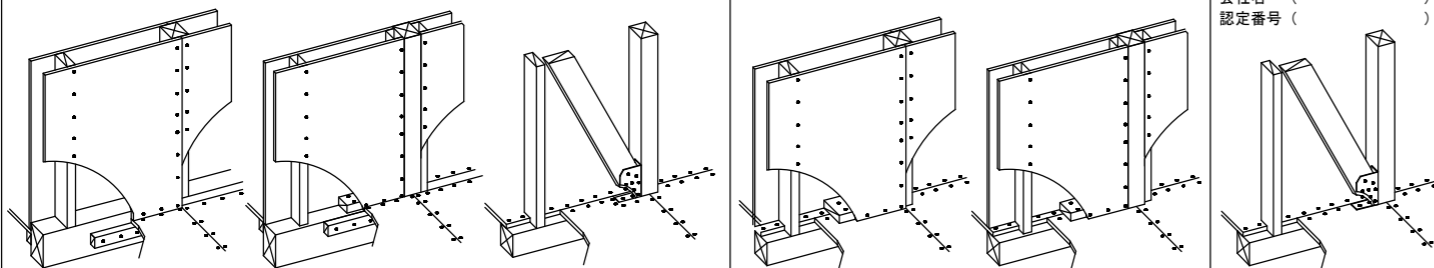
真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)

筋違耐力壁-床構面
(筋違勝)

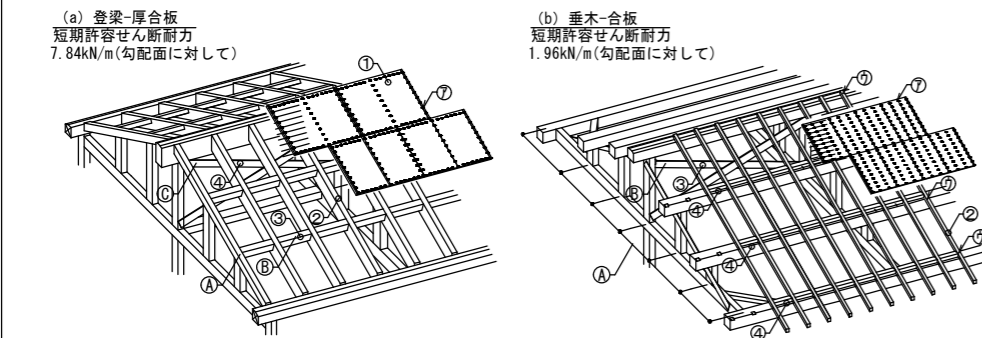
認定仕様例示) 日合連 (JPMA) 仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRM-0296

真壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRM-0298

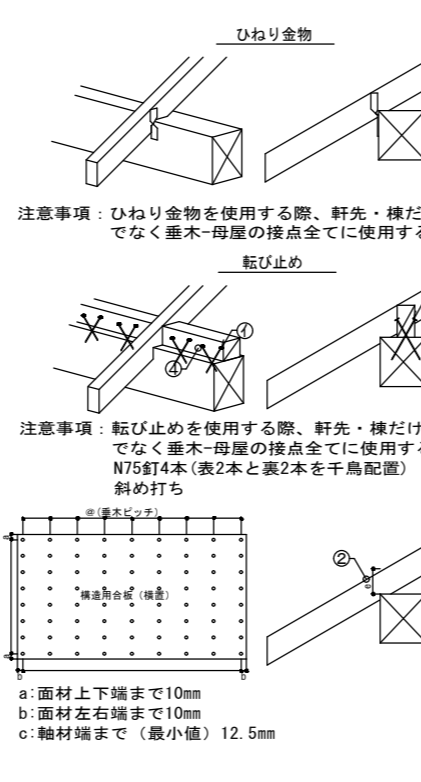
筋違金物による床勝納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝: 大臣認定仕様)
会社名 ()
認定番号 ()



(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

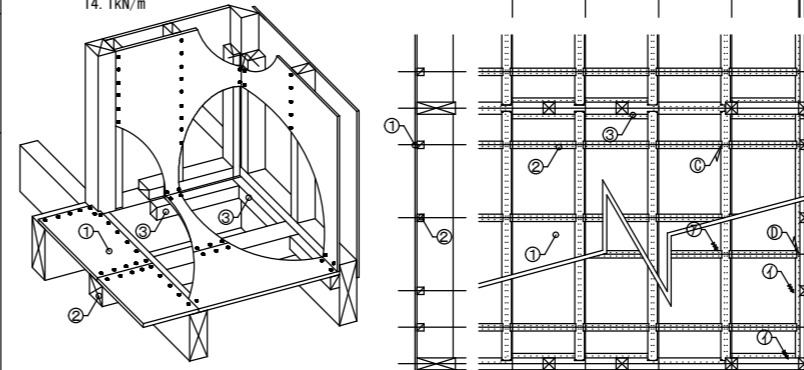


- 1) 各部材料および寸法
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 登梁: 幅 105mm 以上 \times せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
 - ③ 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
 - ④ 小屋耐力壁: 15mm 以上 \times 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑥ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@150mm口の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN90釘2本打ち
- 注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする



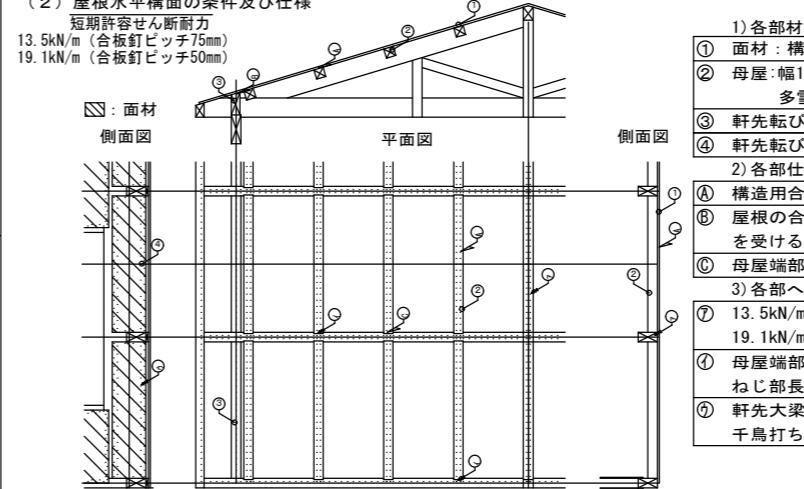
7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様 短期許容せん断耐力 14.1kN/m



- 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
 - ② 甲乙梁: $90\text{mm} \times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm} \times$ 成 120mm 製材を平使い
 - ③ 大梁側面に取り付ける床受け材: 幅 $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑤ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ⑥ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- ⑦ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm} \times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑧ 構造用合板はN75@75mm口の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ⑨ 大梁側面へ取り付ける床受け材は木質構造用ビス $\phi 6$, L130~150を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様 短期許容せん断耐力 13.5kN/m (合板釘ピッチ75mm) 19.1kN/m (合板釘ピッチ50mm)

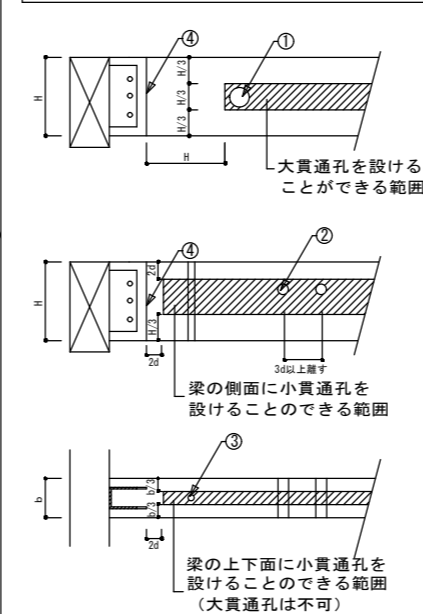


- 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
 - ② 母屋: 幅 $120\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm} \times$ 成 150mm の製材
 - ③ 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm} \times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
 - ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
- ⑤ 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
- ⑥ 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 13.5kN/m仕様: 構造用合板はN75@75mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
19.1kN/m仕様: 構造用合板はN75@50mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
- ⑧ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5$, L150(頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上)1本を斜め打ちとする
- ⑨ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、N50くぎを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

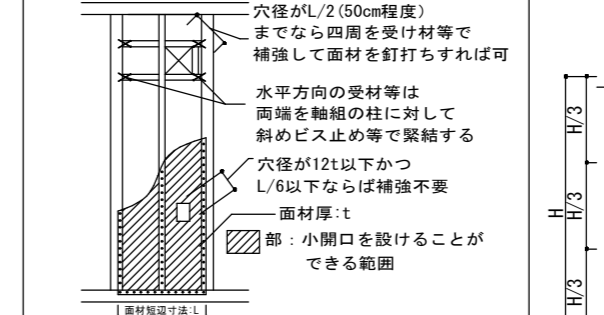
8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



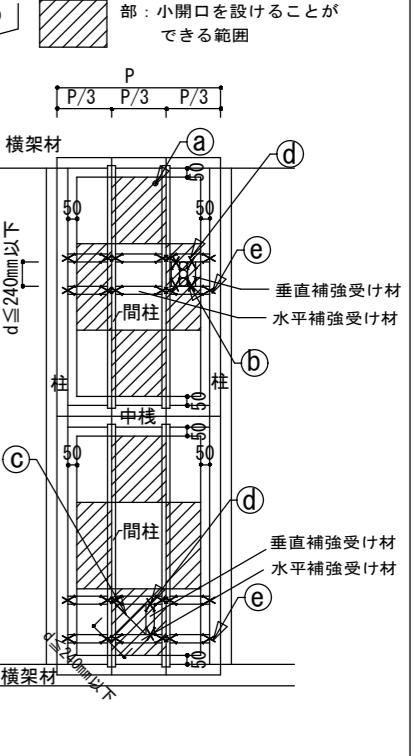
8.2 耐力壁貫通孔

(1) 小開口付耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール
剛性・耐力に影響しない
面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- ① 小貫通孔($d \leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
 - ② 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
 - ③ 大貫通孔($d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- ④ 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち
補強受材は間柱と同寸以上の断面
 - ⑤ 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	木造軸組接合部標準図(4)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-007
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 A I S 総合設計株式会社 本社
	小林 田中 松岡 永井	資格者氏名	小林 孝宏
		登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

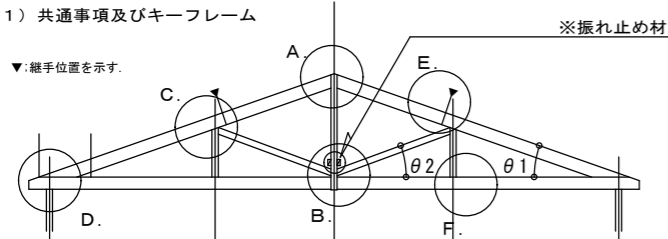
木造軸組接合部標準図(5)

9. 小屋組標準トラス

JIS A 3301-2015 木造校舎の構造設計標準 に準じた仕様の小屋組トラス

(1) 共通事項及びキープレーム

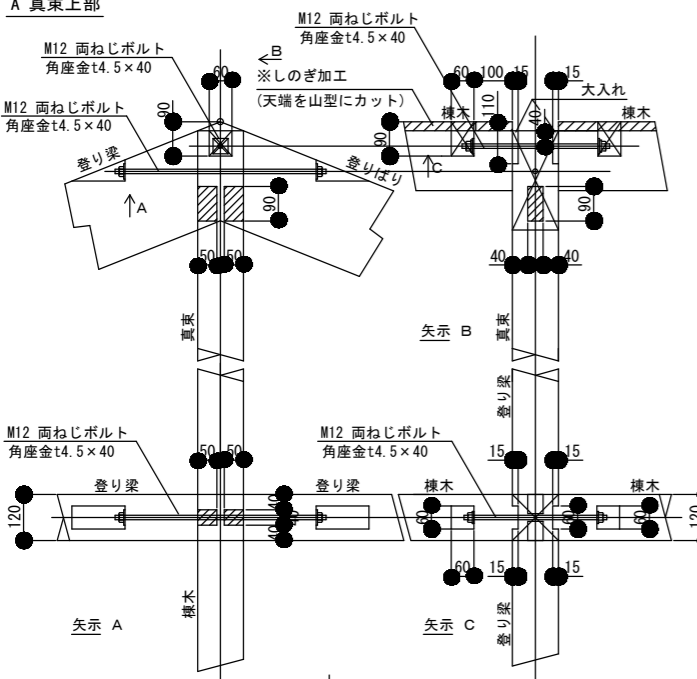
▼継手位置を示す。



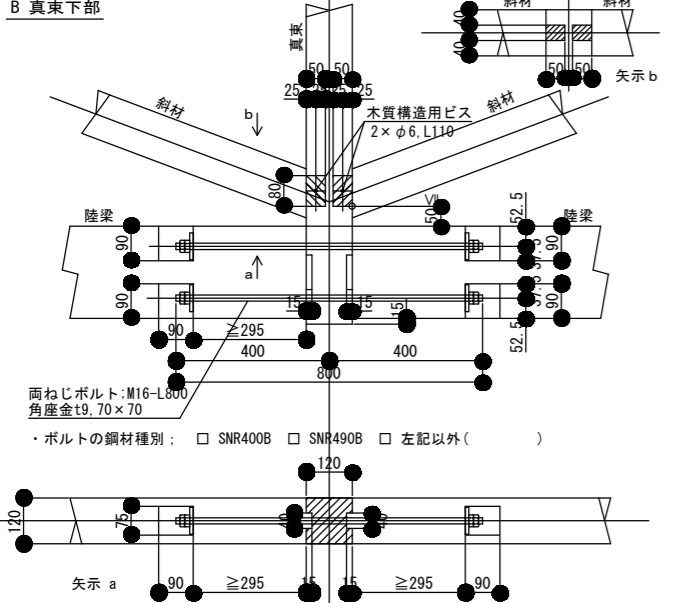
- ・θ1, θ2は共に、3寸~4.5寸勾配(16.7°~24.2°)程度とする。
- ・登り梁は合掌尻から割付け、継手を設ける位置は側東より真東側とする。(側東側面より、真東側に50~250の範囲に腰掛鎌継ぎの胴付面を設けること。ただし、屋根水平構面の母屋の仕口の位置と干渉しないように注意。)
- ・トラスのスパンが12mを超える場合は、振れ止め材を入れることが望ましい。

(2) 継手仕口

A 真東上部

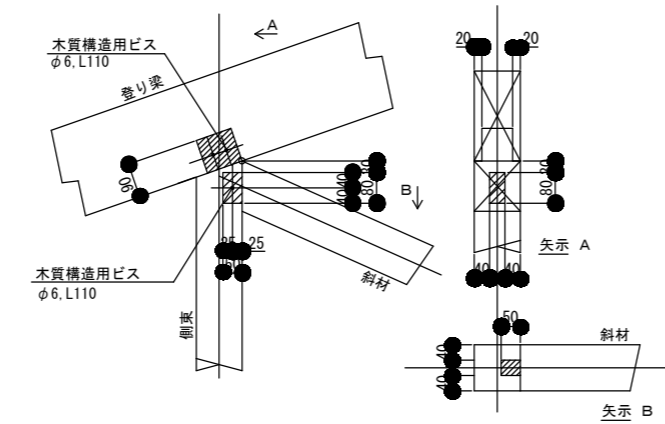


B 真東下部

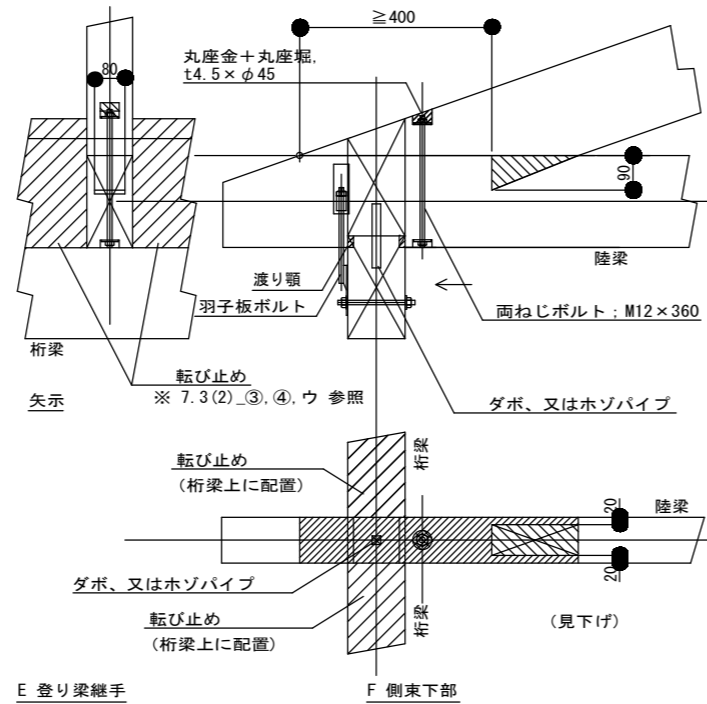


・ボルトの鋼材種別： □ SNR400B □ SNR490B □ 左記以外()

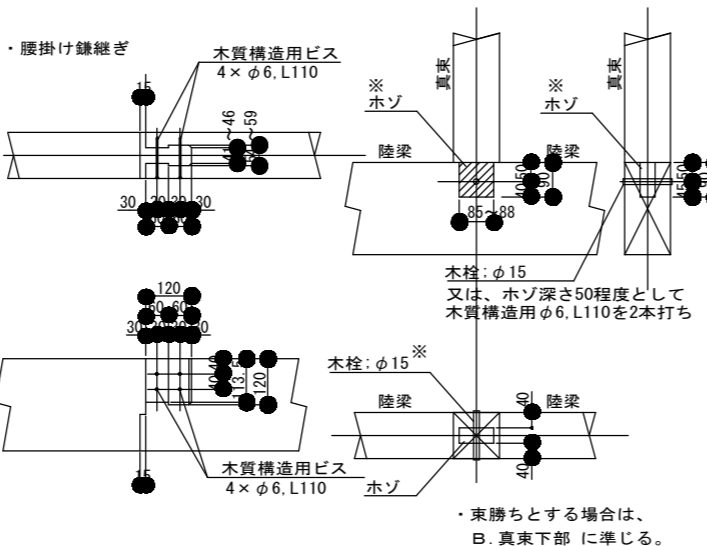
C 斜材・側東上部



D 合掌尻



E 登り梁継手

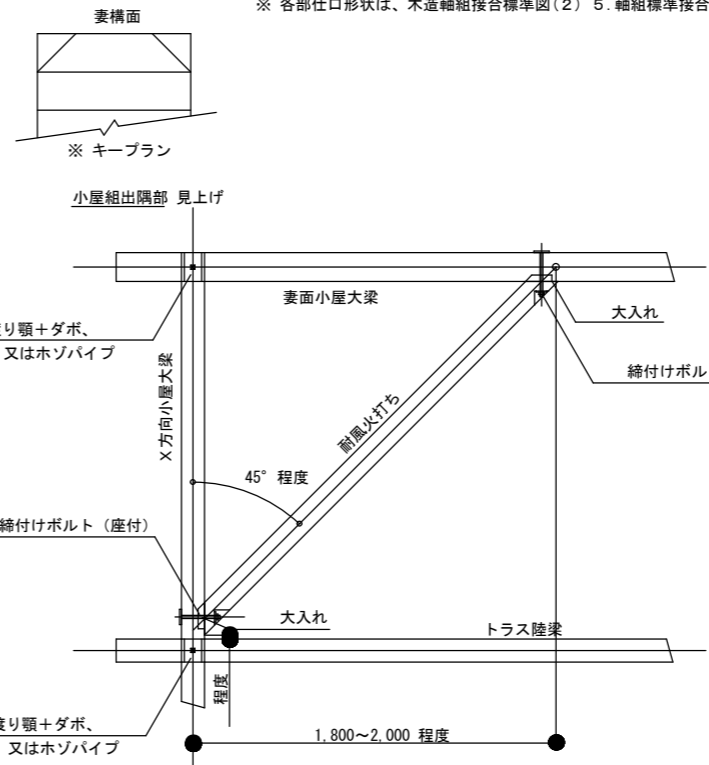


10. 耐風火打ち

JIS A 3301-2015 木造校舎の構造設計標準 に準じた仕様の耐風火打ち

(1) 耐風火打ち

- ※ 桁梁間の距離(面外風圧の支点間距離)が8m程度までの場合に用いることができる。
- ※ 各部仕口形状は、木造軸組接合部標準図(2) 5. 軸組標準接合部 に準じる。



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	木造軸組接合部標準図(5)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-008
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	松岡 永井
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	資格者氏名	登録番号	321076
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- 1.1 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 1.2 記号

d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 Q...部材間の内法距離 h₀...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S, HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

2.1 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ、壁筋の末端部、またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。キャップタイ
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(4d以上)	6d以上(4d以上)	
折曲げ内寸法Rは、SR235~SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295~SD345の、D19~D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。 *片持スラブ上端筋の先端				

2.2 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A・B SD345	D16以下 D19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D16以下 D19~D25 D29~41	4d以上 6d以上 8d以上

2.3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

1) 鉄筋の定着長さ

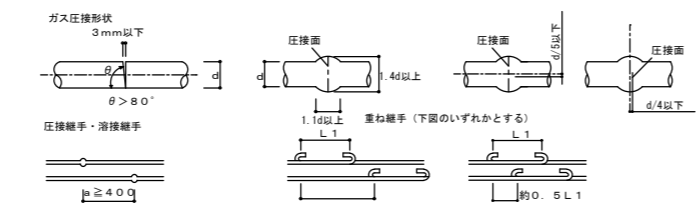
鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 F _c (N/mm ²)	フック なし		フック あり		特別の定着及び重ね継手の長さ
		L1	L2	L1h	L2h	
SD295A SD295B	18	45d	40d	20d	10dかつ150mm	45d
	21	40d	35d			40d
	24~27	35d	30d			40d
	30~36	35d	30d			35d
SD345	18	50d	40d	20d	10d	45d
	21	45d	35d			40d
	24~27	40d	35d			40d
	30~36	35d	30d			35d
SD390	21	50d	40d	20d	10d	45d
	24~27	45d	40d			40d
	30~36	40d	35d			35d
	39~45	40d	35d			35d

- [注] (1) L1, L1h: (2) 以外の直線及びフックありの定着長さ。
 (2) L2, L2h: 割製破壊のおそれのない箇所への直線及びフックありの定着長さ。
 (3) L3: 小梁及びスラブの下端筋の定着長さ。(基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く) なお、片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は20d及び10dを25d以上とする。
 (4) L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
 (5) フックありの場合は、右図に示すようにフック部分の長さを含まない。
 (6) D29以上の鉄筋は、重ね継手としてではない。
 (7) 腹筋の重ね継手長さは、15d程度とする。
 (8) 径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方のdを用いる。
 (9) 高強度せん断補強筋の加工は、認定書による。
 (10) 機械式定着工法(技術詳細取得品)を使用する場合は、設計者の承認を得ること。
 (1) 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
 (2) 設計ルート3以外の建物の、柱に取り付ける梁の引張鉄筋の定着長さは、40dかつ上表の値以上とする。設計ルートは、S-01による。

2.4 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリート設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b	[注] (1) L _a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。) (2) L _b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。) (3) 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
SD295A SD295B	18	20d	15d	
	21	15d	15d	
	24~27	15d	15d	
	30~36	15d	15d	
	39~45	15d	15d	
SD345	18	20d	20d	
	21	20d	20d	
	24~27	20d	15d	
	30~36	15d	15d	
	39~45	15d	15d	
SD390	21	20d	20d	
	24~27	20d	20d	
	30~36	20d	15d	
	39~45	15d	15d	

- 継手 1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
 2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
 3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
 4. D29以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてではない
 5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてではない

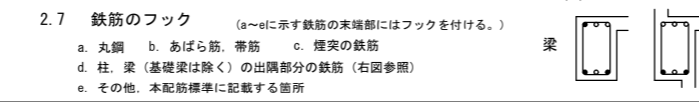
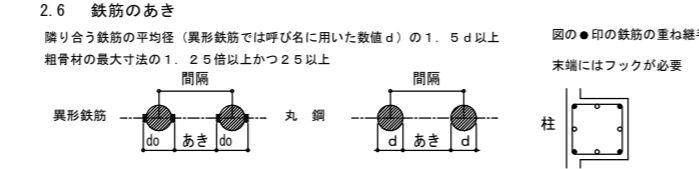


2.5 かぶり厚さ(単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

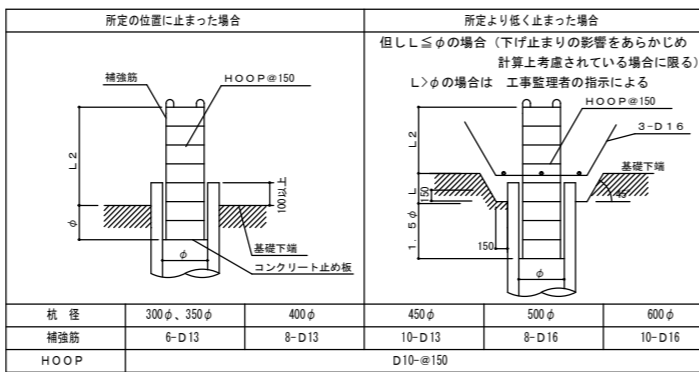
部位	設計かぶり厚さ(mm)
層間スラブ 床スラブ 非耐力壁	30
層外	40
柱 層内	40
耐力壁 層外	50
擁壁	50
柱・はり・床スラブ・耐力壁 基礎・擁壁・耐圧スラブ	70

- [注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて 30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて 40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) () 内は仕上げがある場合。
 (6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。



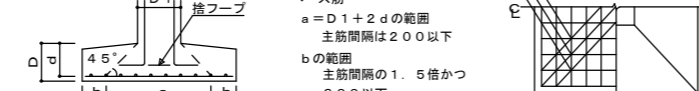
3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

3.1 PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

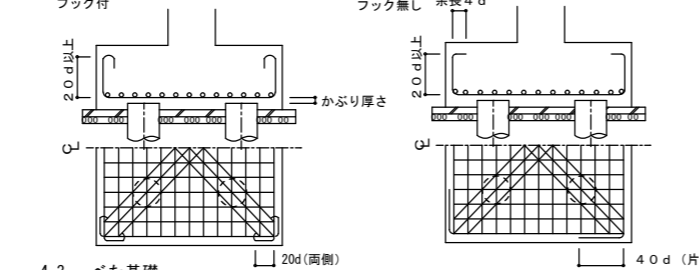


4. 基礎

4.1 直接基礎



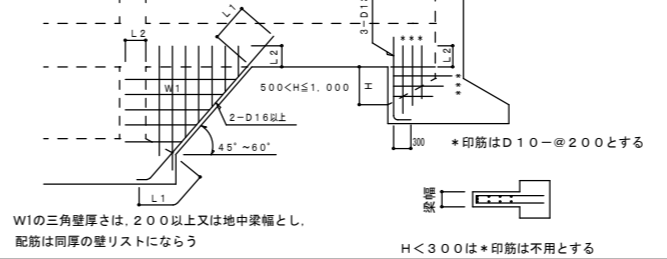
4.2 杭基礎



4.3 ベタ基礎

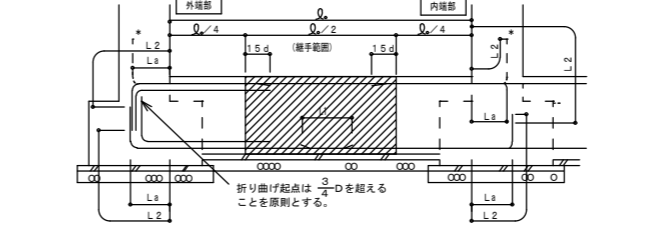


4.4 基礎接合部の補強

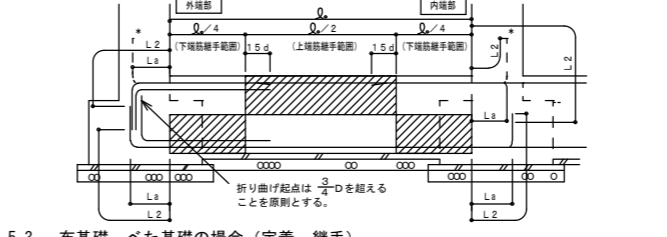


5. 地中梁

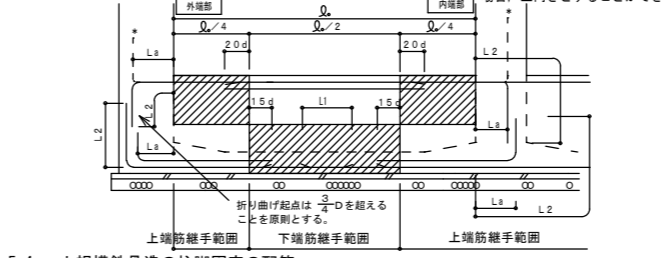
5.1 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



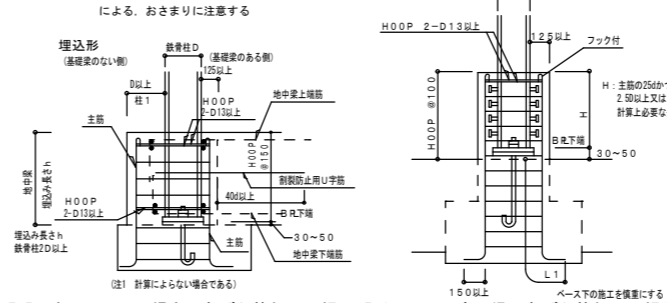
5.2 独立基礎、杭基礎でスラブなどの上載荷重を受ける場合(定着、継手)



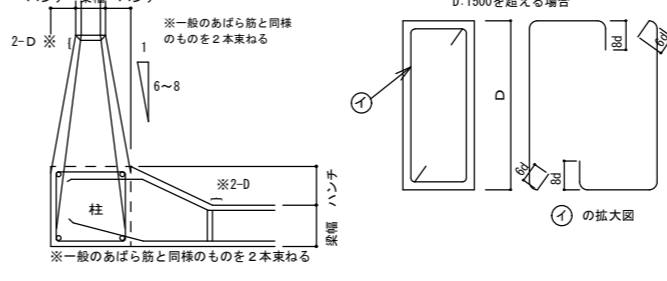
5.3 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



5.4 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



5.5 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

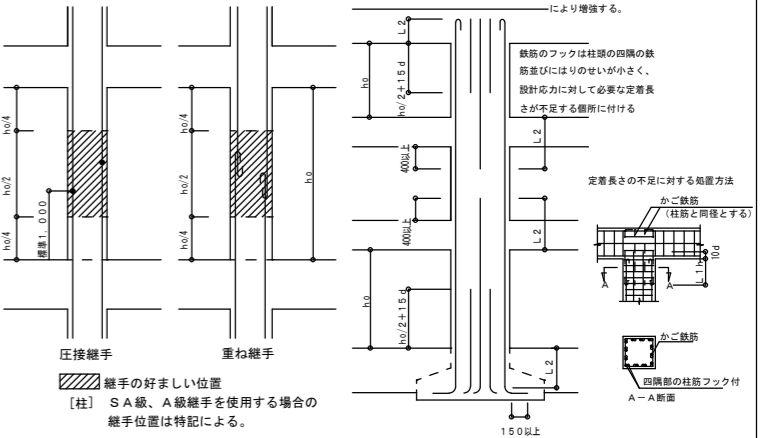


5.6 せいの高い梁のあばら筋加工要領

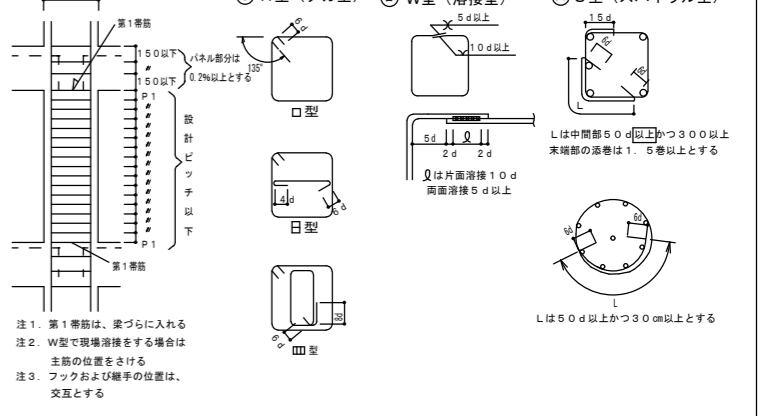


6. 柱

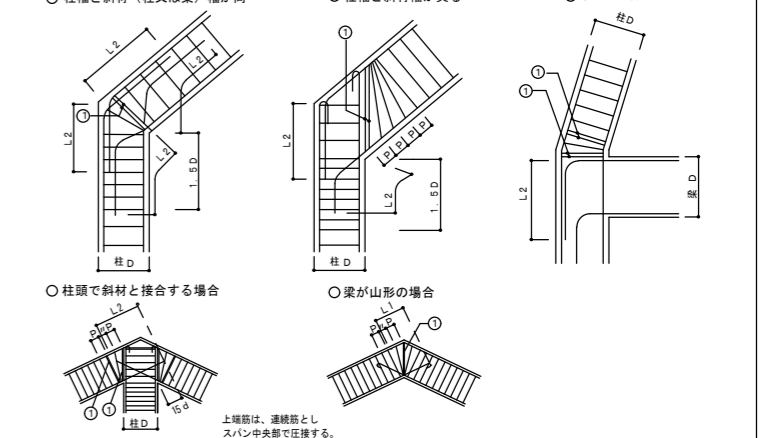
6.1 柱主筋の継手



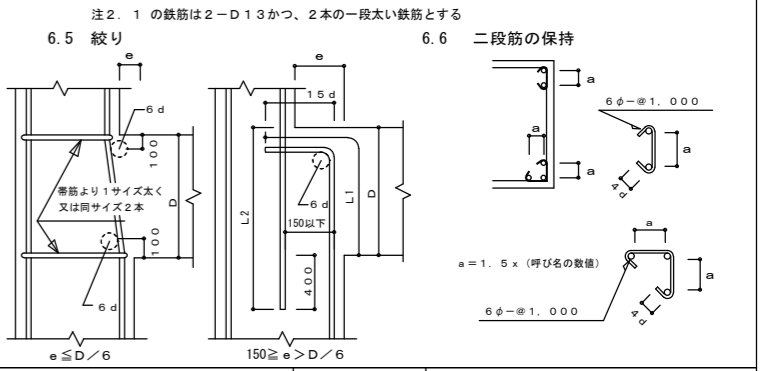
6.2 柱主筋の定着



6.3 帯筋



6.4 斜め柱・斜め梁



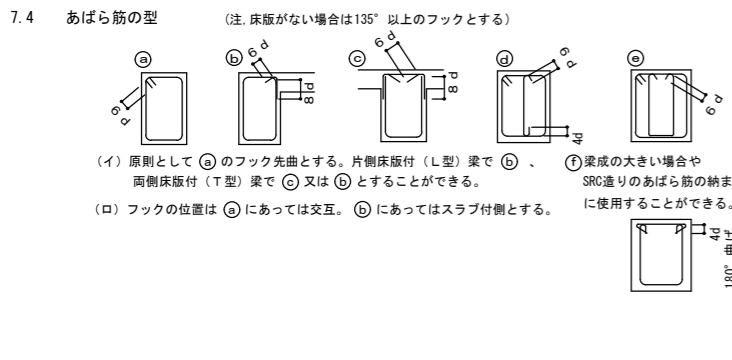
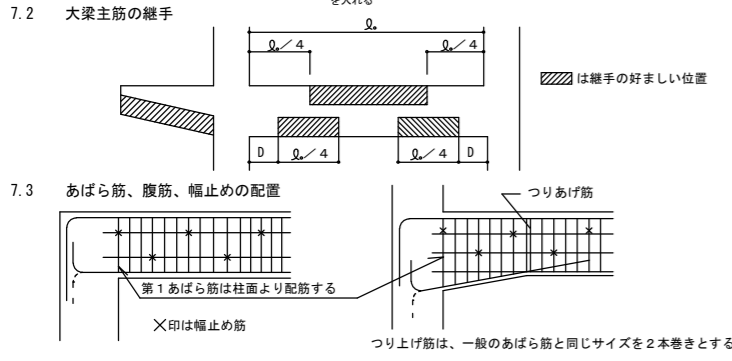
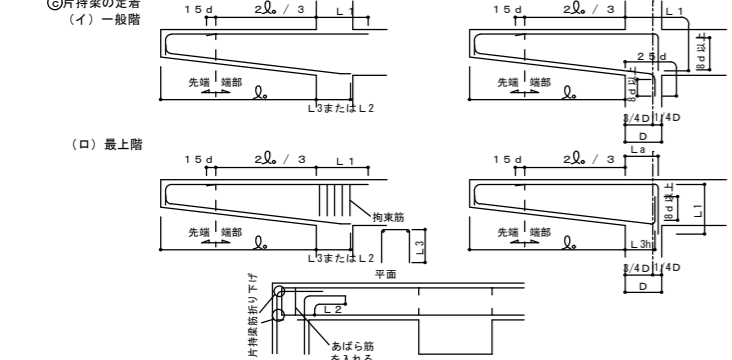
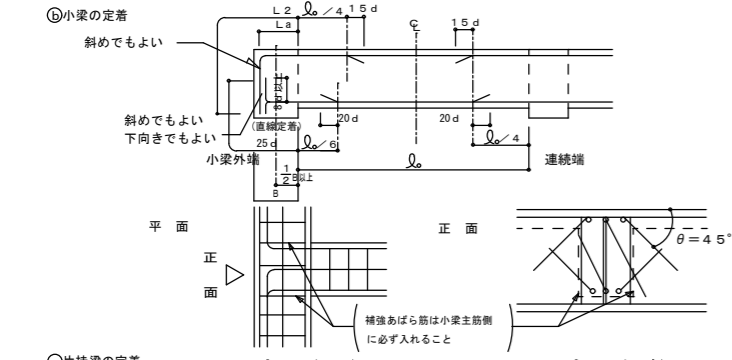
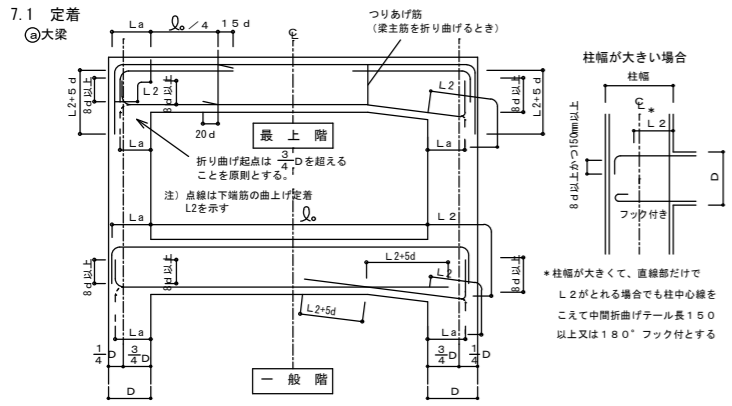
6.5 絞り



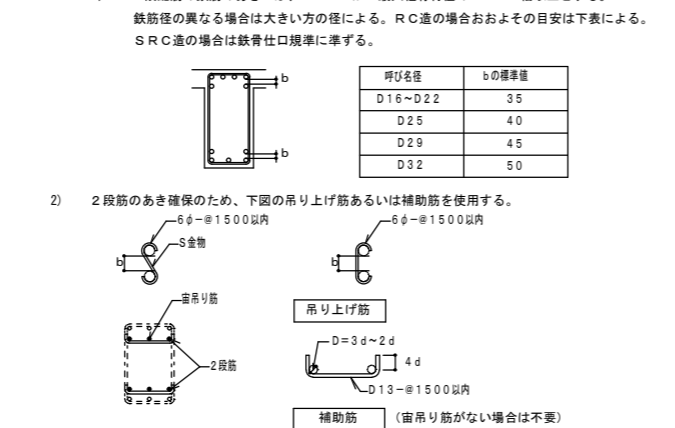
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋図(1)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-009
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	A I S 総合設計株式会社	本社
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保町2番10号	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

7. 大梁、小梁、片持梁



7.5 二段配筋



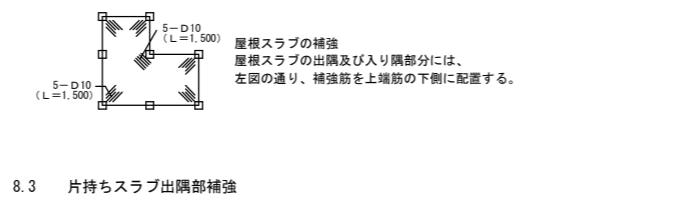
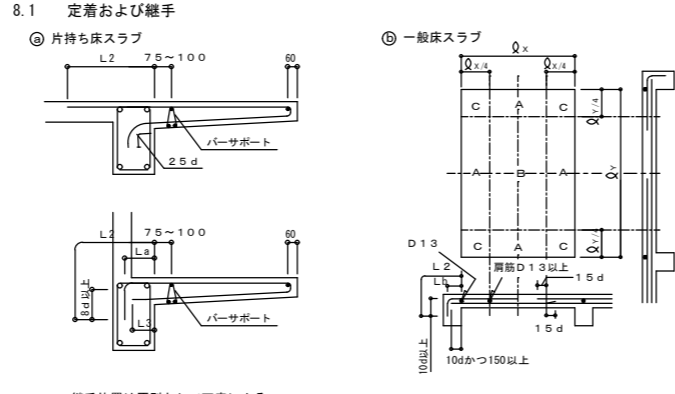
7.6 副あばら筋の形



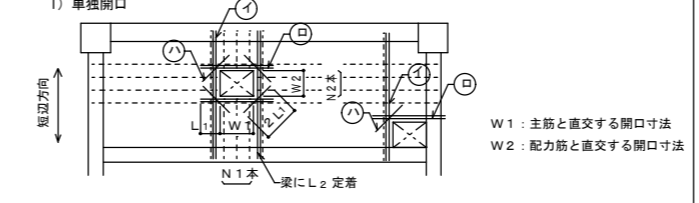
7.7 幅止め筋の本数、加工

腹筋	幅止め筋
D < 600 不要	D10 (9φ) @1000以内で割り付ける
600 ≤ D < 900 2-D10 (9φ) 1段	
900 ≤ D < 1200 4-D10 (9φ) 2段	
1,200 ≤ D D10 (9φ) @300以内	

8. 床板

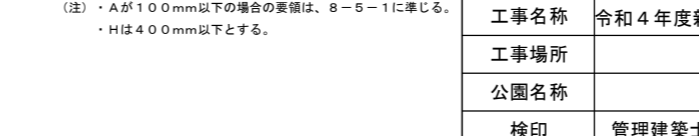
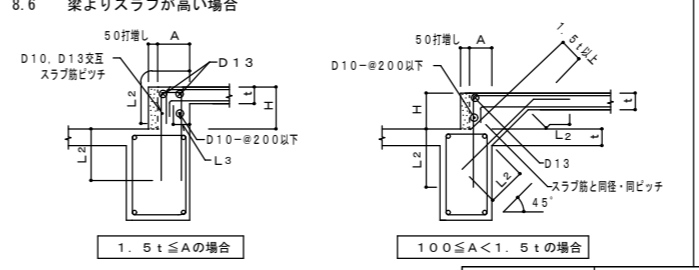
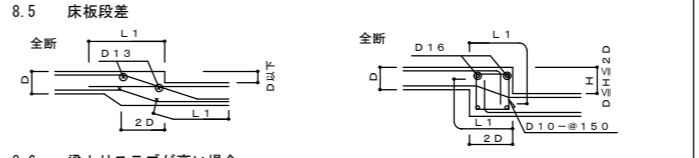
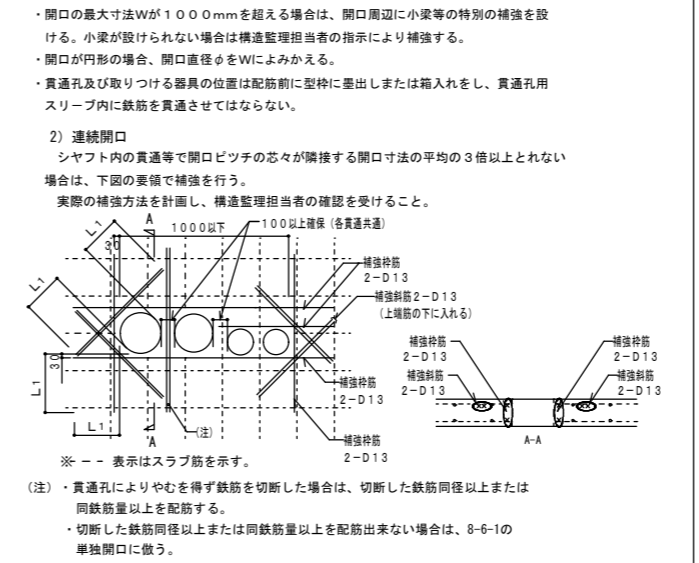
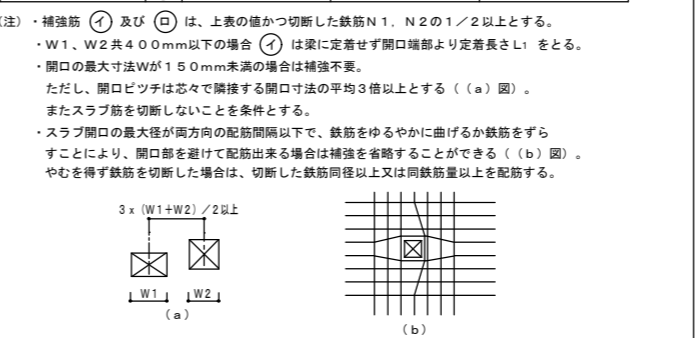


8.4 開口補強要領

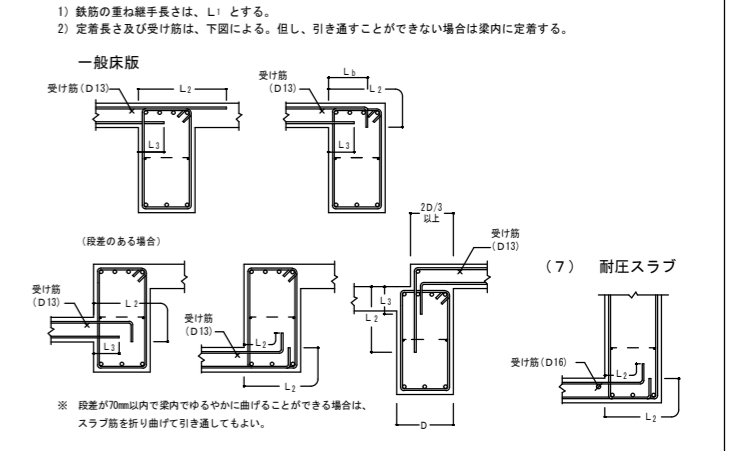


開口補強筋

開口寸法	150 < W2 ≤ 400	400 < W2 ≤ 700	700 < W2 ≤ 1000
150 ≤ W1 ≤ 400	上下各1-D13 上下各1-D13	上下各1-D13 上下各2-D13	上下各2-D13 上下各3-D13
400 < W1 ≤ 700	2-D10 上下各2-D13	2-D10 上下各2-D13	2-D13 上下各3-D13
700 < W1 ≤ 1000	上下各3-D13 上下各1-D13	上下各3-D13 上下各2-D13	上下各3-D13 上下各3-D13



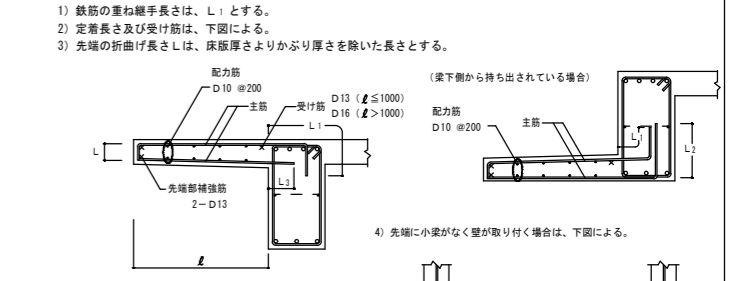
8.7 継手及び定着



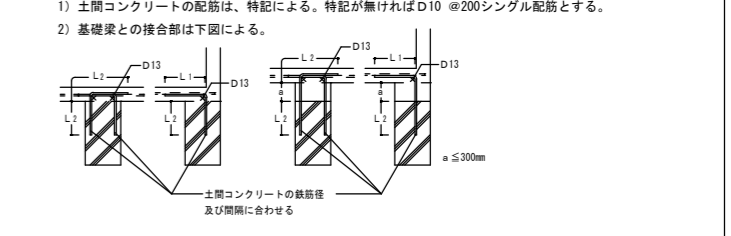
8.8 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎについて)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2 × L1以上
- 無筋部分D10 @ 200 長さ800以上

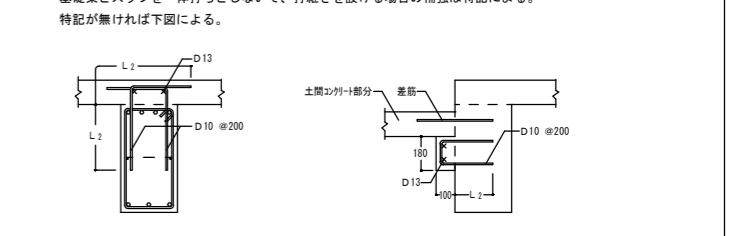
8.9 片持ちスラブの基準配筋



8.10 土間コンクリートの配筋



8.11 土間スラブの打継ぎ補強筋

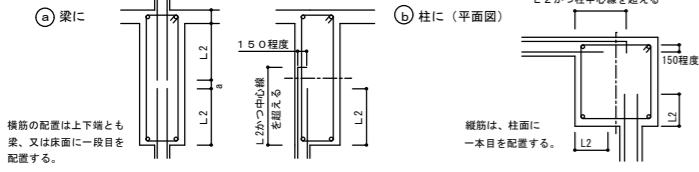


工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋図 (2)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	N S	
公園名称	新宿御苑			図面番号	S-010	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	小林	田中	松岡		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

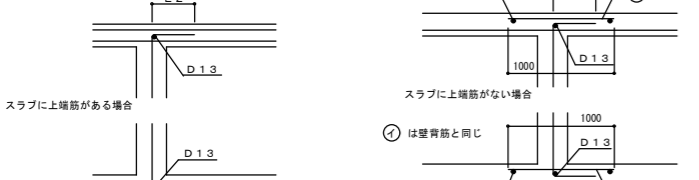
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)

9. 壁

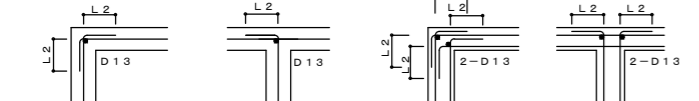
9.1 定着



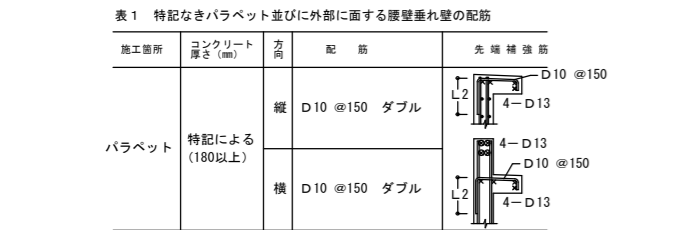
9.2 パラベット並びに外部に面する腰壁垂れ壁の配筋



9.3 単独開口部の補強



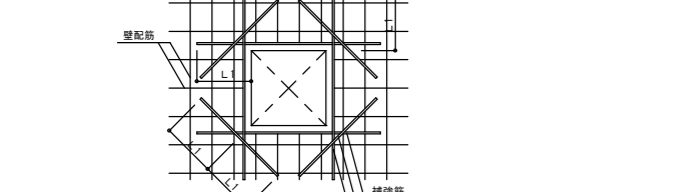
9.4 開口群の補強



壁開口部の補強は、下表のA形及びB形とし、特記がなければA形とする。

壁の種類	A 形		B 形	
	補強筋	鉄筋	補強筋	鉄筋
W12, W15	1-D13	1-D13	2-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13

壁開口部補強の定着長さ

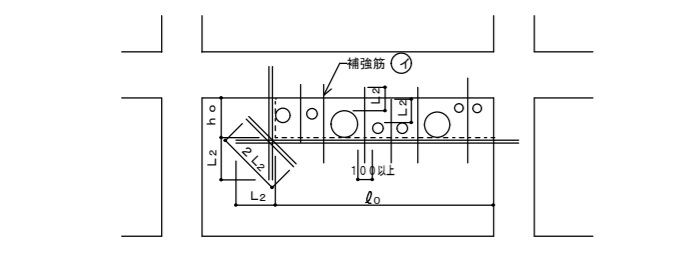


開口部が柱及び梁に接する部分又は最大径が300mm以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強を省略することができる。

9.4 開口群の補強

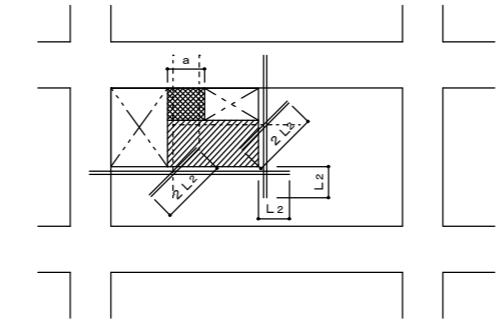
開口間隔が隣接する開口径の3倍以下の場合は開口群を一つの開口として扱う。その場合構造監理担当者との協議のうえ下記による。

(a) 円開口の場合



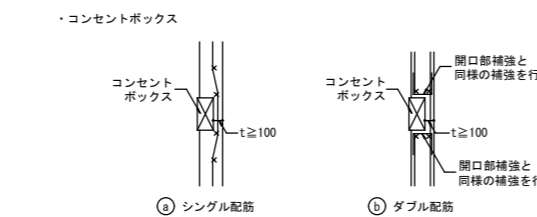
(注) ・ l_0 , h_0 寸法を開口寸法とし補強筋は設計図による。
・ 開口間の壁筋はできる限り切断しないこと。やむを得ず切断した場合には補強筋を入れる。
・ 補強筋 ① は壁筋と同径とし、定着長さは個別開口端より L_2 とする。

(b) 角開口の場合



(注) ・ 隣接する開口のあき a が300mm以下の場合は一つの開口として扱う。
・ 印部分のタテ筋は所定の壁筋と同径・同ピッチかつ150mm以下で配筋する。
・ 印部分は所定の壁配筋を行う。
・ --- は所定の開口補強と、開口小口補強筋(7-4-1)を入れる。

9.5 設備開口の補強 (耐震壁は除く)



※ $t < 100$ の場合は、開口補強を行う。

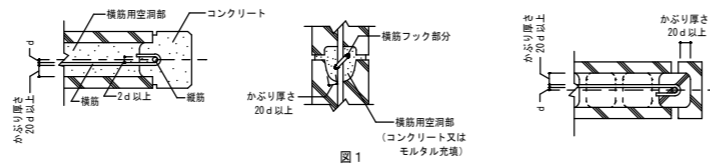
10. 補強コンクリートブロック造

適用範囲及び材料

1) 適用範囲は、空洞コンクリートブロック (以下「ブロック」という) を組織し、鉄筋により補強された耐力壁による平家建及び2階建程度の小規模な構造物の鉄筋工事とする。なお、基礎、がりよう、スラブ等については鉄筋コンクリート造に準ずる。
2) 鉄筋の材料は鉄筋コンクリート造に準じ、特記がなければSD295Aとする。

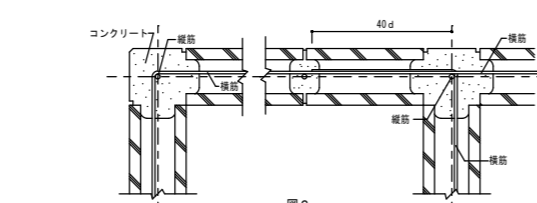
鉄筋の加工及び組立

1) 壁縦筋は、原則としてブロック中心部に配筋し、上下端は、がりよう、基礎等に定着する。なお、壁縦筋に継手を設けてはならない。
2) 壁横筋は、壁端部縦筋に180°フックによりかぎ掛ける。ただし、直交壁がある場合は、直交壁に定着させるか、直交壁の横筋に重ね継手とする。
3) 壁縦筋のかぶり厚さの最小値は、20mmとする。ただし、ブロックフェイスは、かぶり厚さに含まない。図1参照
4) 壁縦筋の重ね継手長さは45dとし、定着長さは40dとする。
5) 1)から4)以外は、「一般事項」による。

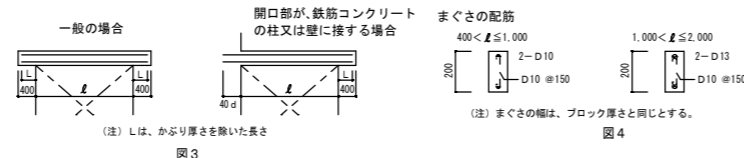


各部の配筋

1) 壁の配筋 (交差部、端部の補強筋を含む) は特記による。特記がなければ1-D13とする。
2) 交差部、端部 (開口部) の配筋は図2による。



3) まぐさは鉄筋コンクリート造とし、配筋は特記による。ただし特記がなければ図3、図4による。なお、既製まぐさを使用する場合は、監督員の承諾をうける。



(注) L_1 は、かぶり厚さを除いた長さ

11. 階段

片持ち床版形

1) 片持ち床版形階段の基準配筋は下記による。形状、寸法、及び配筋種別は特記による。

KA形基準配筋

符号	t	a	b	上端筋
KA 1	150			1-D13
KA 2	150			2-D13

KK形基準配筋

符号	t	a	b	上端筋
KK 1	150			1-D13
KK 2	150			2-D13

片持ち階段の配筋と定着

1) 階段主筋は壁の中心線を越えてから縦に降ろす。
2) 床版配筋の継手及び定着の長さは L_3 とする。

片持ち階段を受ける壁

1) 縦筋は、横筋の外側に配置する。
2) 壁筋の定着の長さは L_2 とする。

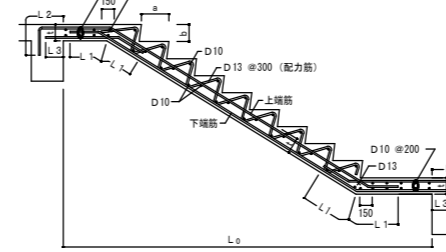
符号	t	配筋
KW 1	180	縦筋 D13 @200 ダブル 横筋 D10 @200 ダブル
KW 2	200	縦筋 D13 @150 ダブル 横筋 D10 @200 ダブル

二辺固定床版形

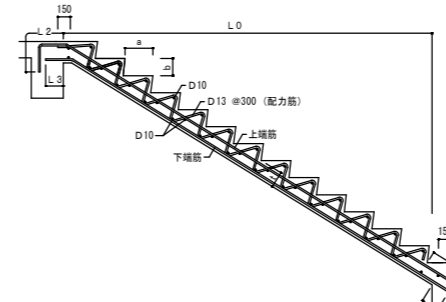
1) 二辺固定床版形階段の基準配筋は下記による。

KB形基準配筋

? 折れ曲がり床版階段タイプ 注 折れ曲がり部分は、応力も大きくひび割れも入りやすいので配筋は特に念に入ること。



? 支点に小梁を設けるタイプ

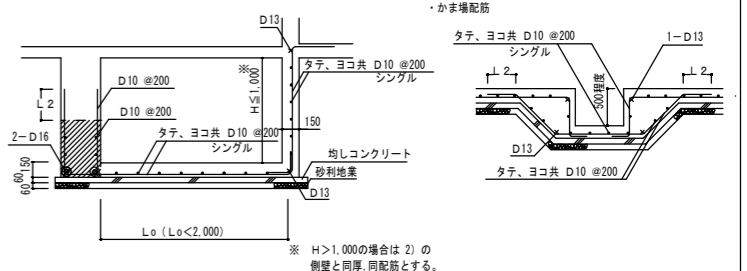


符号	t	全域	
		上端筋	下端筋
KB 1	150	D13 @200	D13 @200
KB 2	150	D13 @150	D13 @150
KB 3	150	D13 @100	D13 @100
KB 4	180	D13, D16 @150	D13, D16 @150
KB 5	180	D16 @150	D16 @150
KB 6	180	D16 @125	D16 @125
KB 7	200	D16 @100	D16 @100

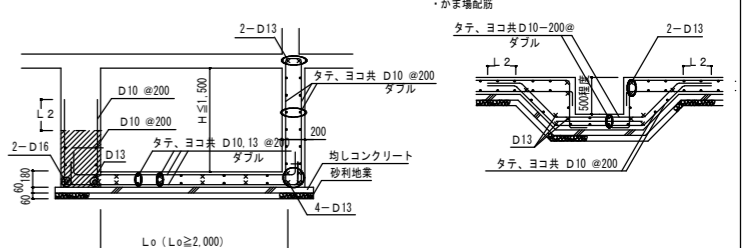
12. 雑配筋

12.1 特記なきピットの詳細は下記による。

? 土間コンクリート ($L_0 < 2,000$) の場合

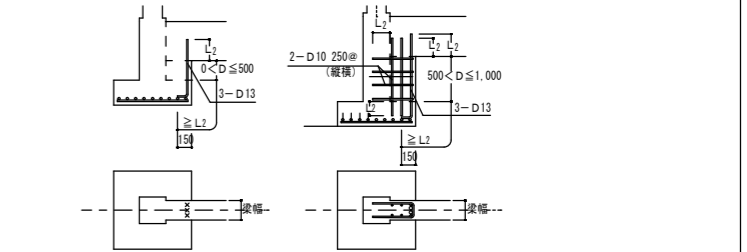


? ($L_0 \geq 2,000$) の場合



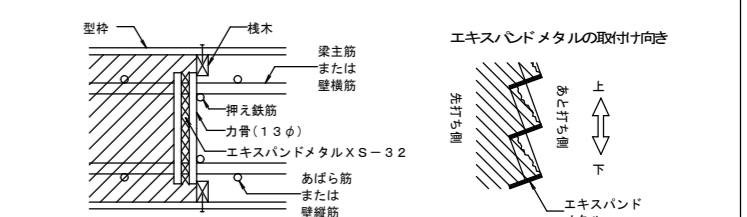
12.2 基礎接合部の補強

基礎フーチングと基礎梁が直接つながっていない場合は基礎梁を打増して下図のような補強を行う。なお、基礎フーチング端部と基礎梁底面との距離が1,000mmを超える場合は特記による。



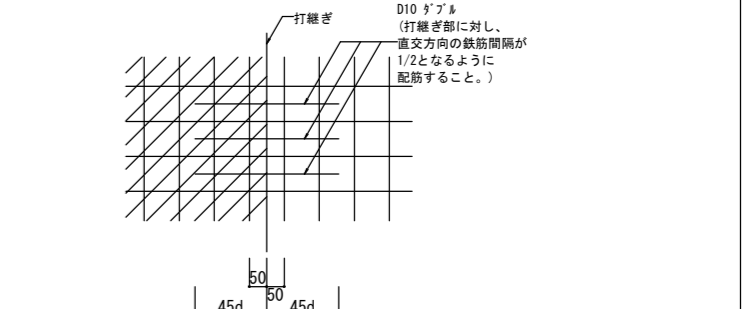
12.3 打継箇所の補強

1) 梁、壁



(注) 上図以外の方法で打継補強を行なう場合は、事前に設計者及び工事監督者と打合せの事。

2) スラブ



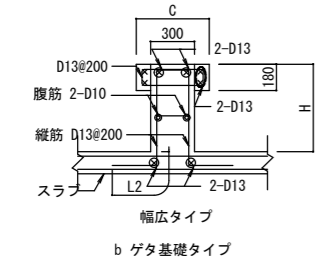
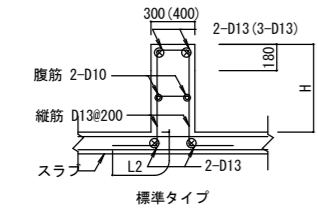
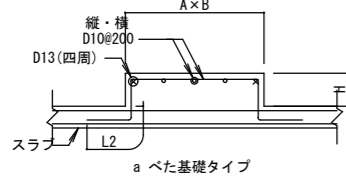
※打継ぎ面はレイタンス、施工不良箇所を除去すること。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋図(3)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-011
検印	管理建築士 設計 製図	設計者	名称 A I S 総合設計株式会社 本社
	小林 田中 松岡 永井	資格者氏名	小林 孝宏
		登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

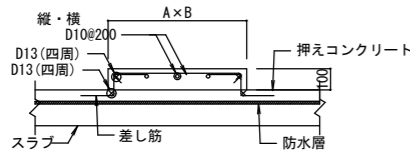
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (4)

12.4 機械基礎の配筋要領

- スラブから立上げる基礎の場合
 - A×B、CおよびHは意匠図による。
 - あご付きとする場合は、ハット型の配筋に準じる。
 - 機械基礎を梁形状とする場合は、構造図による。



- 防水層の上に設ける基礎の場合
 - A×BおよびHは意匠図による。
 - 荷重制限：基礎自重+機器/A×B ≤ 10kN/m²とする。

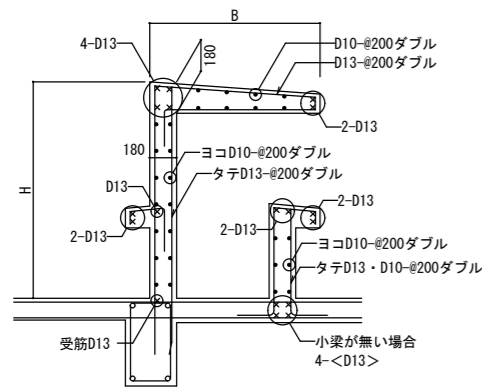


基礎部分は後打ちとする。

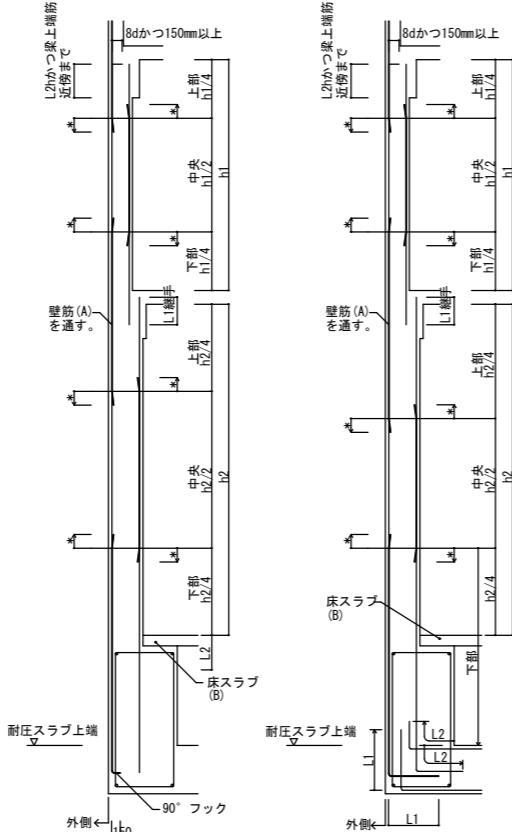
差し筋はD10@200とし、押えコン及び基礎部分にそれぞれL2定着すること。

12.5 ハト小屋の配筋要領

屋上配管取出口 (B ≤ 1500, H ≤ 2000)



12.6 地下外壁の配筋要領



*印寸法 ()
床スラブ(図)がある場合の地下外壁の配筋要領
床スラブ(図)がない場合の地下外壁の配筋要領

- (注) 1) 地下外壁縦筋(A)を通すことを原則とする。但し施工上梁内に定着する場合は監理者と協議する。
2) 地下外壁の壁筋は縦筋を外側に配筋する。
3) *印はトップ筋の止める位置を示す。*印の寸法の記入がない場合は15dとする。

13. コンクリートブロック帳壁及びび屮

13.1 適用範囲

1) 適用範囲は、建築用コンクリートブロック(以下、「ブロック」という)を組積し、鉄筋により補強された帳壁及び高さ2.2m以下の壁の鉄筋工事とする。この章に定める以外の事項は「補強コンクリートブロック造」による。

13.2 鉄筋の加工及び組立

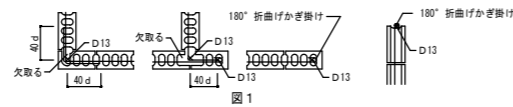
- 主筋は、原則としてブロック中心部に配筋し、構造体に定着する。なお、主筋に継手を設けてはならない。ただし、帳壁の場合は、溶接長さ10d (dは鉄筋の径)以上の片面アーク溶接を行う場合は、継手を設けることができる。
- 壁横筋は、壁端部縦筋に180°フックによりかぎ掛けとする。ただし、直交壁がある場合は直交壁に定着させるか、直交壁の横筋に重ね継手とする。
- 壁鉄筋の重ね継手長さは45dとし、定着長さは40dとする。ただし、帳壁筋力筋の主体構造部分への定着長さは25dとする。
- ブロック間の横筋の末端部は、控壁に定着する。ただし、定着長さがとれない場合は、末端部の縦筋にかぎ掛けとし、最上部は、下に折り曲げて定着する。
- ブロック間の縦筋は、下部は基礎に定着し、上部は、横筋に180°フックによりかぎ掛ける。ただし、屮端部の場合は、壁間の空洞部に定着する。

13.3 各部の配筋

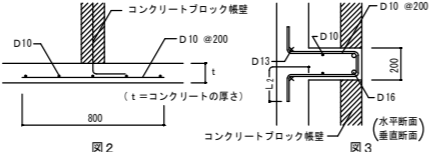
1) 壁の配筋は、特記による。ただし、特記がなければ下表による。

用途	主筋	配筋筋
内 壁	D10 @400	D10 @400
外 壁	D13 @400	D10 @400

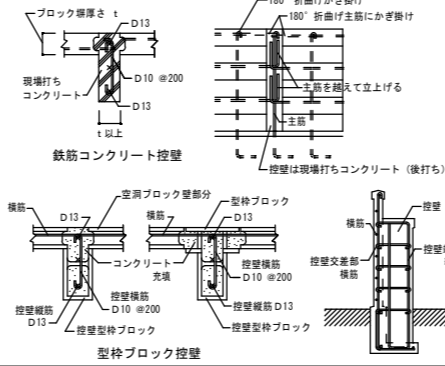
2) 帳壁の交差部、端部(開口部)の配筋は、図1による。



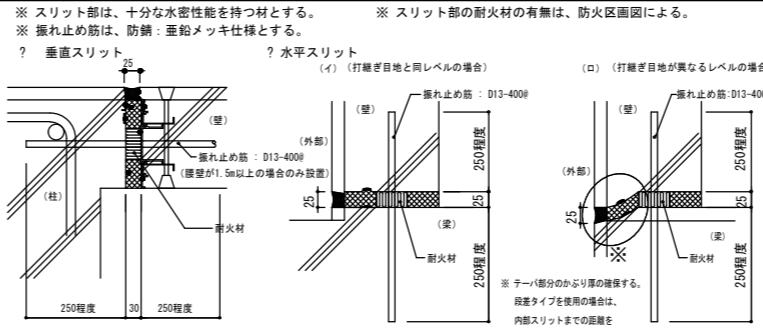
3) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図2による。帳壁の控壁の配筋は、図3による。



- 4) ブロック間の控壁は、鉄筋コンクリート造又は型枠コンクリートブロックを用いた鉄筋コンクリート造とし、3.4m以下ごとに設け取り合い及び配筋方法は、下図による。

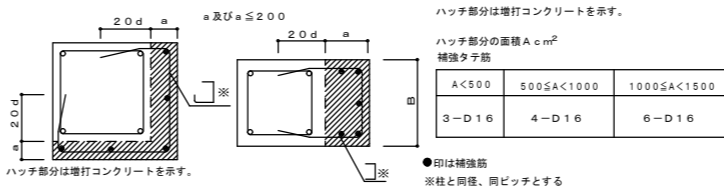


14. 耐震スリット(完全スリット)詳細

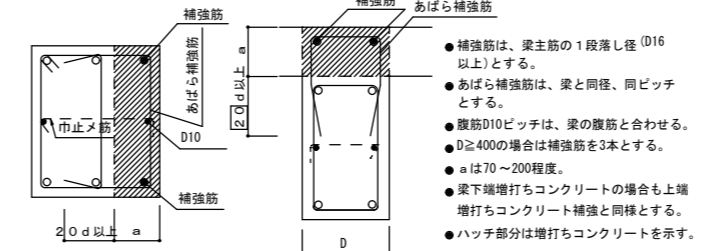


15. 柱、梁、壁増打コンクリート補強 (増打ちするときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

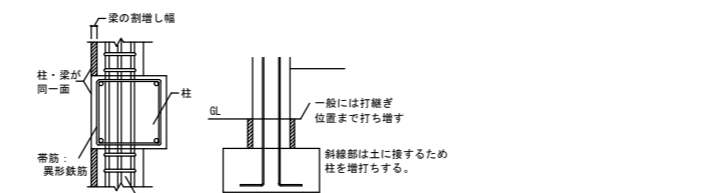
15.1 柱



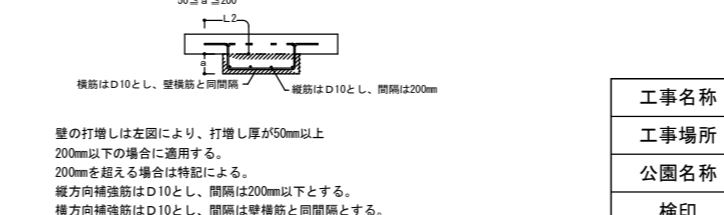
15.2 梁



15.3 梁および基礎

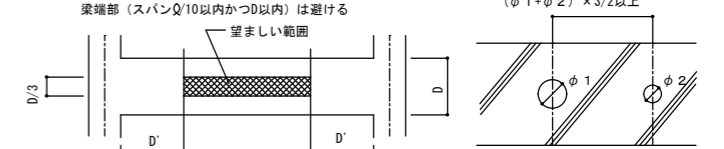


15.4 壁

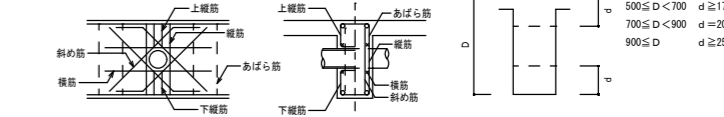


16. 梁貫通孔補強 (開口補強筋については計算により確認すること)

16.1 設置可能範囲



16.2 鉄筋標準配筋



H形配筋 孔の径が梁せいりの1/10以下かつ150mm未満のものは、補強を省略することができる。

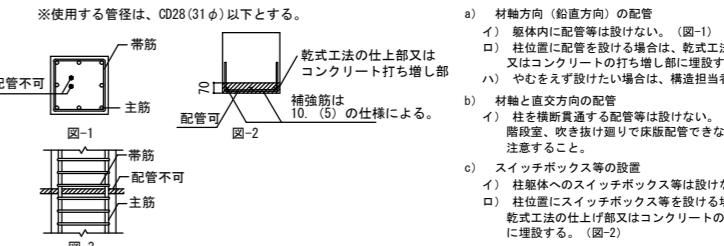
配筋種類	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	[図]
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	[図]
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	[図]
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	[図]
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	[図]
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	[図]
H7	4-2-D22	なし	なし	なし	[図]

16.3 既製品

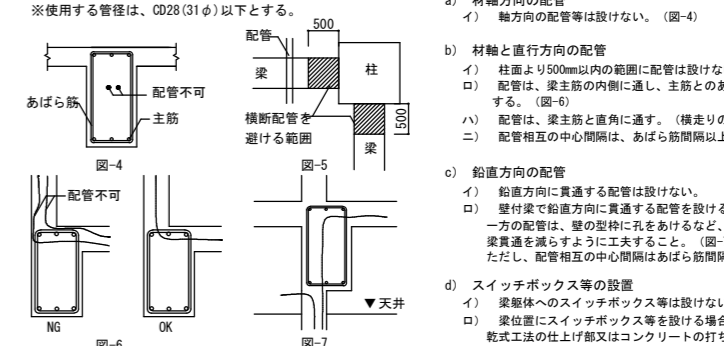
(使用する際は、設計者又は工事監理者と打合せのこと)
ウェブレン、ダイヤレン等 日本建築センター評価取得品とする。施工前に計算書を提出し、承認を得ること。
設計時に使用する評価取得品については計算書を提出すること。
■リング型 ■パイプ型 ■金網型 ■プレート型

17. 設備配管等の注意事項

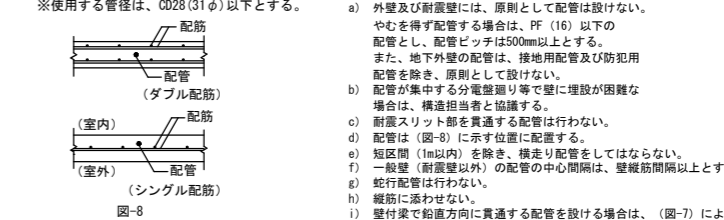
17.1 柱に配管する場合



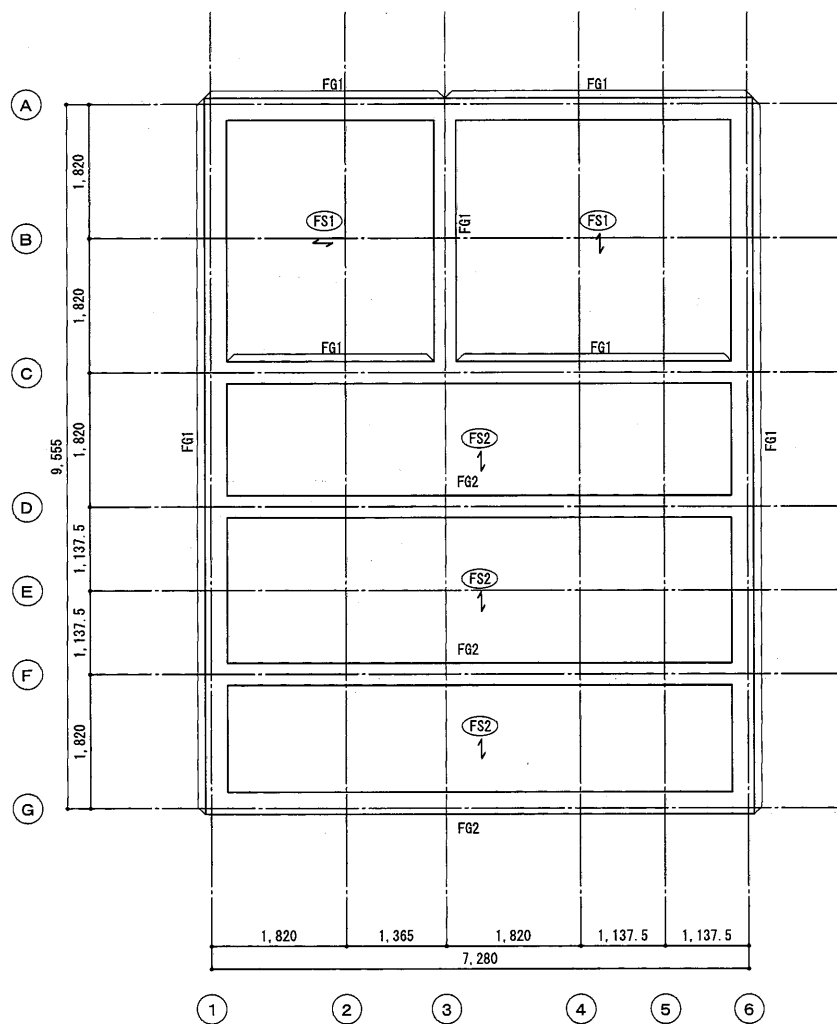
17.2 梁に配管する場合



17.3 壁に配管する場合



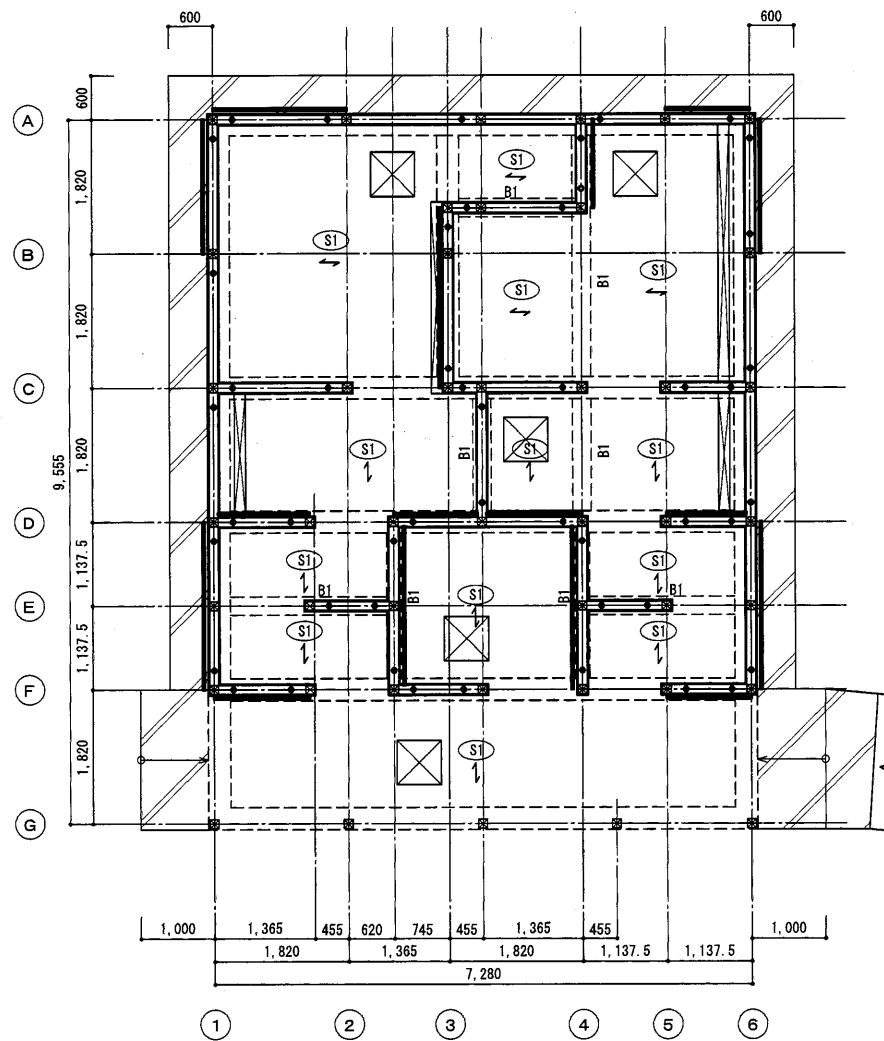
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋図(4)
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	N.S
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-012
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	小林 孝宏	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	田中	資格者氏名	小林 孝宏
	松岡 永井	登録番号	321076
		所在地	栃木県宇都宮市明保町2番10号



基礎伏図 S=1:50

特記事項

図面は、見下げとする。
 特記なき限り下記とする。
 設計GLは、H= とする。IFLは、設計G.L.+100とする。
 基礎梁天端は、IFL+200とする。ｽﾗﾌﾞ天端は、IFL+50とする。
 耐圧版下端は、IFL-1,800とする。
 ← は、ｽﾗﾌﾞ主筋方向を示す。
 長期地耐力 L_{Ra}=30KN/m² とする。



1階床伏図 S=1:50

特記事項

図面は、見下げとする。
 特記なき限り下記とする。
 設計GLは、H= とする。IFLは、設計G.L.+100とする。
 ｽﾗﾌﾞ天端は、IFL+50とする。
 土台下端は、IFL+200とする。
 柱は、ヒノキ 120×120 とする。
 間柱は、スギ 45×105@455 とする。
 土台は、ヒノキ 120×120 とする。
 ■ は、耐力壁 (構造用合板 t=12、N50@150) とする。
 ● は、アンカーボルト L型ナット付き M12 L=400 を示す。
 ← は、ｽﾗﾌﾞ主筋方向を示す。
 ⊠ は、床開口を示す。
 ⊡ は、土間コンクリートを示す。

基礎梁リスト S=1:30

特記事項

符号	FG1		FG2		B1
	全断面		端部	中央	
位置	全断面		端部	中央	全断面
断面					
B × D	300 × 1,400		300 × 1,400		250 × 500
主筋	上端筋	2-D19	2-D19	2-D19	2-D16
	下端筋	2-D19	2-D19	3-D19	2-D16
スターラップ	□-D10@200		□-D10@200		□-D10@200
腹筋	8-D10		8-D10		-
巾止筋	D10@1,000		D10@1,000		D10@1,000

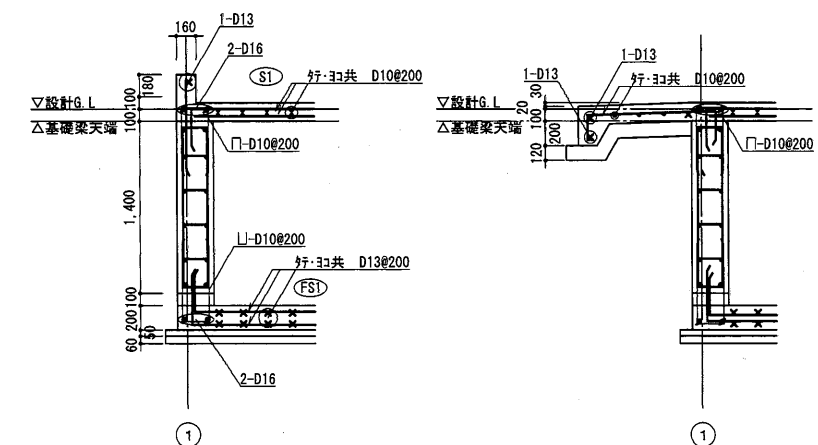
スラブリスト S=1:30

特記事項

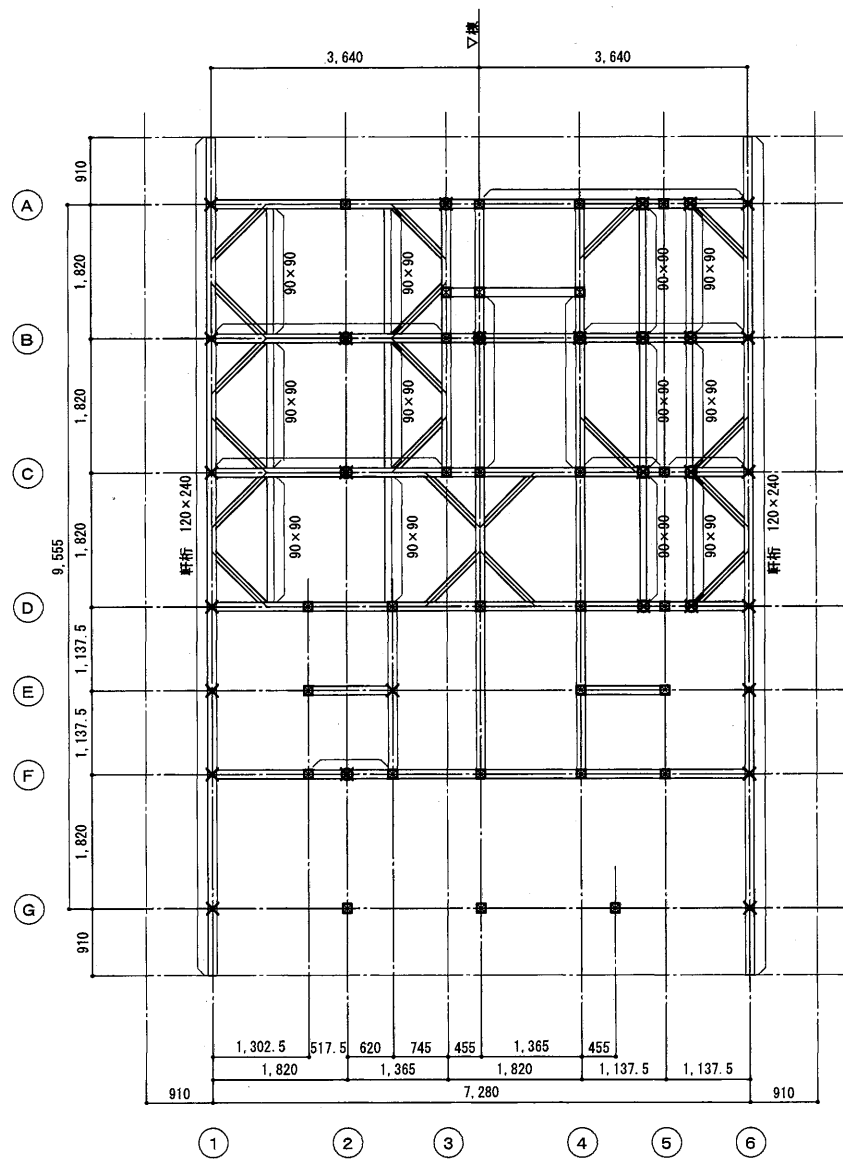
符号	厚さ	位置	短辺方向	長辺方向	備考
			主筋	配力筋	
FS1	200		上端筋	D13@200	D13@200
			下端筋	D13@200	D13@200
FS2	200		上端筋	D13@200	D10@200
			下端筋	D13@200	D10@200
S1	150		上端筋	D10@200	D10@200
			下端筋	D10@200	D10@200
土間 コンクリート	150		上端筋	D10@200	D10@200
			下端筋		

立上り・スラブ配筋図

土間コンクリート配筋図

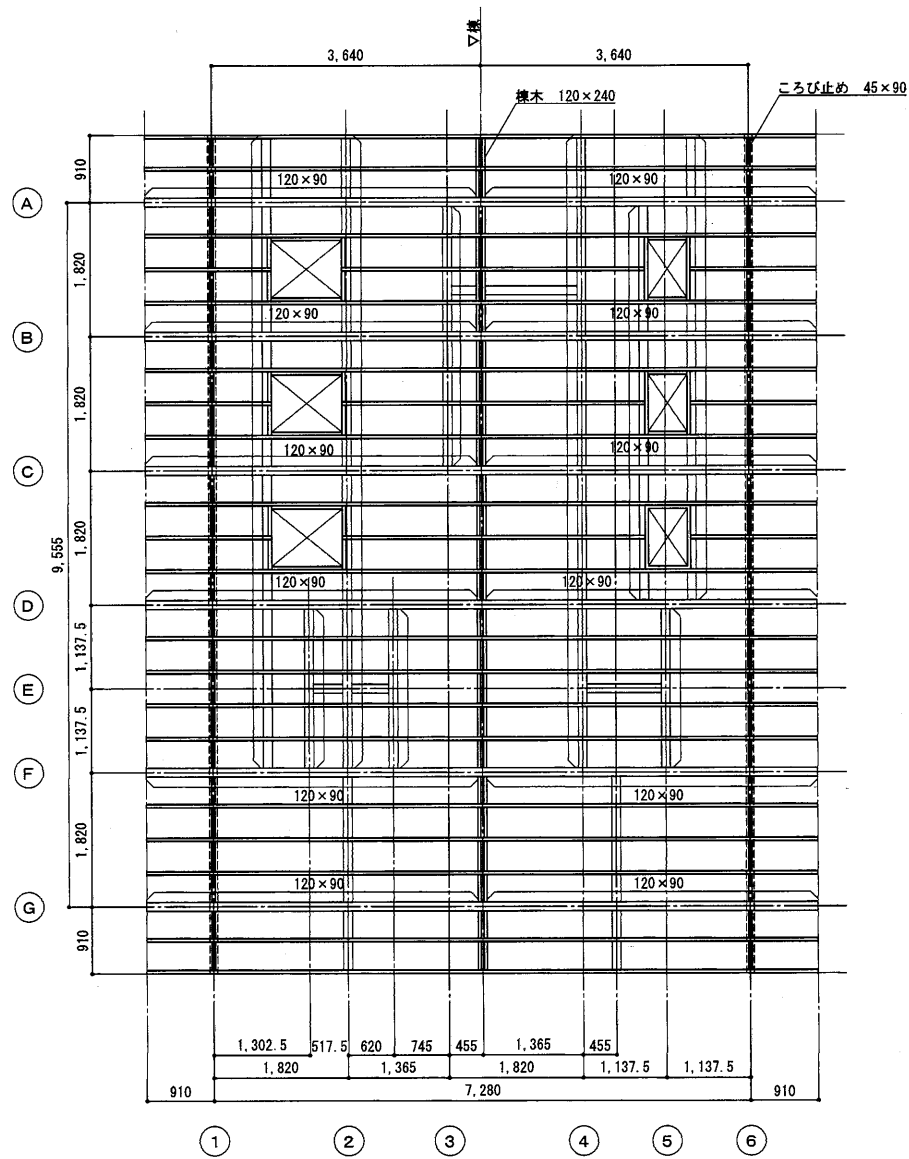


工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 基礎伏図・1階床伏図・基礎梁リスト
工事場所	東京都新宿区内藤町11、東京都渋谷区千駄ヶ谷6-1-1	縮尺	1:50, 1:30 (A1) 1:100, 1:60 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-013
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者		
	名称	A I S 総合設計株式会社 本社	
資格者氏名			小林 孝宏
登録番号			321076
所在地			栃木県宇都宮市明保野町2番10号



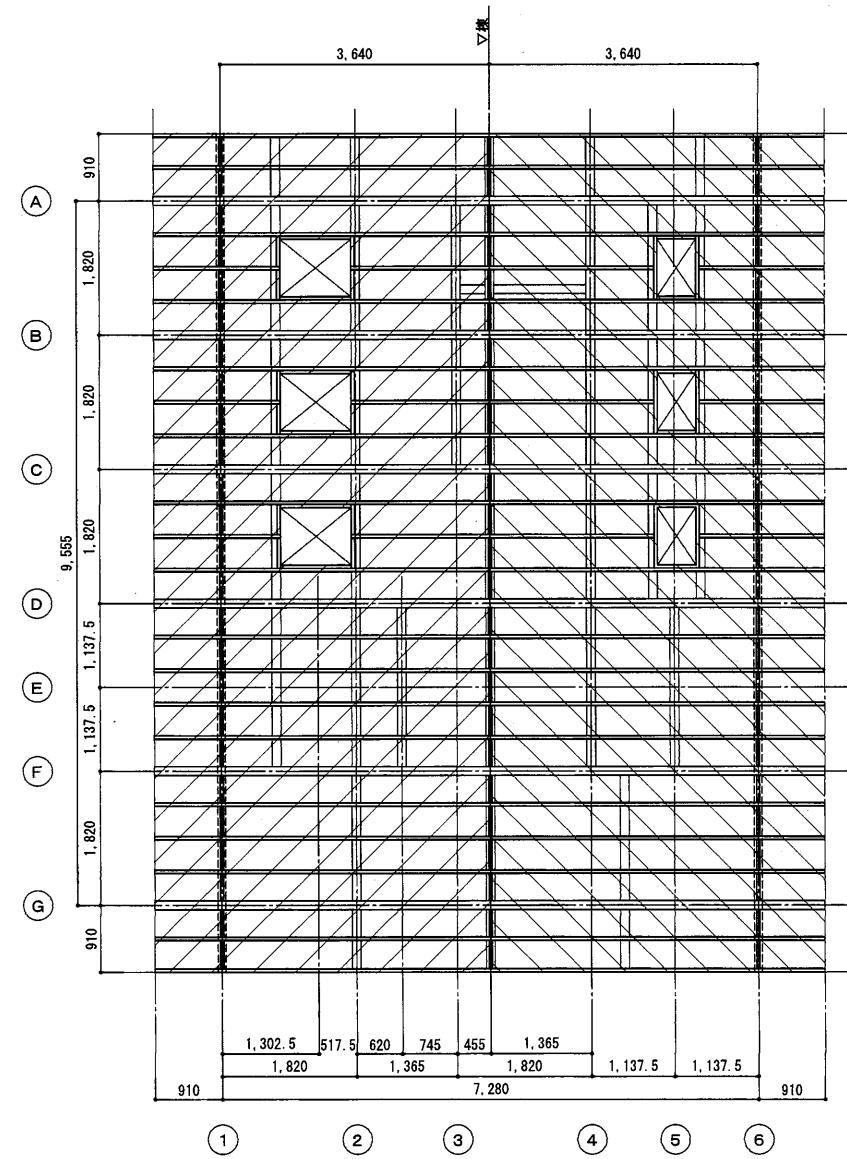
小屋組伏図 S=1:50

特記事項
 図面は、見下げとする。
 特記なき限り下記とする。
 軒高は、1FL+2.900とする。
 軒桁は、スギ 120×240 とする。
 小屋梁は、ヒノキ 120×240 とする。
 小屋束は、ヒノキ 105×105 とする。
 火打ち梁は、スギ 90×90 とする。
 × は、下部柱を示す。
 ○ は、小屋束を示す。
 □ は、通し柱を示す。



屋根伏図 (1) S=1:50

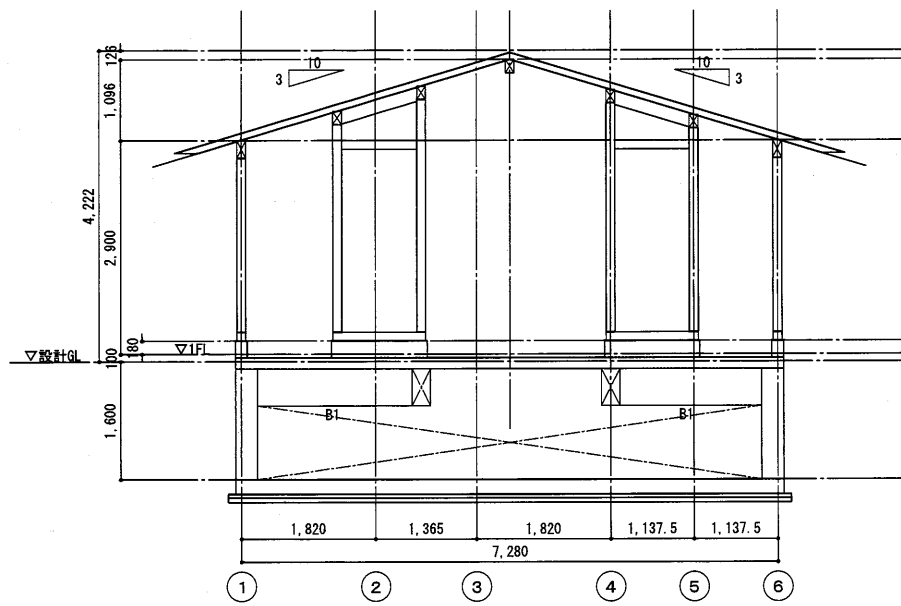
特記事項
 図面は、見下げとする。
 特記なき限り下記とする。
 軒高は、1FL+2.900とする。
 棟木は、スギ 120×240 とする。
 母屋は、スギ 120×180 とする。
 垂木は、スギ 45×90@455 (ひねり金物) とする。
 ころび止めは、スギ 45×90 とする。



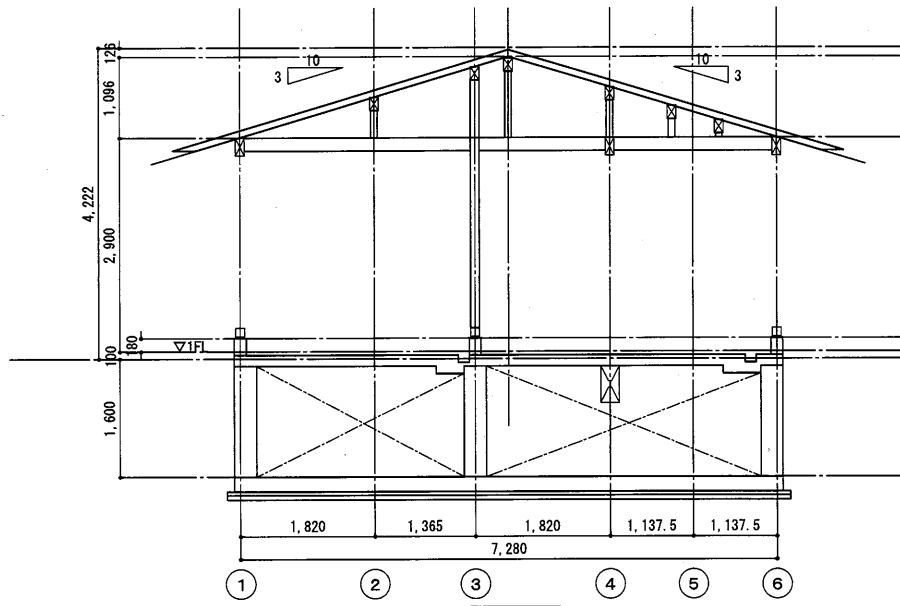
屋根伏図 (2) S=1:50

特記事項
 図面は、見下げとする。
 特記なき限り下記とする。
 軒高は、1FL+2.900とする。
 構造用合板 t=12、丸釘N50@150 とする。

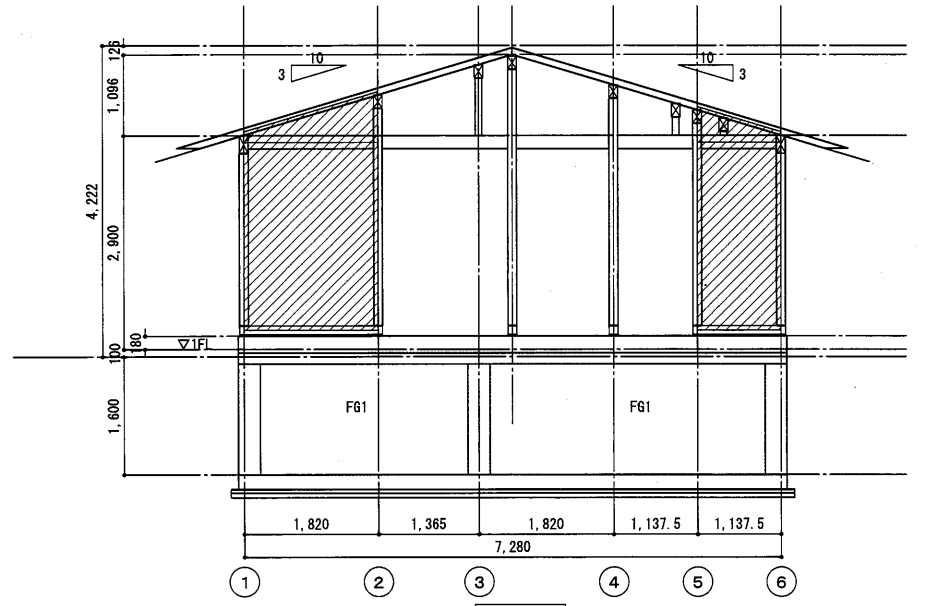
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天宇裏トイレ新築工事	図面名称	翔天宇裏トイレ 小屋組伏図・屋根伏図(1)・(2)
工事場所	東京都新宿区内藤町11、東京都渋谷区千駄ヶ谷6-1-1	縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-014
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	伊藤
	設計者	名称	AIS総合設計株式会社 本社
	資格者氏名	小林 孝宏	登録番号
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号



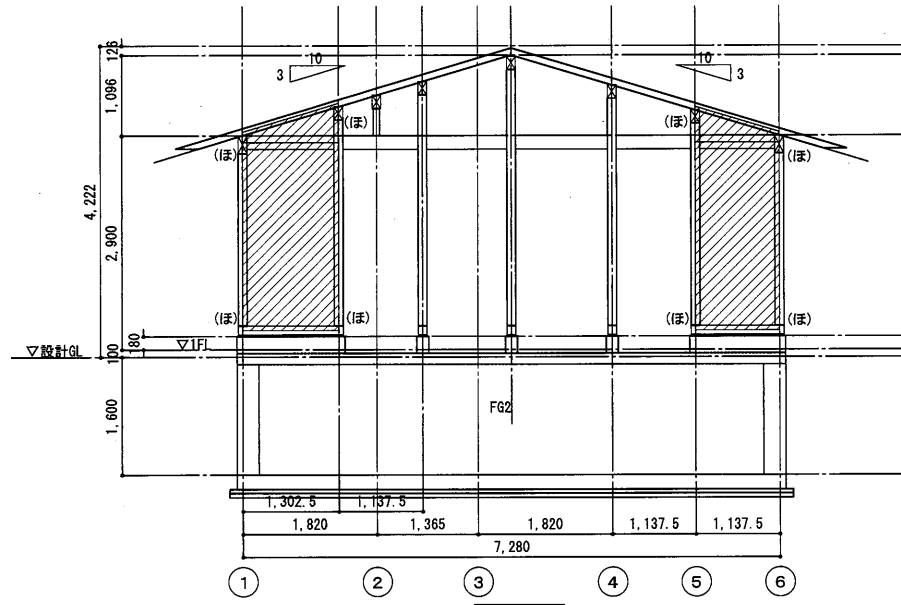
E通り



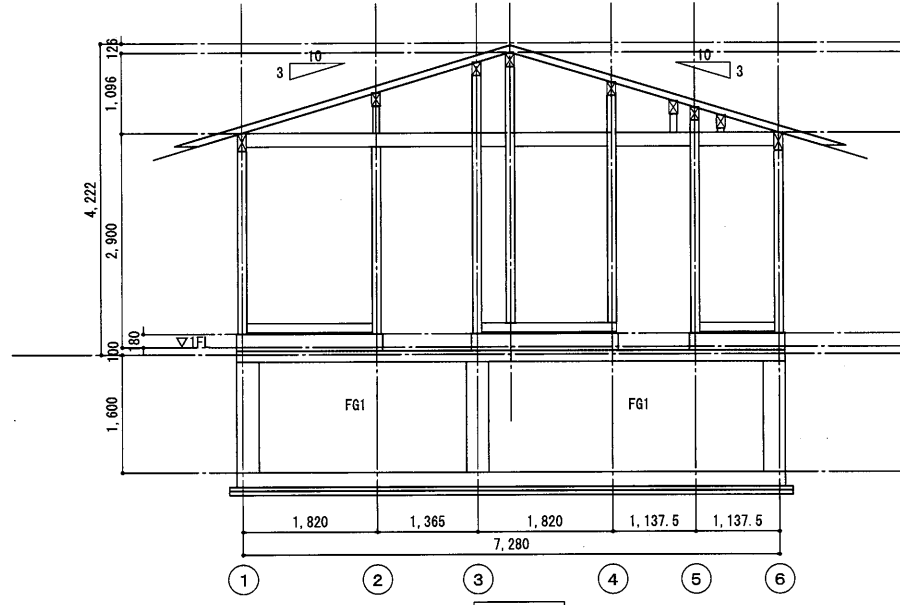
B通り



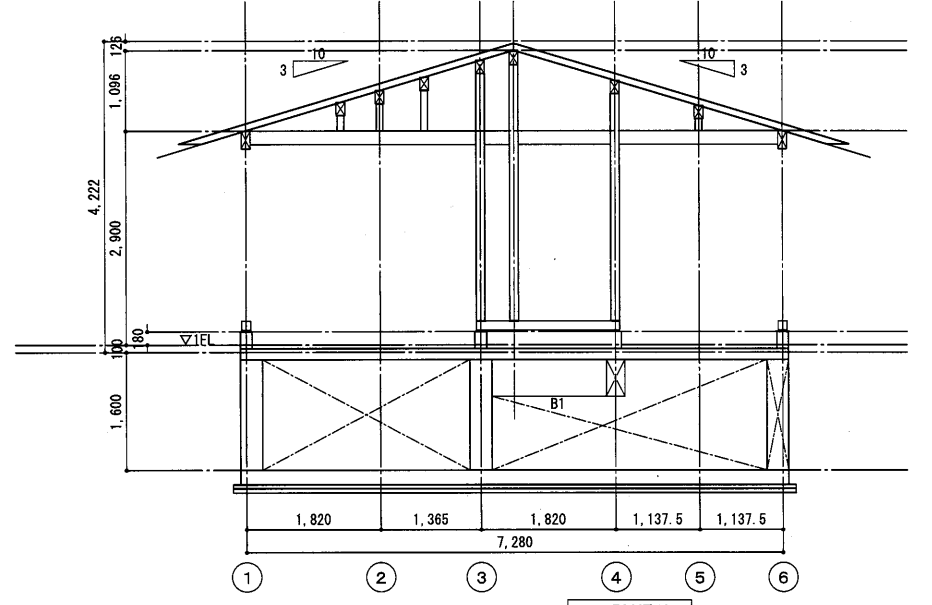
A通り



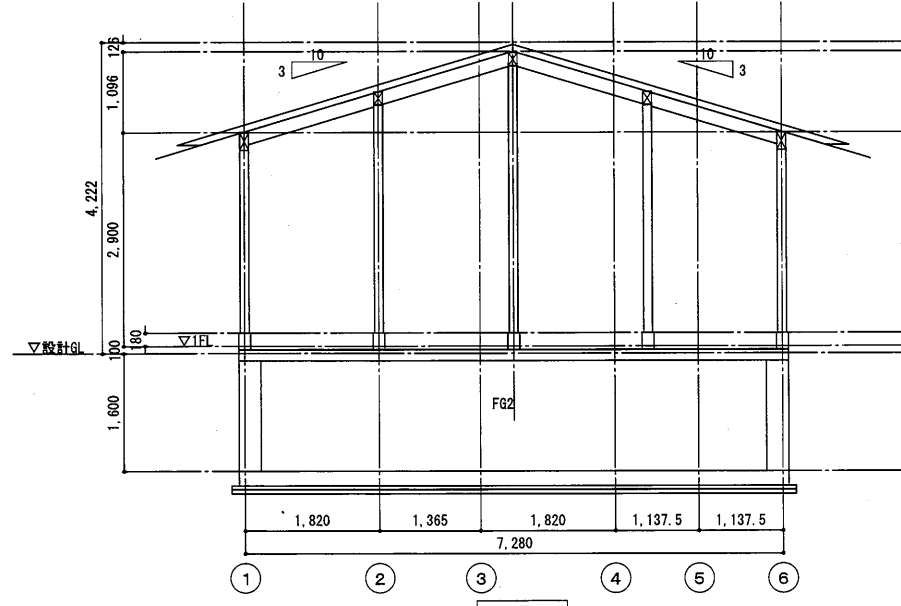
F通り



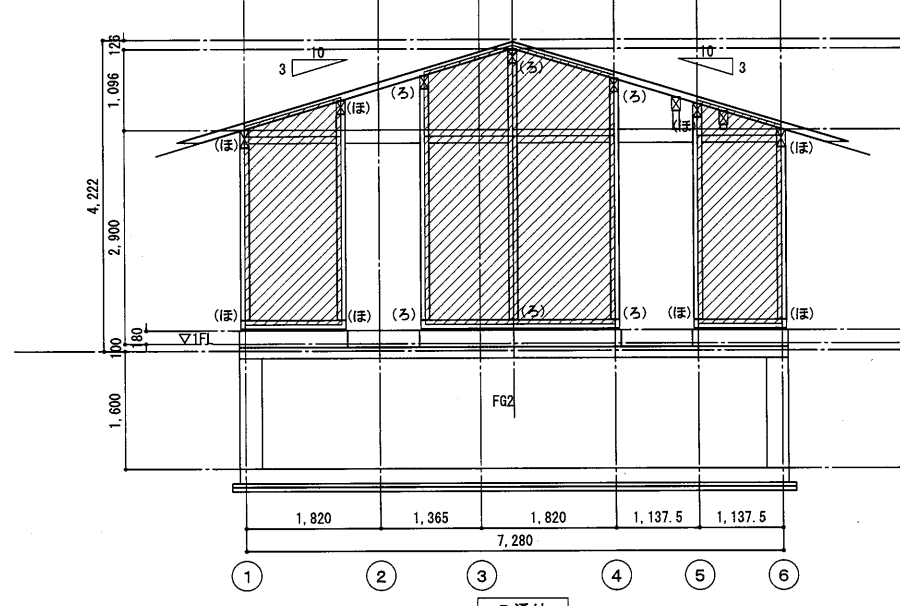
C通り



B+720通り



G通り



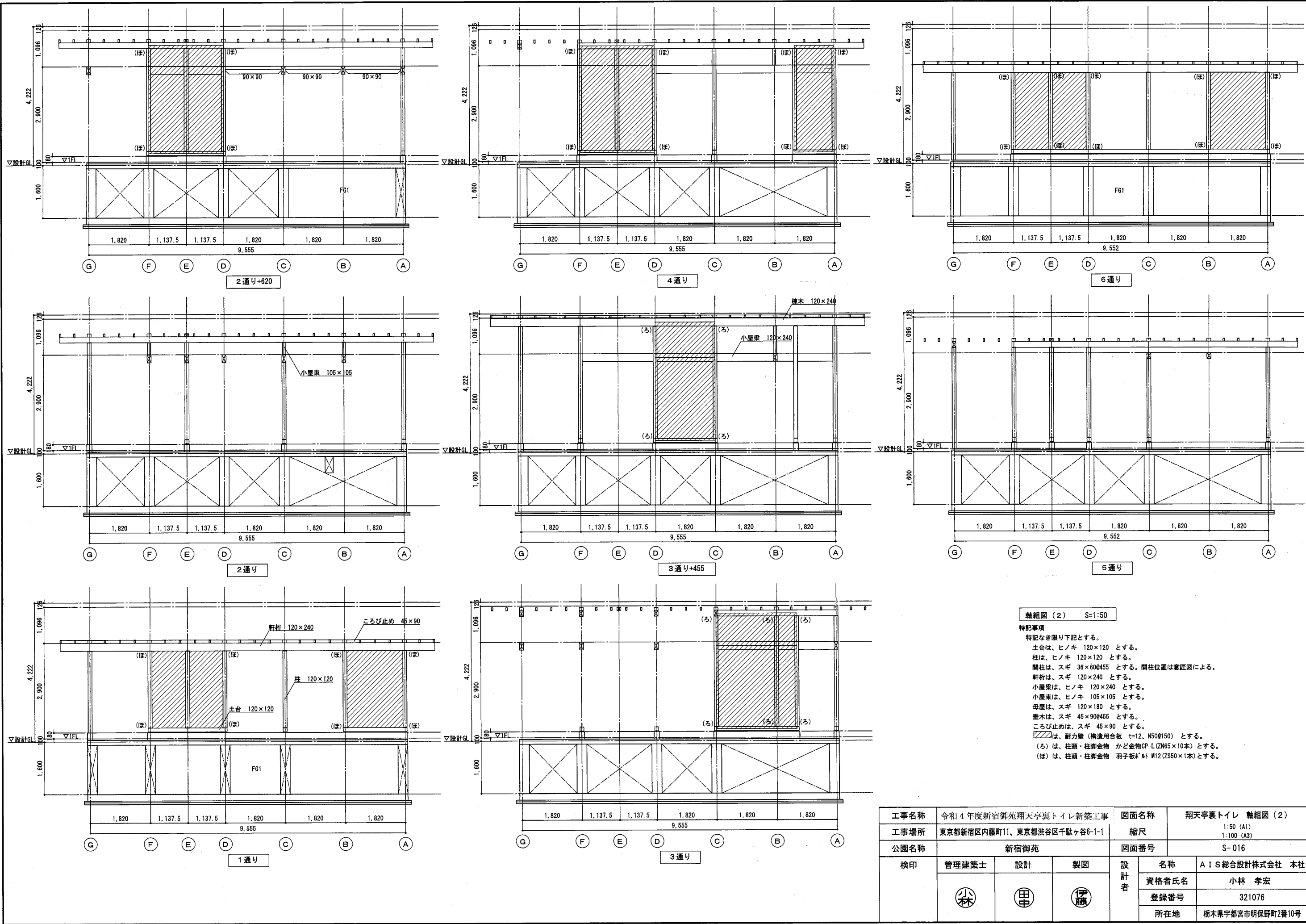
D通り

軸組図(1) S=1:50

特記事項

- 特記なき限り下記とする。
- 土台は、ヒノキ 120×120 とする。
- 柱は、ヒノキ 120×120 とする。
- 間柱は、スギ 36×60@455 とする。間柱位置は意匠図による。
- 軒桁は、スギ 120×240 とする。
- 小屋梁は、ヒノキ 120×240 とする。
- 小屋束は、ヒノキ 105×105 とする。
- 母屋は、スギ 120×180 とする。
- 垂木は、スギ 45×90@455 とする。
- ころび止めは、スギ 45×90 とする。
- ////は、耐力壁(構造用合板 t=12、N50@150) とする。
- (ろ)は、柱頭・柱脚金物 かど金物CP-L(ZN65×10本) とする。
- (ほ)は、柱頭・柱脚金物 羽子板材 M12(ZS50×1本) とする。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 軸組図(1)
工事場所	東京都新宿区内藤町11、東京都渋谷区千駄ヶ谷6-1-1	縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-015
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	伊藤
	設計者	名称	名称
		資格者氏名	資格者氏名
	登録番号	登録番号	登録番号
	所在地	所在地	所在地



軸組図(2) S=1:50

特記事項

- 特記なき限り下記とする。
- 土台は、ヒノキ 120×120 とする。
- 柱は、ヒノキ 120×120 とする。
- 間柱は、スギ 36×60@455 とする。間柱位置は意匠図による。
- 軒桁は、スギ 120×240 とする。
- 小屋根梁は、ヒノキ 120×240 とする。
- 小屋束は、ヒノキ 105×105 とする。
- 母屋は、スギ 120×180 とする。
- 垂木は、スギ 45×90@455 とする。
- こらび止めは、スギ 45×90 とする。
- 斜線は、耐力壁(構造用合板 t=12, N50@150) とする。
- (ろ)は、柱頭・柱脚金物 かど金物CP-L(ZN65×10本) とする。
- (ほ)は、柱頭・柱脚金物 羽子板材 M12(ZS50×1本) とする。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 軸組図(2)
工事場所	東京都新宿区内藤町11、東京都渋谷区千駄ヶ谷6-1-1	縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	S-016
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	伊藤
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
	資格者氏名	登録番号	321076
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

項目	特記事項													
1 非常用照明器具 2 誘導灯 ①配線器具 4 住宅用分電盤 5 その他	<p>○電池内蔵形 ○電源別置形 ○蓄電池(10分) + 自家発電設備 ○電池内蔵形 ○電源別置形 ○標識</p> <p>(1) 防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。 (2) 住宅用スイッチ、コンセント類は ●大角形(金属プレート) - 共用部 ●ワイドハンドル形 - 住戸内</p> <p>主閉閉器・分岐閉閉器の定格遮断電流 [単位 A]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>定格電流</th> <th>定格遮断電流</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">主閉閉器</td> <td>30以下</td> <td>2,500以上</td> </tr> <tr> <td>30を超え100以下</td> <td>5,000以上</td> </tr> <tr> <td>100を超え150以下</td> <td>10,000以上</td> </tr> <tr> <td>分岐閉閉器</td> <td>-</td> <td>2,500以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(公任仕1.1.4)</p> <p>住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能 (○機材の品質・性能基準 ○)</p> <p>(1) ○特殊コンセントにはプラグを付属させる。 ○別途機械設備工事機器仕様コンセント(エッチング)については打合せすること。 コンセントのうち次のものは、プレートに電圧等の表示を行う。 ・ 単相200V ・ 三相200V ・ 一般電源用以外(※発電機回路、※UPS回路等) ※赤字等で表示する</p>		定格電流	定格遮断電流	主閉閉器	30以下	2,500以上	30を超え100以下	5,000以上	100を超え150以下	10,000以上	分岐閉閉器	-	2,500以上
	定格電流	定格遮断電流												
主閉閉器	30以下	2,500以上												
	30を超え100以下	5,000以上												
	100を超え150以下	10,000以上												
分岐閉閉器	-	2,500以上												
1 機器への接続 2 電動機の接地	<p>(1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として ○本工事 ○別途工事 とする。 (2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製可とう電線管(防水ブリカ)を使用する。 (3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。 ○金属管接地 ○専用接地線</p>													
1 制御盤 2 温度調節器 3 その他	<p>標準仕様書によるが、盤内の器具類の構成配置は監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。 ○電気式 ○電子式</p>													
1 突針支持管 2 避雷導線 3 接地極 4 その他	<p>○銅製(溶融亜鉛メッキ HDZ35以上) ○ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること) ○引下げ導線 ○建築構造体利用 ○接地極埋設 ○建築構造体利用 接続部分については、異種金属接触腐食(電食)を起こさないように施工すること。</p>													
1 高圧開閉器(屋外用) 2 主遮断装置 3 設備内容 4 配電盤 5 その他	<p>高圧気中開閉器(S06)は(○方向性 ○VT内蔵 ○LA内蔵) ○既存 高圧ガス開閉器(UGS)は(○方向性 ○VT内蔵) ○既存 高圧交流遮断器(VGB)は(○手動式 ○電磁式) ○既存 進相コンデンサ(自動力率制御 ○有り ○無し) デマンド監視装置(○有り ○無し) ○屋内形(○開放形○閉鎖形) ○屋外形 ○キュービクル非常電源専用受電設備認定品</p> <p>(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承諾を受けること。 なお、改修工事についても同様とする。</p>													
1 直流電源装置 2 交流無停電電源装置(UPS) 3 電力貯蔵装置(電力平準化専用) 4 その他	<p>○非常用照明器具の電源と共用 ○受変電設備専用蓄電池 ○鉛蓄電池 種別(○CS形 ○PS形 ○MSE形 ○長寿命MSE形 ○HSE形) ○アルカリ蓄電池 種別(○AMP形 ○AMHP形 ○AHP形 ○AHS形 ○AHS形 ○AHHE形)</p> <p>○常時インバータ給電方式 ○常時インバータ給電方式(簡易型) ○ラインインタラクティブ方式 ○常時商用給電方式 ○リチウム二次電池 ○鉛蓄電池 ○ニッケル水素電池</p> <p>(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 簡易形については、監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。</p>													

1 自家発電設備 2 太陽光発電設備	<p>(1) 発電装置の用途 ○防災用自家発電装置 ○常用自家発電装置 ○常用防災兼用自家発電装置 種類 ○ディーゼル ○ガスエンジン ○ガスタービン ○マイクロガスタービン 始動方式 ○電気始動式 ○空気始動式 起動蓄電池(○標準 ○長寿命型) 冷却方式 ○水冷式(○循環方式 ○ラジエーター方式) ○空冷式 種類 ○A重油 ○軽油 ○灯油 燃料小出槽 (○本工事 ○別途工事) 主燃料槽 (○専用 ○他設備と共用) 形式 ○キュービクル式 (○一般用 ○寒冷地仕様 ○低騒音仕様) ○オープン式 5) 発電種類 ○普通形自家発電装置 ○即時普通形自家発電装置 ○長時間形自家発電装置 ○即時長時間形自家発電装置 (7) 運転時間 ○72時間 ○時間 監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。</p> <p>太陽電池モジュール ○結晶シリコン系 (○単結晶 ○多結晶) ○薄膜系 (○アモルファス ○CIS ○CIGS) 接続方式 ○三相3線式 200V ○単相3線式 200/100V その他 ・ JET認証品とする。 ・ JIS C8955に基づき、荷重計算を実施し監督職員の承諾を得ること。 ・ OVGRの設置 ○有 ○無 ・ 太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係る用途係数 ○極めて重要な太陽光発電システム ○通常設置する太陽光発電システム</p>
1 構内情報通信網装置 2 構内情報通信網装置の構成性能	<p>○有 ○無 図示による。 その他追加機能 ○ ○</p>
1 交換装置 2 電話機 3 その他	<p>○デジタルPBX ○IP-PBX ○VoIPサーバ ○既存 ○一般形 ○多機能形 ○IP形 ○ファクシミリ ○デジタルコードレス形 ○IPコードレス形 ○停電用電話機 追加サービス機能 ○</p>
1 マルチサイン 2 時刻表示装置 3 出退表示装置 4 水道漏れ検針設備	<p>表示方式 ○発光ダイオード式 ○液晶式 ○EL式 種類 ○壁掛型 ○自立型 ○親時計 ○子時計 ○プログラムタイマー ○電子チャイム 時刻同期装置 ○標準電波方式 ○公衆回線方式 ○ラジオ放送方式 ○GPS方式 ○地上デジタル放送方式 ○NTPサーバー方式 制御方式 ○多線直接式 ○パルス伝送式 表示方式 ○発光ダイオード式 ○液晶式 検針盤 ○手動式 ○自動式 配線 ○3線式 ○5線式 ○</p>
1 プロジェクタ 2 テレビ	<p>○本工事 ○別途工事 種類 ○液晶形 ○DLP形 投写方式 ○前面式 ○背面式 スクリーン 形式 ○反射マット形 ○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形 ○反射ストライプ形 ○透過形 設置方式 ○上巻きタイプ ○下巻きタイプ ○巻込タイプ その他 機器収納ラックは監督職員の承諾のうえ、製造者標準として良い。 ○本工事 ○別途工事</p>
1 拡声装置	<p>種類 ○一般放送用 ○非常放送用 形式 ○卓上形 ○キャビネットラック形 アンテナ ○AM(○ステンレス鋼製 ○) ○FM(○耐食アルミニウム製 ○ステンレス鋼製)</p>

①誘導支援装置 ②テレビ共同受信設備	<p>○音声誘導装置(○無線式 ○磁気式 ○画像認識式) ○インターホン装置(○テレビインターホン ○外部受用インターホン) ●トイレ等呼出装置 (○壁掛式 ○ラック収納式 ○卓上式) ○住宅情報装置 消防法に適合した旨の表示をすること 公共住宅の住宅情報装置の品質及び性能 (○機材の品質・性能基準 ○) ○インターホンオートドアロック装置 ○宅配ボックス装置 公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能 (○機材の品質・性能基準 ○)</p> <p>1 テレビ共同受信装置 種類 ○UHF ○BS ○CS ○CATV ○FM ○AM その他 増幅器を収容する場合は、AG125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能 (○機材の品質・性能基準 ○)</p>
1 監視カメラ装置	<p>伝送方式 ○アナログ伝送方式 ○ネットワーク伝送方式 ○デジタル同軸伝送方式 録画装置 ○デジタルレコーダ ○録画サーバ その他 ・ 高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。</p>
1 駐車場管制装置	<p>検知方式 ○光線式検知器式 ○ループコイル式 番号灯・警報灯 ○天井つり下げ形 ○自立形 ○壁掛形</p>
1 防犯装置 2 電気錠	<p>○本工事 ○本工事(配管のみ) ○別途工事 制御装置 基本機能以外の追加機能 ○ 方式 ○磁気カード ○暗証番号 ○ICカード(接触式) ○ICカード(非接触式) ○バイオメトリックス ○本工事 ○別途工事</p>
1 自動火災報知装置 2 自動閉鎖設備 3 非常警報装置(非常ベル) 4 ガス漏れ火災警報装置 5 住宅用自動火災報知装置	<p>受信機 ○P型 線 回線 (○新設 ○既設) ○R型 線 回線 (○新設 ○既設) ○GP型 線 回線 (○新設 ○既設) ○GR型 線 回線 (○新設 ○既設) ○副受信機 回線 (○新設 ○既設) ○運動制御器(壁) 回線 (○単独 ○受信機と一体) ○機器一体形 ○各機器単独に設置</p> <p>○個別式 ○集中監視式 回線 ガスの種類 ○都市ガス(種類) ○液化石油ガス ○冷媒ガス ○共同住宅用非常警報装置(共用部分) 非常警報装置の蓄電池は、○警報操作盤に組み込む ○機器一体型 ○住戸用自動火災報知設備(住戸等と非開放の共用部分) ○共同住宅用自動火災報知設備</p>





1 中央監視制御装置 2 中央監視制御装置の構成・性能	<p>○警報盤 ○簡易型監視制御装置 ○監視制御装置 図示による。</p>
①配線方式 ②地中線路の余長 3 装柱器材 4 付属品 5 屋外灯設備 ⑥その他	<p>●地中線式 ○架空線式 マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。 ○一般形 ○耐塩形(ケーブル端末処理材共) ○マンホール用梯子 ○ハンドホール用カギ (1) 電源供給方式 ○共用盤から供給 ○単独引込(定額料金) ○自動点滅器 ○タイマ (廊下共用灯は、○自動点滅器 ○タイマ) (3) 鋼管柱 ○塩ビコーティング ○耐熱性鋼製 (1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック等に刻字)を取付け、プルボックス及びカバープレートについても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。</p>
1 配線方式 2 地中線路の余長 3 地中線保護材料 4 付属品 5 その他	<p>○地中線式 ○架空線式 マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。 ○ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管(GLT) ○炭化硬質合成樹脂管(FEP) ○硬質ビニル管(VE) ○マンホール用梯子 ○ハンドホール用カギ (1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック等に刻字)を取付け、プルボックス及びカバープレートについても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を管頂の地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。</p>

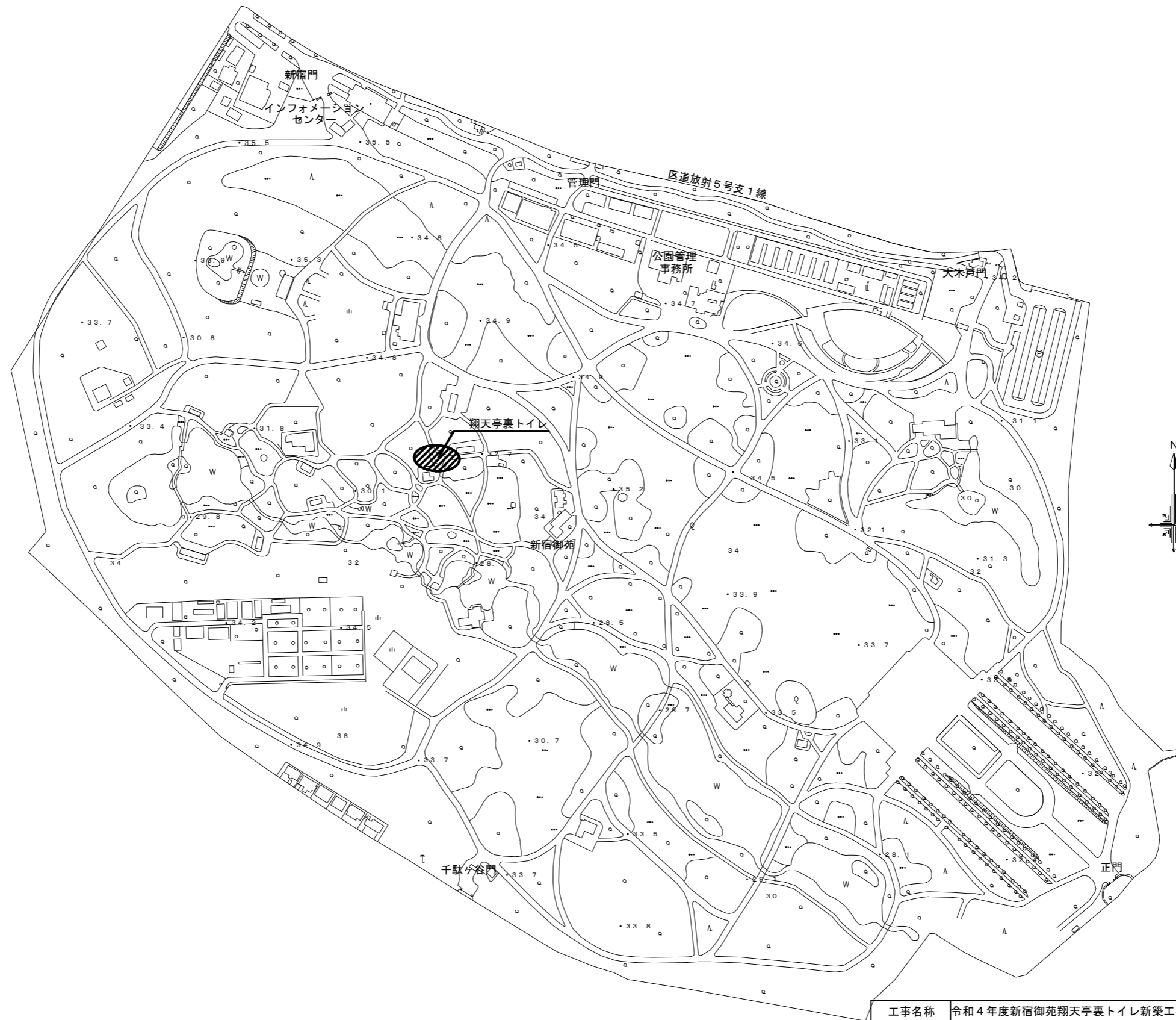
工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	特記仕様書(2)	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	NO SCALE	
公園名称	新宿御苑			図面番号	E-002/008	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
					資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号


章 10 SPD ① 施工調査 ● その他工事共通事項 ② 電線本数・管路 ③ 金属製露出管路 4 呼び線（導入線） ⑤ コンセント ⑥ 一般照明の照度測定 7 非常用の照明装置の照度測定箇所数 ⑧ キャビネット ⑨ 接地極	特 記 事 項 ・ はつり工事は事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 ・ 配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは機能を優先し、監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 下記の露出配管は塗装を行う。 ○ 屋外 ○ 屋内（ ） 塗装を行う場合、露出配管等は合成樹脂調合ペイント1種（JIS K5516）2回塗りを行う。 垂れつき面は、エッチングプライマー1種（JIS K5633）による化学処理を行う。 長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 図面に特記なき場合は、コンセント2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。 ●有 ○無 ○有 ○無 ○キュービクル式配電盤の板厚は下記による。																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構成部</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側面部</td> <td rowspan="5">1.6以上</td> <td>2.3以上</td> </tr> <tr> <td>底板</td> <td>1.6以上</td> </tr> <tr> <td>屋根板</td> <td>2.3以上</td> </tr> <tr> <td>仕切板</td> <td>1.6以上</td> </tr> <tr> <td>ドア及び前面板</td> <td>2.3以上</td> </tr> </tbody> </table>	構成部	鋼板の厚さ(mm)		屋内	屋外	側面部	1.6以上	2.3以上	底板	1.6以上	屋根板	2.3以上	仕切板	1.6以上	ドア及び前面板	2.3以上																																			
	構成部		鋼板の厚さ(mm)																																																	
		屋内	屋外																																																	
	側面部	1.6以上	2.3以上																																																	
	底板		1.6以上																																																	
	屋根板		2.3以上																																																	
	仕切板		1.6以上																																																	
	ドア及び前面板		2.3以上																																																	
	●制御盤、分電盤の板厚は下記による。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">正面の面積</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>鋼板</th> <th>ステンレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.2㎡以下</td> <td>1.2以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>0.2㎡を超えるもの</td> <td>1.6以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table>	正面の面積	鋼板の厚さ(mm)		鋼板	ステンレス	0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上	0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																									
正面の面積		鋼板の厚さ(mm)																																																		
	鋼板	ステンレス																																																		
0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上																																																		
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																																		
○端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">正面の面積</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>鋼板</th> <th>ステンレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1㎡以下</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>0.1㎡を超え0.2㎡以下</td> <td>1.2以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>0.2㎡を超えるもの</td> <td>1.6以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table>	正面の面積	鋼板の厚さ(mm)		鋼板	ステンレス	0.1㎡以下	1.0以上	0.8以上	0.1㎡を超え0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上	0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																						
正面の面積		鋼板の厚さ(mm)																																																		
	鋼板	ステンレス																																																		
0.1㎡以下	1.0以上	0.8以上																																																		
0.1㎡を超え0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上																																																		
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																																		
○接地抵抗値は下記による。																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 共同接地</td> <td>EA, D</td> <td>Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による</td> </tr> <tr> <td>○ 共同接地</td> <td>EA, C, D</td> <td>Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による</td> </tr> <tr> <td>○ A種接地</td> <td>EA</td> <td>10Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>○ B種接地</td> <td>EB</td> <td>Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連1組 ○ 銅板式 (600×600×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>● D種接地</td> <td>ED</td> <td>100Ω 以下</td> <td>EB (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>○ C種接地</td> <td>EC</td> <td>Ω 以下</td> <td>EB (14φ) × 3連2組</td> </tr> <tr> <td>○ 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>○ 避雷設備</td> <td>EL</td> <td>Ω 以下</td> <td>○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>○ 交換機用</td> <td>Et</td> <td>Ω 以下</td> <td>EB (14φ) × 3連 組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>EAt</td> <td>10Ω 以下</td> <td>EB (14φ) × 3連2組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>ECt</td> <td>100Ω 以下</td> <td>EB (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>○ 測定用</td> <td>ED</td> <td></td> <td>EB (10φ) × 1 (L=1000mm)</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極	○ 共同接地	EA, D	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による	○ 共同接地	EA, C, D	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による	○ A種接地	EA	10Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)	○ B種接地	EB	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連1組 ○ 銅板式 (600×600×1.5t)	● D種接地	ED	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1000mm)	○ C種接地	EC	Ω 以下	EB (14φ) × 3連2組	○ 高圧避雷器	ELH	10Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)	○ 避雷設備	EL	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)	○ 交換機用	Et	Ω 以下	EB (14φ) × 3連 組	○ 通信用	EAt	10Ω 以下	EB (14φ) × 3連2組	○ 通信用	ECt	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1000mm)	○ 測定用	ED		EB (10φ) × 1 (L=1000mm)
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極																																																	
○ 共同接地	EA, D	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による																																																	
○ 共同接地	EA, C, D	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 図面特記による																																																	
○ A種接地	EA	10Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)																																																	
○ B種接地	EB	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連1組 ○ 銅板式 (600×600×1.5t)																																																	
● D種接地	ED	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																	
○ C種接地	EC	Ω 以下	EB (14φ) × 3連2組																																																	
○ 高圧避雷器	ELH	10Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)																																																	
○ 避雷設備	EL	Ω 以下	○ EB (14φ) × 3連2組 ○ 銅板式 (900×900×1.5t)																																																	
○ 交換機用	Et	Ω 以下	EB (14φ) × 3連 組																																																	
○ 通信用	EAt	10Ω 以下	EB (14φ) × 3連2組																																																	
○ 通信用	ECt	100Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																	
○ 測定用	ED		EB (10φ) × 1 (L=1000mm)																																																	
B種接地については、電力会社と協議する。 ※印は、接地極寸法を示す。 (1) 接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。 (2) 外灯の接地は ○各ポールごと ○専用接地線																																																				
SPDを ○低圧線路 ○弱電線路 に設ける。 ○電灯分電盤 ○動力制御盤 ○弱電盤 ○図面特記参照																																																				





⑪ 取付高さ 12 天井仕上げ表示 13 他工事との取合い

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>測点</th> <th>取付高[mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブラケット（一般）</td> <td>床～中心</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>〃（踏場）</td> <td>〃</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>〃（鏡上）</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>避難口誘導灯</td> <td>床～下端</td> <td>1,500以上</td> </tr> <tr> <td>廊下通路誘導灯</td> <td>床～上端</td> <td>1,000以下</td> </tr> <tr> <td>スイッチ（一般）</td> <td>床～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>〃（多機能トイレ）</td> <td>〃</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント、電話用7Aリット、直列コンセント（一般）</td> <td>〃</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>〃（和室）</td> <td>〃</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>〃（台所）</td> <td>台～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>コンセント（庫内）</td> <td>床～中心</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>引込閉閉器箱（低圧）</td> <td>床～上端</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>分電盤、制御盤、実験盤</td> <td>床～中心</td> <td>1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>閉閉器箱</td> <td>〃</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>電磁閉閉器用押しボタン</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>接地用端子箱</td> <td>地上、床～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>避雷接地用端子箱</td> <td>床～下端</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>接地埋設標</td> <td>地上～中心</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>給油ボックス</td> <td>地上～給油口</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>中間端子盤（EPS電気室）</td> <td>床～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>観時計</td> <td>〃</td> <td>1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計、スピーカ</td> <td>〃</td> <td>(天井高) × 0.9</td> </tr> <tr> <td>アッテネータ</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>出退表示灯</td> <td>〃</td> <td>(天井高) × 0.9</td> </tr> <tr> <td>発信器（出退表示用）</td> <td>〃</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>インターホン</td> <td>〃</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>身体障害者用インターホン子機</td> <td>〃</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>呼出ボタン（多機能トイレ）</td> <td>〃</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>覆綿ボタン（ 〃 ）</td> <td>〃</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>廊下表示灯（ 〃 ）</td> <td>〃</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>テレビ機器収容箱</td> <td>〃</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>火報受信機（複合盤）</td> <td>床～操作部</td> <td>800～1,500</td> </tr> <tr> <td>副受信機</td> <td>床～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>自動報機器収容箱</td> <td>〃</td> <td>800～1,500</td> </tr> <tr> <td>発信機</td> <td>〃</td> <td>800～1,500</td> </tr> <tr> <td>警報ベル</td> <td>〃</td> <td>(天井高) × 0.9</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>〃</td> <td>(天井高) × 0.8</td> </tr> <tr> <td>運動制御器（自動閉鎖）</td> <td>〃</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>ガス漏れ検知器（LPガス）</td> <td>〃</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>〃（都市ガス）</td> <td>天井面～中心</td> <td>(天井面) -200</td> </tr> </tbody> </table>	名称	測点	取付高[mm]	ブラケット（一般）	床～中心	2,100	〃（踏場）	〃	2,500	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150	避難口誘導灯	床～下端	1,500以上	廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下	スイッチ（一般）	床～中心	1,300	〃（多機能トイレ）	〃	1,100	コンセント、電話用7Aリット、直列コンセント（一般）	〃	300	〃（和室）	〃	150	〃（台所）	台～中心	150	コンセント（庫内）	床～中心	800	引込閉閉器箱（低圧）	床～上端	1,500	分電盤、制御盤、実験盤	床～中心	1,500(上端1,900以下)	閉閉器箱	〃	1,500	電磁閉閉器用押しボタン	〃	1,300	接地用端子箱	地上、床～中心	500	避雷接地用端子箱	床～下端	800	接地埋設標	地上～中心	600	給油ボックス	地上～給油口	1,000	中間端子盤（EPS電気室）	床～中心	1,500	観時計	〃	1,500(上端1,900以下)	子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9	アッテネータ	〃	1,300	出退表示灯	〃	(天井高) × 0.9	発信器（出退表示用）	〃	1,300	インターホン	〃	1,500	身体障害者用インターホン子機	〃	1,100	呼出ボタン（多機能トイレ）	〃	900	覆綿ボタン（ 〃 ）	〃	1,800	廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2,000	テレビ機器収容箱	〃	1,800	火報受信機（複合盤）	床～操作部	800～1,500	副受信機	床～中心	1,500	自動報機器収容箱	〃	800～1,500	発信機	〃	800～1,500	警報ベル	〃	(天井高) × 0.9	表示灯	〃	(天井高) × 0.8	運動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500	ガス漏れ検知器（LPガス）	〃	300	〃（都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
名称	測点	取付高[mm]																																																																																																																									
ブラケット（一般）	床～中心	2,100																																																																																																																									
〃（踏場）	〃	2,500																																																																																																																									
〃（鏡上）	鏡上端～中心	150																																																																																																																									
避難口誘導灯	床～下端	1,500以上																																																																																																																									
廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下																																																																																																																									
スイッチ（一般）	床～中心	1,300																																																																																																																									
〃（多機能トイレ）	〃	1,100																																																																																																																									
コンセント、電話用7Aリット、直列コンセント（一般）	〃	300																																																																																																																									
〃（和室）	〃	150																																																																																																																									
〃（台所）	台～中心	150																																																																																																																									
コンセント（庫内）	床～中心	800																																																																																																																									
引込閉閉器箱（低圧）	床～上端	1,500																																																																																																																									
分電盤、制御盤、実験盤	床～中心	1,500(上端1,900以下)																																																																																																																									
閉閉器箱	〃	1,500																																																																																																																									
電磁閉閉器用押しボタン	〃	1,300																																																																																																																									
接地用端子箱	地上、床～中心	500																																																																																																																									
避雷接地用端子箱	床～下端	800																																																																																																																									
接地埋設標	地上～中心	600																																																																																																																									
給油ボックス	地上～給油口	1,000																																																																																																																									
中間端子盤（EPS電気室）	床～中心	1,500																																																																																																																									
観時計	〃	1,500(上端1,900以下)																																																																																																																									
子時計、スピーカ	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																									
アッテネータ	〃	1,300																																																																																																																									
出退表示灯	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																									
発信器（出退表示用）	〃	1,300																																																																																																																									
インターホン	〃	1,500																																																																																																																									
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100																																																																																																																									
呼出ボタン（多機能トイレ）	〃	900																																																																																																																									
覆綿ボタン（ 〃 ）	〃	1,800																																																																																																																									
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2,000																																																																																																																									
テレビ機器収容箱	〃	1,800																																																																																																																									
火報受信機（複合盤）	床～操作部	800～1,500																																																																																																																									
副受信機	床～中心	1,500																																																																																																																									
自動報機器収容箱	〃	800～1,500																																																																																																																									
発信機	〃	800～1,500																																																																																																																									
警報ベル	〃	(天井高) × 0.9																																																																																																																									
表示灯	〃	(天井高) × 0.8																																																																																																																									
運動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500																																																																																																																									
ガス漏れ検知器（LPガス）	〃	300																																																																																																																									
〃（都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200																																																																																																																									
[備考] (天井高) × 0.9及び (天井高) × 0.8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。																																																																																																																											
図面において、室名に（ ）を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。 他工事との取合いは別表1による、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。																																																																																																																											

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	特記仕様書（3）
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	NO SCALE
公園名称	新宿御苑	図面番号	E-003/008
検印	管理建築士	設計	製図
			 
	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
		資格者氏名	小林 孝宏
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

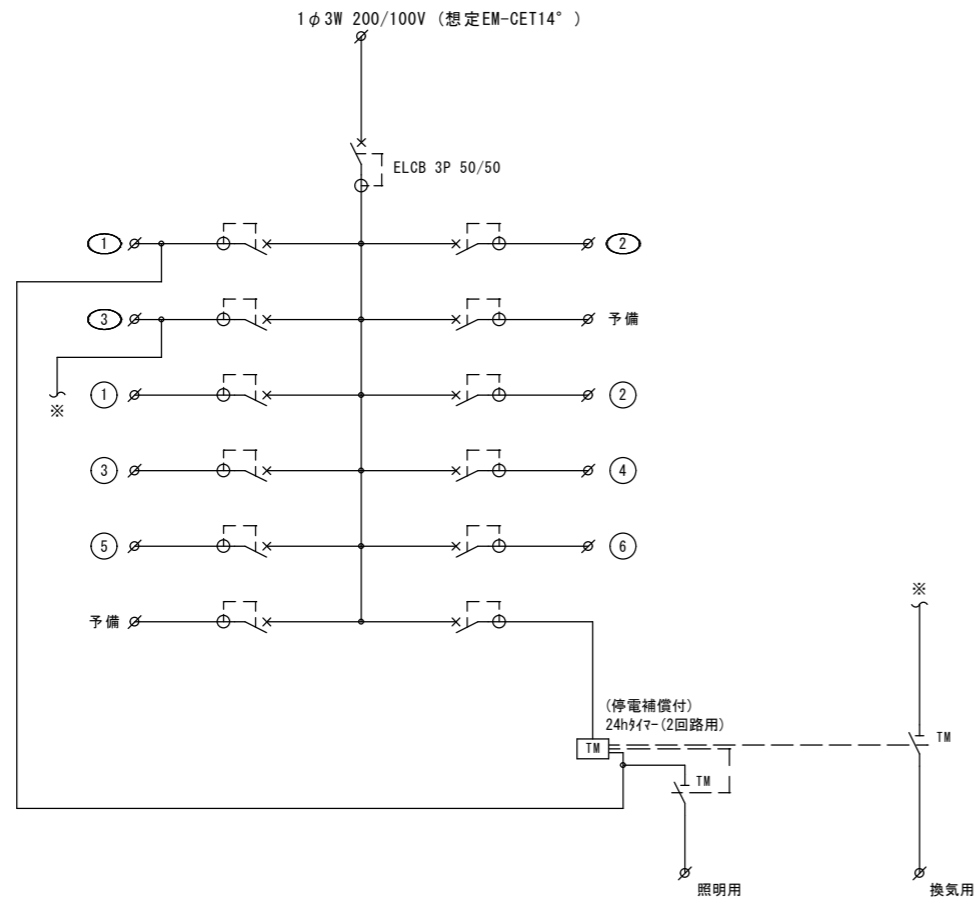


 今回工事箇所を示す。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	全体配置図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	A1:S=1/2500, A3:S=1/5000	
公園名称	新宿御苑			図面番号	E-004/008	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
			 		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

屋内壁掛型（露出）

L-翔天亭



①	照明回路	500.0 VA
②	照明回路	69.0 VA
③	換気回路	230.0 VA
①	コンセント回路	1095.0 VA
②	コンセント回路	1183.0 VA
③	コンセント回路	1300.0 VA
④	コンセント回路	1156.0 VA
⑤	呼出用	100.0 VA
⑥	人数カウンター用	100.0 VA

※盤ボックスは既製品利用とする。

照明器具 姿図

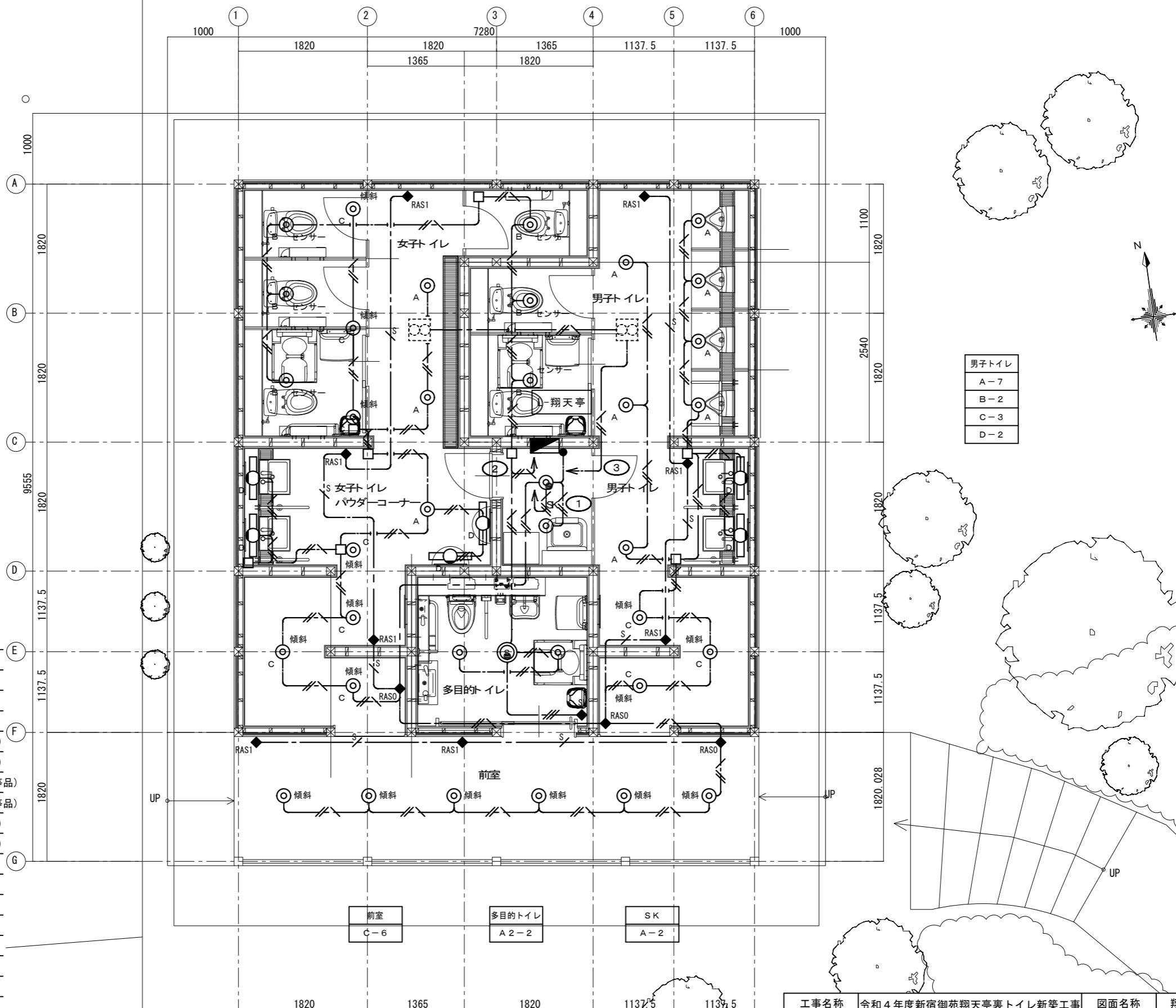
A	A	A 2	B	B	—	C	C	—	D	D	—
光源 器具電圧 器具型式 備考	LED200型 100~200V ダウンライト 1420 lm 埋込穴125φ 面発光タイプ	LED250型 100~200V ダウンライト 1705 lm 埋込穴125φ 面発光タイプ	光源 器具電圧 器具型式 備考	LED100型 100~200V ひとむす付ダウンライト 1015 lm 埋込寸法150φ 公共型番 LDS2-LRS1-08	—	光源 器具電圧 器具型式 備考	LED150型 100~200V 傾斜天井ダウンライト 1450 lm 埋込寸法150φ	—	光源 器具電圧 器具型式 備考	LED 100V ミラーライト 1325 lm 幅572・高さ出し110 壁面(横向け)取付専用	—
A : 91.6 lm/w (15.5W) A 2 : 88.3 lm/w (19.3W)		A : (FHT42W×1相当) A 2 : (FHT57W×1相当)		137.1 lm/w (7.4W) (FDL27W×1相当) (熱線センサー付)		116.9 lm/w (12.4W) (FHT32W×1相当)		69.0 lm/w (19.2W) (FL20W×1相当)			
【参考】A : XND2051PN-LE9 同等品 A 2 : XND2551PN-LE9 同等品		【グリーン購入法適合品】 【参考】XND1064MN-LE9同等品		【グリーン購入法適合品】 【参考】XND1561AN-LE9同等品		【参考】NNN13205-LE1同等品					
光源	—	—	光源	—	—	光源	—	—	光源	—	—
器具電圧	—	—	器具電圧	—	—	器具電圧	—	—	器具電圧	—	—
器具型式	—	—	器具型式	—	—	器具型式	—	—	器具型式	—	—
備考	—	—	備考	—	—	備考	—	—	備考	—	—

『各消費電力はJIS C 8105-3「照明器具-第3部：性能要求事項通則」で規定された方法により測定された値を記載』

呼出機器 姿図

BZ	警報ランプ付プザー（屋外用）(AC100V)	非常用埋込押釦（プレート共）																			
<table border="1"> <tr><td>定格</td><td>電圧 AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>動作時: 5W 待機時: 1W</td></tr> <tr><td>操作電圧</td><td>DC5V</td></tr> <tr><td>使用周囲温度</td><td>-10℃~+50℃</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約5.2kg</td></tr> <tr><td>音圧</td><td>警報音: 約90dB(前方1mにて) 通知音: 約65dB(前方1mにて)</td></tr> </table> <p>【参考】EA501同等品</p>	定格	電圧 AC100V 50/60Hz	消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W	操作電圧	DC5V	使用周囲温度	-10℃~+50℃	質量	約5.2kg	音圧	警報音: 約90dB(前方1mにて) 通知音: 約65dB(前方1mにて)	<table border="1"> <tr><td>接点構成</td><td>両切</td></tr> <tr><td>操作方式</td><td>押し</td></tr> <tr><td>保護カバー</td><td>オレンジ</td></tr> <tr><td>取付枠</td><td>鋼板</td></tr> </table> <p>【参考】WN4500+プレートWN65039同等品</p>	接点構成	両切	操作方式	押し	保護カバー	オレンジ	取付枠	鋼板
定格	電圧 AC100V 50/60Hz																				
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W																				
操作電圧	DC5V																				
使用周囲温度	-10℃~+50℃																				
質量	約5.2kg																				
音圧	警報音: 約90dB(前方1mにて) 通知音: 約65dB(前方1mにて)																				
接点構成	両切																				
操作方式	押し																				
保護カバー	オレンジ																				
取付枠	鋼板																				

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ盤・照明・呼出姿図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	NO SCALE
公園名称	新宿御苑	図面番号	E-005/024
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	松岡 永井
	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
	資格者氏名	小林 孝宏	登録番号
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



女子トイレ	
A-3	
B-4	
C-7	
D-4	

男子トイレ	
A-7	
B-2	
C-3	
D-2	

※特記なきシンボルは下記による。

電 灯	
⊙	天井埋込熱線センサー親器 (WTK24818同等品)
⊙	天井埋込熱線センサー子器 (WTK29129同等品)
◆RAS0	壁付熱線センサー親器 (WTK3481 (フット付) 同等品)
◆RAS1	壁付熱線センサー子器 (WTK3911 (フット付) 同等品)
◆SL	操作ユニット 1 回路用 (WTC5820W同等品)
	キー付ガードプレート (WTC7871K同等品)

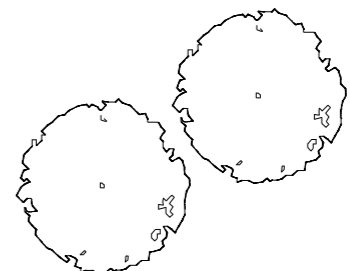
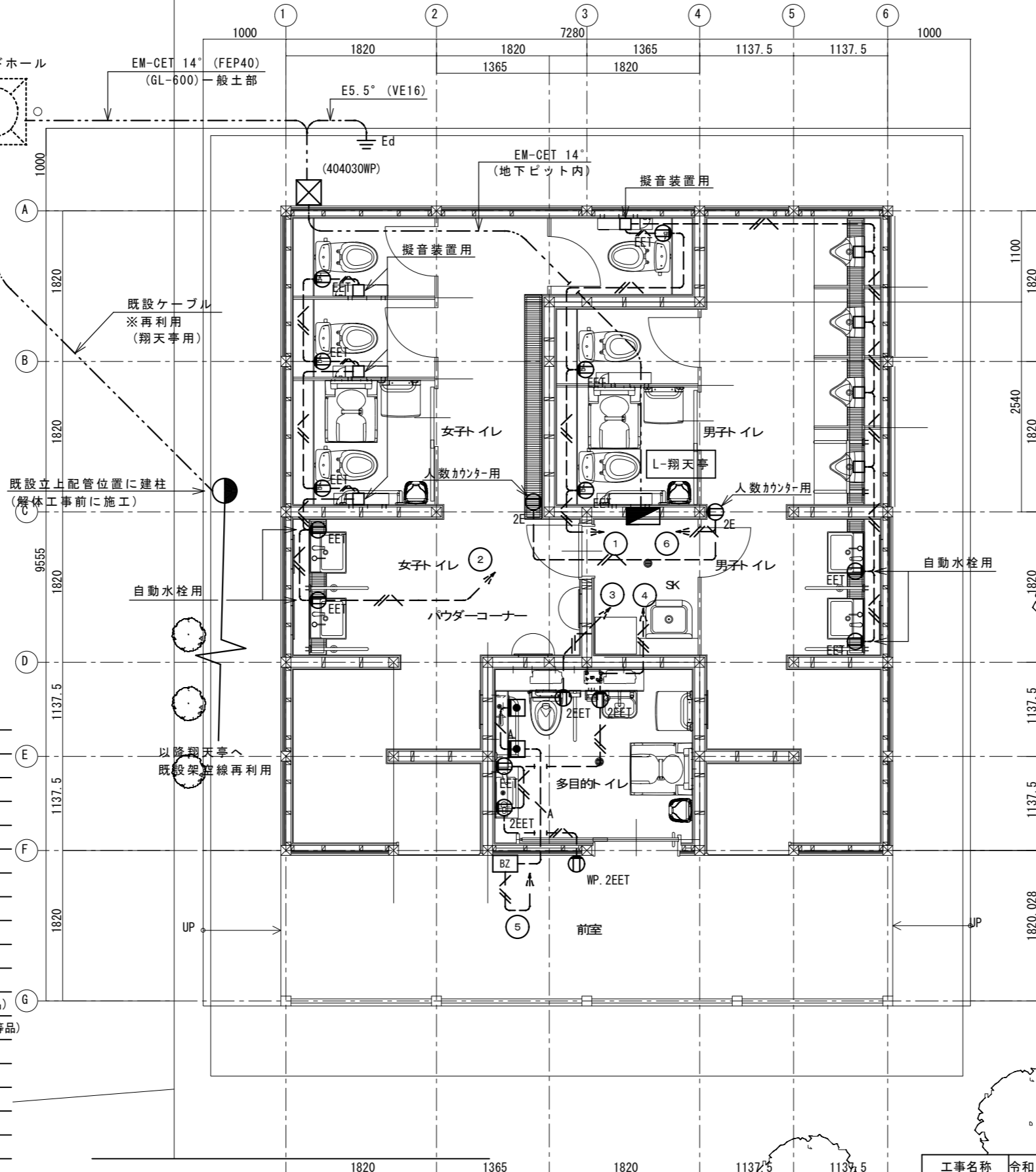
※特記なき配管配線は下記による。

電 灯	
— — — — —	EM-EEF 2.0-2C (天井内)
— — — — —	EM-EEF 2.0-3C (天井内)
— — — — —	EM-EEF 2.0-3C (天井内)
— — — — —	EM-EEF 2.0-3C (PF22) (土 間)
— — — — —	EM-EEF 1.6-2C (天井内)

立上げ立下げは配管にて保護する。

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ照明・換気電源
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	A1:S=1/30, A3:S=1/60
公園名称	新宿御苑	図面番号	E-006/024
検印	管理建築士	設計	製図
	小林	田中	松岡 永井
	設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社
		資格者氏名	小林 孝宏
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

既設ハンドホール
直線接続材(Y分岐)



※特記なきシンボルは下記による。

コンセント

- ⓪_{EET} 埋込コンセント (2P15A×1 接地極 接地端子付)
- ⓪_{2E} " (2P15A×2 接地極付)
- ⓪_{2EET} " (2P15A×2 接地極 接地端子付)
- ⓪_{WP.2EET} 屋外コンセント (2P15A×2 接地極 接地端子付)

呼出

- ⓪_{BZ} 警報ランプ付ブザー(屋外用) (EA5501同等品)
- 非常用埋込押釦(プレート共) (WN4500+WN65039同等品)

※特記なき配管配線は下記による。

コンセント

---//--- EM-EEF 2.0-3C (PF22) (隠ぺい)

呼出

---//A--- EM-AE 1.2-2C (PF16) (隠ぺい)

※特記なきシンボルは下記による。

プルボックス

⓪(404030WP) VE 400×400×300(防水型)

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事			図面名称	翔天亭裏トイレコンセント・呼出	
工事場所	東京都新宿区内藤町11			縮尺	A1:S=1/30, A3:S=1/60	
公園名称	新宿御苑			図面番号	E-007/008	
検印	管理建築士	設計	製図	設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社
	⓪ _{小林}	⓪ _{田中}	⓪ _{松岡} ⓪ _{永井}		資格者氏名	小林 孝宏
					登録番号	321076
					所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 仕様 (Specifications). Includes sections for ⑨ 保温工事 (Insulation work) and ⑩ 給排水衛生設備工事の保温 (Insulation of plumbing and sanitary equipment).

Table with columns: 区分 (Division), 施工箇所 (Construction Location), 保温の種類 (Insulation Type), 備考 (Remarks). Includes a table for ⑩ 仮設工事 (Temporary work) with columns for 設計温度 (Design Temp), 夏季 (Summer), 冬季 (Winter).

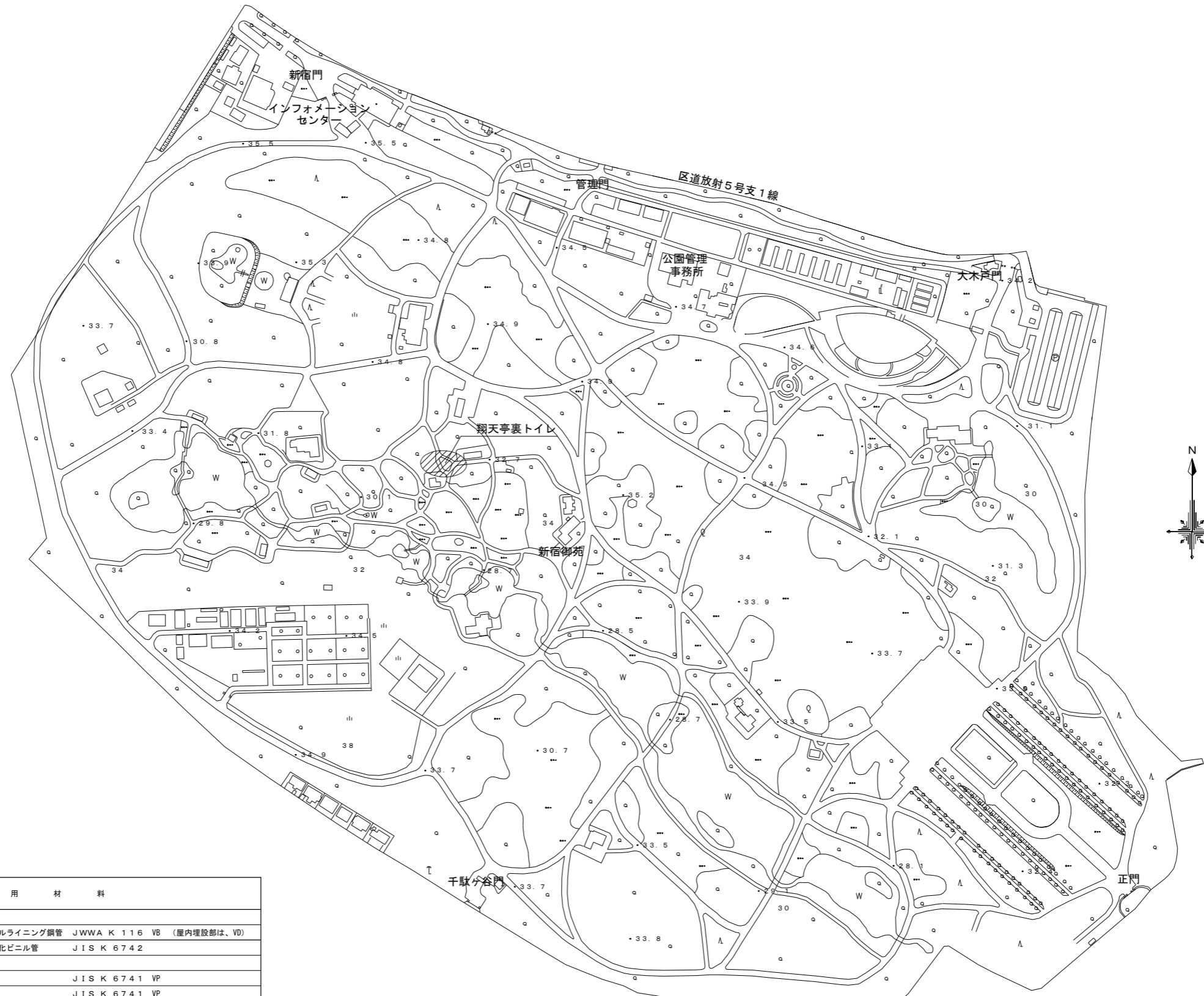
Table with columns: 区分 (Division), 仕様 (Specifications). Includes sections for ⑪ 給排水設備 (Plumbing equipment), ⑫ 電気設備 (Electrical equipment), and ⑬ 配管材料 (Pipe materials).

Table with columns: 区分 (Division), 仕様 (Specifications). Includes sections for ⑭ 配管材料 (Pipe materials), ⑮ 設備方式 (Equipment type), and ⑯ 撤去内容 (Removal content).

別表-1 他工事との取り合い ●印を適用する。

Table with columns: 工種 (Trade), 電気設備工事 (Electrical), 機械設備工事 (Mechanical), 塗装工事 (Painting), 昇降機設備工事 (Elevator). Includes a table for 工事内容 (Work content) with columns for 仮設電力の引込み (Temporary power), 仮設水道の引込み (Temporary water), etc.

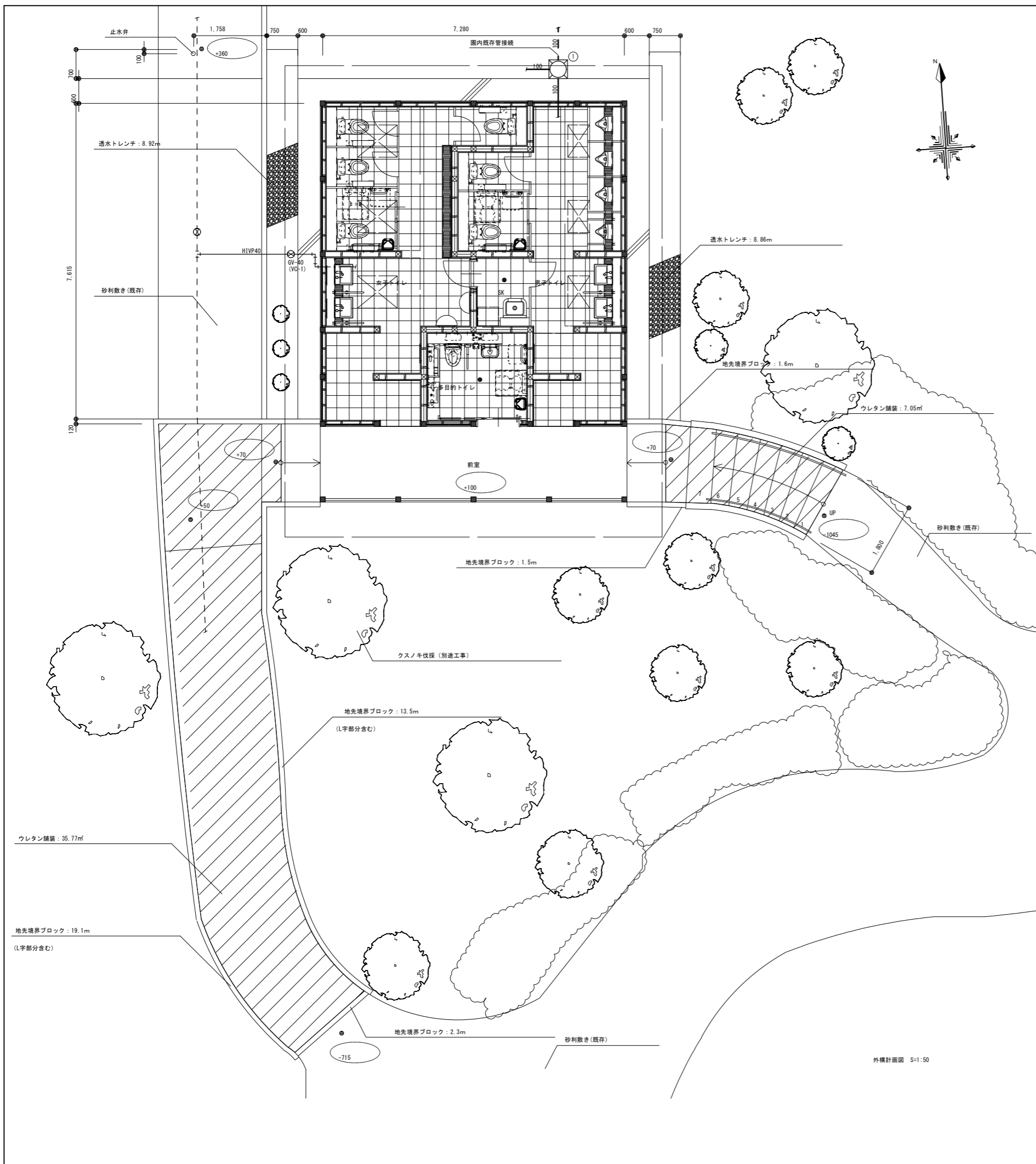
Table with columns: 工事名称 (Project Name), 令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事, 工場所 (Site), 東京都新宿区内藤町11, 公団名称 (Public Agency), 新宿御苑, 検印 (Seals), 管理建築士 (Project Manager), 設計 (Design), 製図 (Drawing), 設計者 (Designer), 名称 (Name), A I S総合設計株式会社 本社 (AIS General Design Co., Ltd. Head Office), 資格者氏名 (Qualification Name), 小林 孝宏 (Takayuki Kobayashi), 登録番号 (Registration No.), 321076, 所在地 (Location), 栃木県宇都宮市明保野町2番10号 (2-10-10 Akiho, Maebashi City, Tochigi Prefecture).



凡例

記号	名称	使用材料
— — — —	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 VB (屋内埋設部は、VD)
— — — — H1VP	給水管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742
— — — —	汚水管	硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
— — — —	雑排水管	硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
— — — —	通気管	硬質塩化ビニル管 JIS K 6741 VP
⊕	仕切弁	50A以下管端防食コア付、水道直結部 JIS 10K、その他 JIS 5K
□	給水栓	JWWA規格品
⊙	床排水トラップ	T3A
⊠	汚水水栓	

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	全体配置図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	S=1/2500(A1) S=1/5000(A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	M-003/007
検印	管理建築士	設計	製図
	⊙ 小林	⊙ 田中	⊙ 松岡 ⊙ 永井
設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社	
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	



配管凡例

記号	管種	材質	保温範囲	備考
—	給水管 (土中)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP)	● 屋内 ○ 屋外 ● ビット内	
—	雑排水管	コーティング鋼管	● 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
—	雑排水管 (土中)	硬質塩化ビニル管 (VP)	● 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
—	汚水管	コーティング鋼管	● 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
—	汚水管 (土中)	硬質塩化ビニル管 (VP)	● 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
—	汚水管 (大便器・小便器接続)	鉛管	● 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
---	通気管	配管用炭素鋼管 (白)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	

樹リスト

No.	樹リスト				備考
	管底 [mm]	大きさ [mm]	種類	蓋	
①	560	450 x 450	インバート	450φ	新設

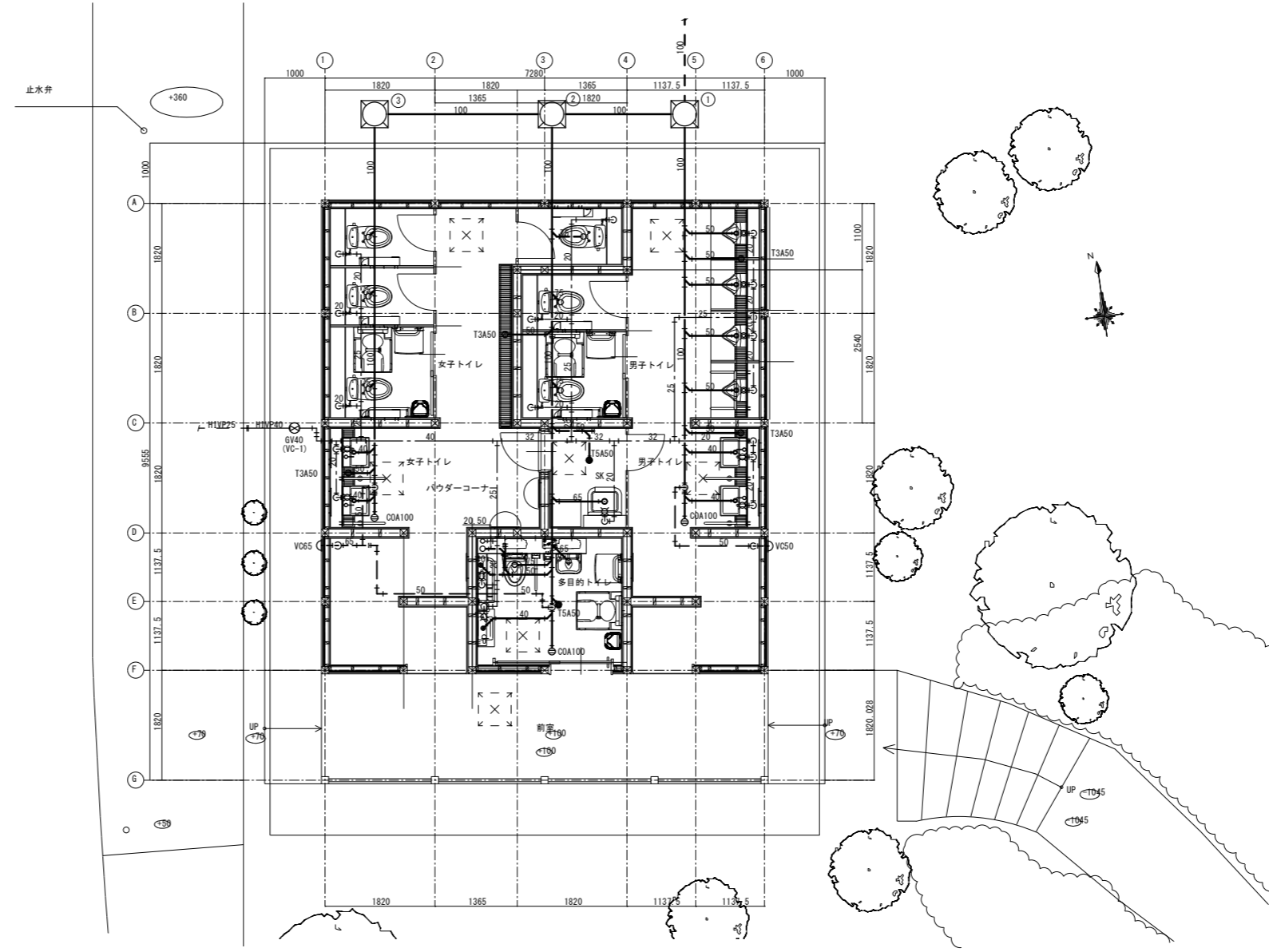
外構計画図 S=1/50

工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 給排水設備配置図	
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)	
公園名称	新宿御苑	図面番号	M-005/007	
検印	管理建築士	設計	製図	
	小林	田中	松岡 永井	
	名称	A I S 総合設計株式会社 本社		
	資格者氏名	小林 孝宏		
		登録番号	321076	
		所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

配管凡例

記号	管種	材質	保温範囲	備考
———	給水管	塩ビライニング鋼管 (VB)	● 屋内 ○ 屋外 ● ビット内	
———	給水管 (土中)	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
———	雑排水管	硬質塩化ビニル管 (VP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
———	雑排水管 (土中)	硬質塩化ビニル管 (VP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
———	汚水管	硬質塩化ビニル管 (VP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
———	汚水管 (土中)	硬質塩化ビニル管 (VP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	
----	通気管	硬質塩化ビニル管 (VP)	○ 屋内 ○ 屋外 ○ ビット内	

No.	樹リスト				備考
	管底 [mm]	大きさ [mm]	種類	蓋	
①	490	450 x 450	インバート	450φ	新設
②	470	450 x 450	インバート	450φ	新設
③	440	450 x 450	インバート	450φ	新設



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ 給排水衛生設備平面図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	M-006/007
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	A I S 総合設計株式会社 本社	
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	

機器表

●送風機類	名称	記号	形式	設置方法	仕様		電動機				許容騒音値 (dB(A))	台数	系統	備考
					呼称	m ³ /h	静圧 Pa	相	V	kW				
●斜流送風機	FE-1	●斜流 ○軸流	○床置形 ●天井吊形	#3	1150	100	1	100	0.15	4	53	1	男子トイレ	1. ダクト接続用フランジを付属とする。 2. 床置形は標準基礎とする。 3. 電動機の周囲温度は40℃とする。 4. 呼称は参考とする。
○軸流送風機	FE-2	●斜流 ○軸流	○床置形 ●天井吊形	#2	900	90	1	100	0.08	4	52	1	女子トイレ	
	-													
	-													

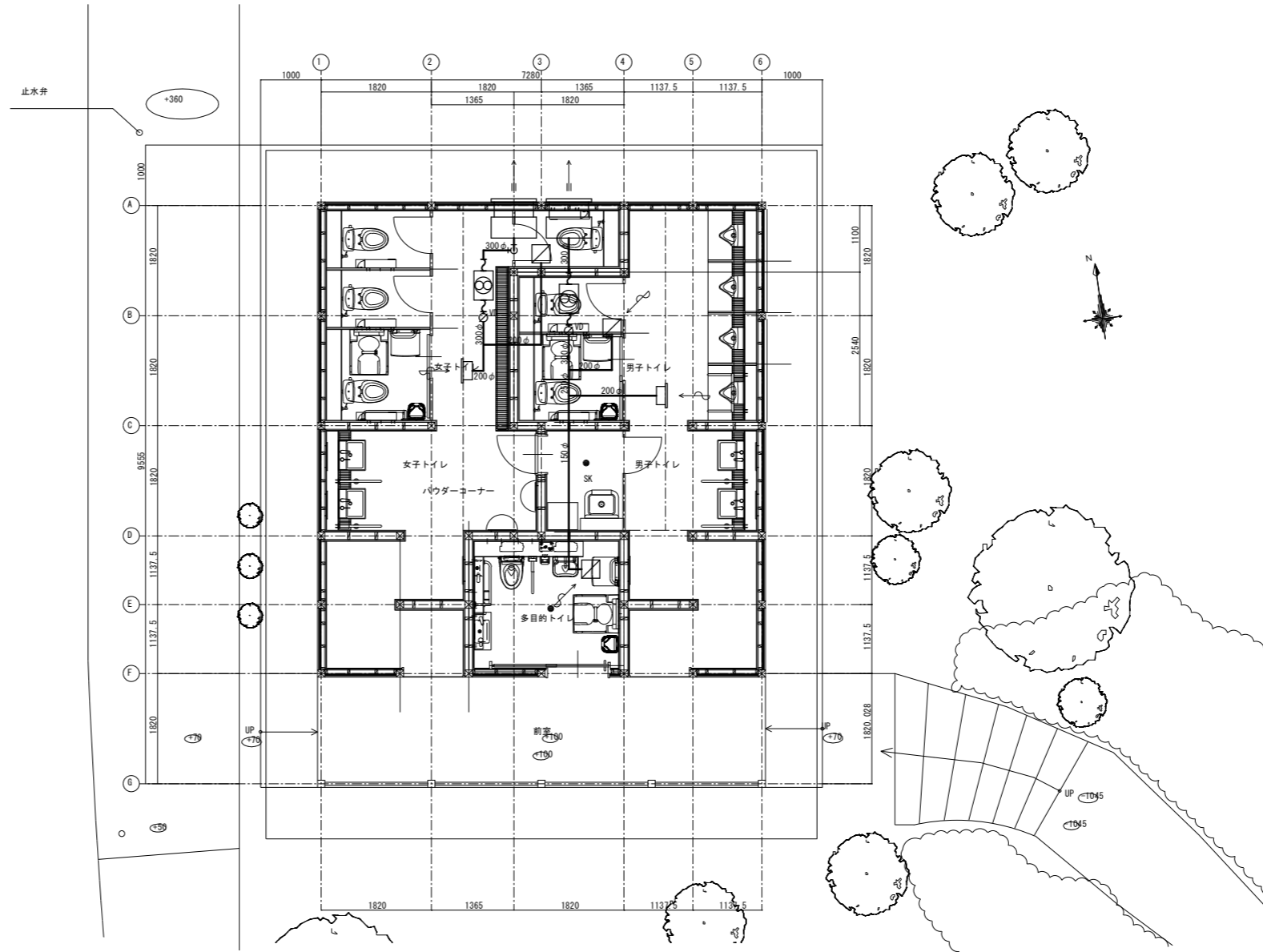
男子トイレ系統 FE-1		1
排気口	EA	
ガラリ	建築工事	
有効面積	0.11 m ²	
風量	1,150 m ³ /h	
BOX 600x300x600H		

男子トイレ系統 FE-2		1
排気口	EA	
ガラリ	建築工事	
有効面積	0.09 m ²	
風量	900 m ³ /h	
BOX 600x300x600H		

男子トイレ		2
吸込口	EA	
GVS	300×300	
風量	450 m ³ /h	
BOX 500x500x350 (内張25 t)		

女子トイレ		2
吸込口	EA	
GVS	300×300	
風量	450 m ³ /h	
BOX 500x500x350 (内張25 t)		

多目的トイレ		1
吸込口	EA	
GVS	250×250	
風量	250 m ³ /h	
BOX 450x450x350 (内張25 t)		



工事名称	令和4年度新宿御苑翔天亭裏トイレ新築工事	図面名称	翔天亭裏トイレ換気設備機器表・平面図
工事場所	東京都新宿区内藤町11	縮尺	S=1/50 (A1) S=1/100 (A3)
公園名称	新宿御苑	図面番号	M-007/007
検印	管理建築士	設計	製図
設計者	名称	A I S総合設計株式会社 本社	
	資格者氏名	小林 孝宏	
	登録番号	321076	
	所在地	栃木県宇都宮市明保野町2番10号	